

電子納品運用ガイドライン(案)

【測量編】

平成 31 年 4 月
(令和 2 年 3 月一部改訂版)

農林水産省農村振興局設計課
施工企画調整室

【改定履歴】

要領・基準名称	備 考
電子納品運用ガイドライン（案） 【測量編】平成19年10月	平成 19年10月 初版発行
電子納品運用ガイドライン（案） 【測量編】平成24年12月	平成24年12月
電子納品運用ガイドライン（案） 【測量編】平成26年 3 月	平成 26年3月 一部改定
電子納品運用ガイドライン（案） 【測量編】平成31年 4 月	平成31年4 月 令和2年3月一部改訂

目 次

【共通編】	1
1 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】の位置付け	1
1.1 位置付け	1
1.2 用語の定義	1
1.3 電子納品の構成	3
1.4 問い合わせ	4
1.5 測量ガイドライン（案）に係わる規程類の関係	5
1.6 測量成果電子納品要領（案）に定めるフォルダとファイルの構成	7
【基本編】	11
2 電子納品の流れ	11
3 発注時の準備	12
4 成果作成の取り扱い	13
4.1 成果作成の取り扱いについて	13
4.2 成果データ形式	14
5 事前協議	15
5.1 協議事項	15
5.2 業務中の情報交換	15
5.3 電子成果品とする対象書類	15
5.4 電子化が困難な資料の取り扱い	16
5.5 検符及び押印の取り扱い	16
5.6 第三者機関検定の実施方法	17
5.7 その他の事項	17
6 業務中の情報管理	18
6.1 業務中の協議	18
6.2 日常的な電子成果品の作成及び整理	18
7 電子成果品の作成	19
7.1 作業の流れ	19
7.2 共通事項	20
7.2.1 フォルダ構成	20

7.2.2	ファイル形式.....	26
7.2.3	ファイル命名規則.....	33
7.2.4	2 段撮影、複数区域、複数等級等の場合のフォルダ構成.....	57
7.2.5	図面成果の個別格納.....	62
7.2.6	CAD データ作成にあたっての留意点.....	63
7.2.7	既存地図の利用.....	70
7.2.8	測地系.....	70
7.3	基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】	71
7.3.1	対象となる成果品.....	71
7.3.2	基準点測量成果ファイルの作成.....	74
7.4	水準測量成果作成【SURVEY/SUIJUN】	78
7.4.1	対象となる成果品.....	78
7.4.2	水準測量成果ファイルの作成.....	80
7.5	地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKEI】	84
7.5.1	対象となる成果品.....	84
7.5.2	地形測量及び写真測量成果ファイルの作成.....	93
7.6	路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】	111
7.6.1	対象となる成果品.....	111
7.6.2	路線測量成果ファイルの作成.....	116
7.7	河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】	124
7.7.1	対象となる成果品.....	124
7.7.2	河川測量成果ファイルの作成.....	129
7.8	用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】	140
7.8.1	対象となる成果品.....	140
7.8.2	用地測量成果ファイルの作成.....	144
7.9	その他の応用測量成果作成【SURVEY/OTHRISOYO】	153
7.10	ドキュメント作成【SURVEY/DOC】	154
7.11	管理ファイル作成.....	155
7.11.1	管理ファイルの種類.....	155
7.11.2	業務管理ファイルの作成.....	156
7.11.3	測量情報管理ファイルの作成.....	158
7.11.4	測量成果管理ファイルの作成.....	164
7.11.5	ドキュメント管理ファイルの作成.....	166
7.11.6	管理ファイル作成にあたっての留意事項	167
7.12	電子媒体作成.....	168
7.12.1	一般事項.....	168
7.12.2	電子成果品のチェック	168

7.12.3	電子媒体への格納	171
7.12.4	ウイルスチェック	172
7.12.5	電子媒体等の表記	172
7.12.6	電子媒体が複数枚に渡る場合の処置	174
7.12.7	電子媒体納品書	178
7.13	検符及び押印の取り扱い	179
7.14	第三者機関検定の実施	181
7.15	電子成果品の確認	183
7.15.1	電子媒体の外観確認	183
7.15.2	ウイルスチェック	183
7.15.3	電子成果品の基本構成の確認	183
7.15.4	電子成果品の内容の確認	183
8	成果品の検査	185
9	保管管理	187
	【参考資料編】	188
10	参考資料	188
10.1	スタイルシート（XSL ファイル）の活用	188
10.2	事前協議チェックシート（業務用）	189
10.3	用語解説	192

【共通編】

1 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】の位置付け

1.1 位置付け

電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】（以下、「測量ガイドライン（案）」といいます。）は、測量成果電子納品要領（案）（以下、「測量要領（案）」といいます。）に従い電子的手段により引き渡される成果品を作成するにあたり、受注者及び発注者が留意すべき事項等を定めたものです。

これにより、発注者と受注者が、事前協議、電子的手段により引き渡される成果品の作成ならびに検査等の業務を円滑に実施することを目的としています。

電子納品要領（案）及びガイドライン（案）は、「1.4問い合わせ」に示すホームページ等で最新版、適用開始時期、正誤表等を確認してください。

1.2 用語の定義

(1) 電子納品

電子納品とは、「調査、測量、設計、工事等の各業務段階の最終成果^{※1}を電子成果品として納品すること」を指します。

(2) 電子成果品

電子成果品とは、「工事又は業務の共通仕様書等において規定される資料のうち、電子的手段により発注者に提出する資料であり、各電子納品要領（案）等^{※2}に基づいて作成した電子データ」をいいます。

(3) 電子媒体

電子媒体とは、CD-R または DVD-R または BD-R を指します。

(4) オリジナルファイル

オリジナルファイルとは、CAD、ワープロ、表計算ソフト及びスキャニング（紙原本しかないもの）により作成した電子データ等をいいます。

※1 最終成果：測量では、成果品として納品される測量記録、測量成果及びその他の文章類を指します。

※2 電子納品要領（案）等：電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式の仕様等について記載したものです。業務では「設計業務等の電子納品要領（案）」「電子化図面データの作成要領（案）」「電子化写真データの作成要領（案）」「地質・土質調査成果電子納品要領（案）」「測量成果電子納品要領（案）」「設計業務等の電子納品要領（案）電気通信設備編」「設計業務等の電子納品要領（案）機械設備工事編」を指します。

1 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】の位置付け

※その他用語については「10.3用語解説」に整理していますので参照ください。

1.3 電子納品の構成

要領・基準に従い、提出される電子成果品の構成を次に示します。

各フォルダには、電子成果品として発注者に引き渡すものを格納します。なお、格納するファイルがないフォルダは作成する必要はありません。

※3※4※5※6

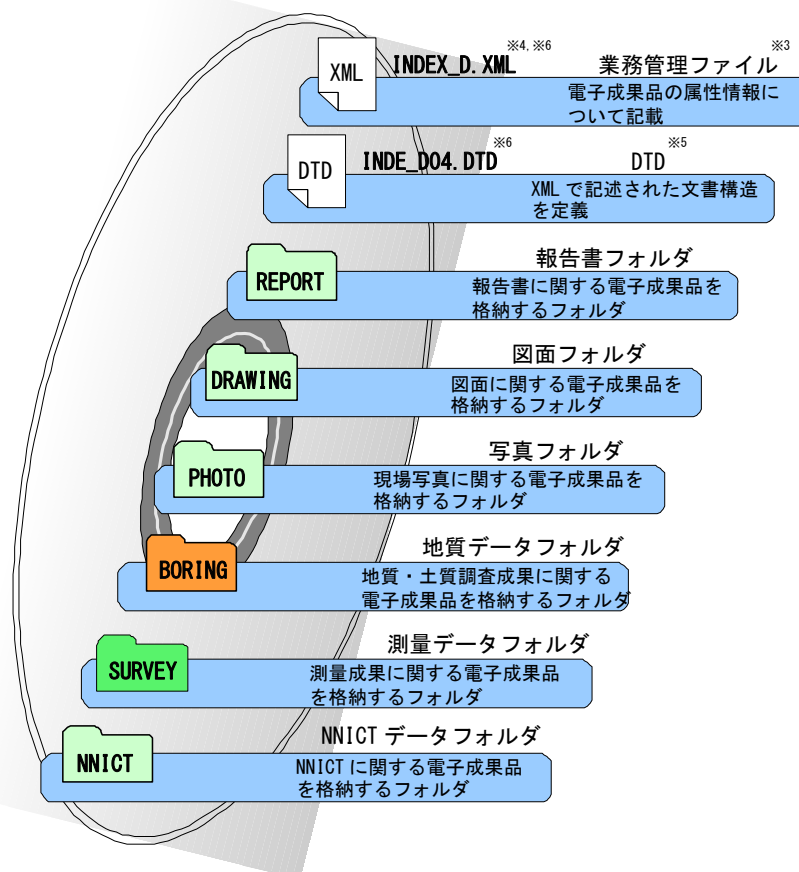


図 1-1 電子媒体に格納される電子成果品のイメージ

※3 業務管理ファイル:業務の電子成果品を管理するためのファイル。データ記述言語として XML を採用しています。電子納品では、電子成果品の再利用時に内容を識別するために、業務に関する管理情報や報告書・図面等の管理情報を電子成果品の一部として納品することになっています。

※4 XML: 文書、データの意味及び構造を記述するためのデータ記述言語の一種です。

※5 DTD: 文書型定義。XML 等で文書を記述する際、タグを利用して、データの要素・属性、構造（見出し、段落等）を定義しています。管理ファイルと DTD は一組として格納します。

※6 INDEX_D.XML は、INDE_D04.DTD とともに電子媒体のルートに格納します。

なお、「農業農村整備事業の電子納品要領等」の Web サイトに掲載されている各電子納品要領（案）の付属資料には、DTD、XML 記入例があります。（URL: http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/index.html）

1.4 問い合わせ

電子納品に関する最新の情報及び問い合わせについては、農林水産省の「農業農村整備事業の電子納品要領等」Web サイト（以下、「電子納品 Web サイト」といいます。）を確認してください。

(1) 電子納品 Web サイト

- ・ http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/index.html

Q&A のページを見ても質問の回答が得られない場合の問い合わせ先は、次のとおりです。

(2) 農業農村整備事業の電子納品要領等お問い合わせ窓口

- ・ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/4574.html>

なお、農林水産省発注の工事・業務を受託中の受注者の方よりお問い合わせいただく場合、発注者の農林水産省職員と協議の上、お問い合わせください。

(3) 各地方農政局の電子納品関係担当部署

- ・ 東北農政局土地改良技術事務所企画情報課
- ・ 関東農政局土地改良技術事務所企画情報課
- ・ 北陸農政局土地改良技術事務所企画情報課
- ・ 東海農政局土地改良技術事務所企画情報課
- ・ 近畿農政局土地改良技術事務所企画情報課
- ・ 中国四国農政局土地改良技術事務所企画情報課
- ・ 九州農政局土地改良技術事務所企画情報課

1.5 測量ガイドライン（案）に係わる規程類の関係

測量ガイドライン（案）に係わる規程類の関係を次に示します。なお、各電子納品要領（案）及びガイドライン（案）は、ホームページ等で最新版、適用開始時期、正誤表を確認してください。

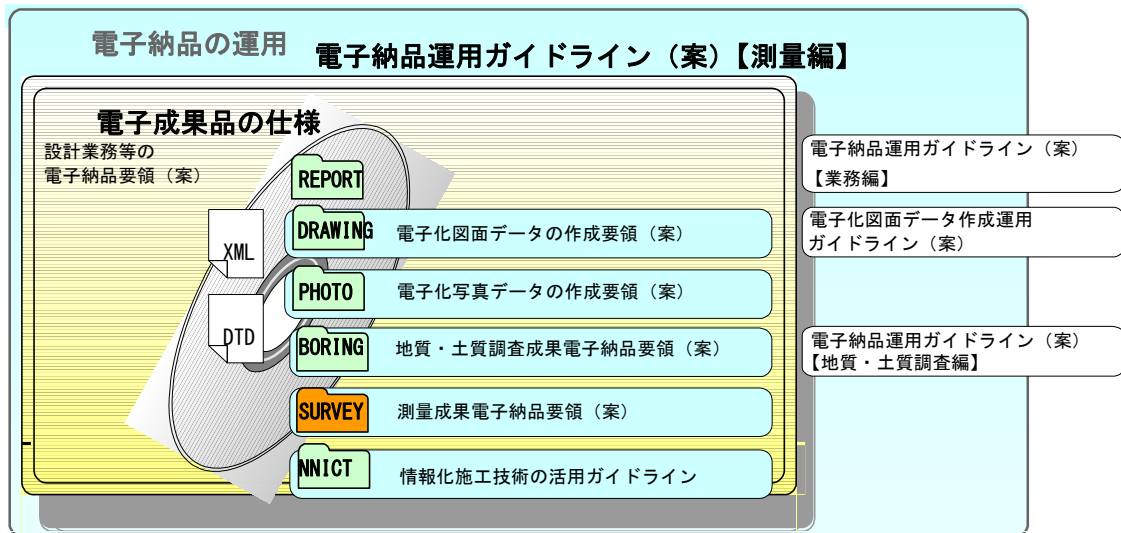


図 1-2 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】に係わる規程類の関係

測量成果の電子納品において必要となる電子納品要領（案）等は次のとおりです。電子成果品の作成・チェックにおいて必要に応じて参照してください。

(1) 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】（本書）

測量の電子成果品を作成について、発注者及び受注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したものです。

(2) 測量成果電子納品要領（案）

測量の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したものです。

(3) 設計業務等の電子納品要領（案）

（以下、「業務要領（案）」といいます。）

業務の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したものです。

1 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】の位置付け

(4) 電子化図面データの作成要領（案）

（以下、「図面要領（案）」といいます。）

CAD データ作成にあたり必要となる属性情報（ファイル名、レイヤ名等）、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたものです。

測量作業で作成する CAD データの図式は、図面要領（案）を適用せず、公共測量標準図式を適用します。

(5) 電子化写真データの作成要領（案）

（以下、「写真要領（案）」といいます。）

写真等（調査・測量・設計・工事等）の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものです。

(6) 電子納品運用ガイドライン（案）【業務編】

（以下、「業務ガイドライン（案）」といいます。）

業務の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載しています。業務ガイドライン（案）に基づき、「受発注者間協議」「電子成果品作成」「検査」等を実施し、電子納品を行います。

なお、工事については、工事ガイドライン（案）を参照してください。

(7) 地質・土質調査成果電子納品要領（案）

地質・土質調査の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したものです。

(8) 電子化図面データ作成運用ガイドライン（案）

（以下、「図面ガイドライン（案）」といいます。）

図面要領（案）による、CAD データの取り扱いについて、発注者と受注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したものです。

(9) 情報化施工技術の活用ガイドライン

情報化施工に係るデータの作成、格納方法を示すため作成したものです。

1.6 測量成果電子納品要領（案）に定めるフォルダとファイルの構成

測量要領（案）に定めるフォルダとファイルの構成を表 1-1に示します。SURVEY フォルダに格納される測量成果は、次に示すとおり分類します。

- (ア) 基準点測量成果
- (イ) 水準測量成果
- (ウ) 地形測量及び写真測量成果
- (エ) 路線測量成果
- (オ) 河川測量成果
- (カ) 用地測量成果
- (キ) その他の応用測量成果
- (ク) ドキュメント（製品仕様書、特別仕様書、打合せ簿、実施報告書等）
- (ケ) 管理ファイル

測量業務における電子成果品の構成に関する留意点は次のとおりです。

- (ア) 測量業務では、電子媒体ルート（図 7-2参照）に業務管理ファイル及びその DTD、SURVEY フォルダに測量成果に関する電子成果品を格納します。原則として、REPORT、DRAWING、PHOTO、BORING フォルダは使用しないため、作成は不要です。
- (イ) 測量業務で作成される図面類は、DRAWING フォルダに格納せずに、SURVEY フォルダに格納します。SURVEY 以下の測量区分ごとのサブフォルダに各成果を分類して格納することを原則とします。
- (ウ) 測量業務で作成される実施報告書などの報告書は、REPORT フォルダに格納せずに、SURVEY/DOC フォルダに格納することを原則とします。^{※7}
- (エ) 測量業務で作成される作業写真などの写真類は、PHOTO フォルダに格納せずに、SURVEY/DOC フォルダに格納することを原則とします。^{※8}

^{※7} 測量標の地上写真、基準点現況調査報告書は、SURVEY/KITEN 又は SUIJUN フォルダに格納することが定められています。測量要領（案）又は測量ガイドライン（案）において、格納するフォルダが定められている報告書、写真類は、規定内容に従い測量区分ごとのサブフォルダに格納します。

^{※8} 受発注者間協議により、測量標の地上写真等の電子納品に写真要領（案）を適用する場合はこの限りではありません。

1 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】の位置付け

表 1-1 測量要領（案）に定めるフォルダとファイルの構成

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 SURVEY 測量データフォルダ 測量成果に関する電子成果品を格納します。		・測量情報管理ファイル ・DTD	XML DTD SURVEY.XML SURVEY03.DTD (測量情報管理ファイル)
	 KITEN 基準点測量サブフォルダ	・測量成果管理ファイル ・DTD ・基準点測量記録 ・基準点測量成果 ・基準点測量その他データ	XML DTD SURV_KTN.XML SURV_D03.DTD (測量成果管理ファイル) XML TXT (XMLファイル) (TEXTデータファイル) PDF (PDFファイル) (オリジナルファイル)
	 SUIJUN 水準測量サブフォルダ	・測量成果管理ファイル ・DTD ・水準測量記録 ・水準測量成果 ・水準測量その他データ	XML DTD SURV_SJN.XML SURV_D03.DTD (測量成果管理ファイル) XML TXT (XMLファイル) (TEXTデータファイル) PDF (PDFファイル) (オリジナルファイル)
	 CHIKEI 地形測量及び写真測量サブフォルダ	・測量成果管理ファイル ・DTD ・地形測量及び写真測量記録 ・地形測量及び写真測量成果 ・地形測量及び写真測量その他データ	XML DTD SURV_CHI.XML SURV_D03.DTD (測量成果管理ファイル) XML TXT (XMLファイル) (TEXTデータファイル) PDF (PDFファイル) (オリジナルファイル)

1 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】の位置付け

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
SURVEY	ROSEN 路線測量 サブフォルダ	・測量成果管理ファイル ・DTD ・路線測量記録 ・路線測量成果 ・路線測量その他データ	XML DTD SURV_RSN.XML SURV_D03.DTD (測量成果管理ファイル) XML TXT (XMLファイル) (TEXTデータファイル) PDF (PDFファイル) (オリジナルファイル)
	KASEN 河川測量 サブフォルダ	・測量成果管理ファイル ・DTD ・河川測量記録 ・河川測量成果 ・河川測量その他データ	XML DTD SURV_KSN.XML SURV_D03.DTD (測量成果管理ファイル) XML TXT (XMLファイル) (TEXTデータファイル) PDF (PDFファイル) (オリジナルファイル)
	YOUCHI 用地測量 サブフォルダ	・測量成果管理ファイル ・DTD ・用地測量記録 ・用地測量成果 ・用地測量その他データ	XML DTD SURV_YCH.XML SURV_D02.DTD (測量成果管理ファイル) XML TXT (XMLファイル) (TEXTデータファイル) PDF (PDFファイル) (オリジナルファイル)

1 電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】の位置付け

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 SURVEY	 OTHR\$OYO その他の応用測量 サブフォルダ	・測量成果管理ファイル ・DTD ・その他の応用測量記録 ・その他の応用測量成果 ・その他の応用測量その他データ	 XML SURV_OYO.XML (測量成果管理ファイル)  DTD SURV_D03.DTD  XML (XMLファイル)  PDF (PDFファイル)
	 DOC ドキュメント サブフォルダ	・ドキュメント管理ファイル ・DTD ・製品仕様書 ・特別仕様書 ・打合せ簿 ・実施報告書	 XML SURV_DOC.XML (ドキュメント管理ファイル)  DTD SDOC_D01.DTD  PDF (PDFファイル)  (オリジナルファイル)
 NNICT NNICTデータフォルダ NNICTに関する電子成果品を			格納データは情報化施工技術の活用 ガイドラインを参照してください。

【基本編】

2 電子納品の流れ

業務発注準備から成果品検査、保管管理にいたる電子納品の流れを図 2-1 に示します。

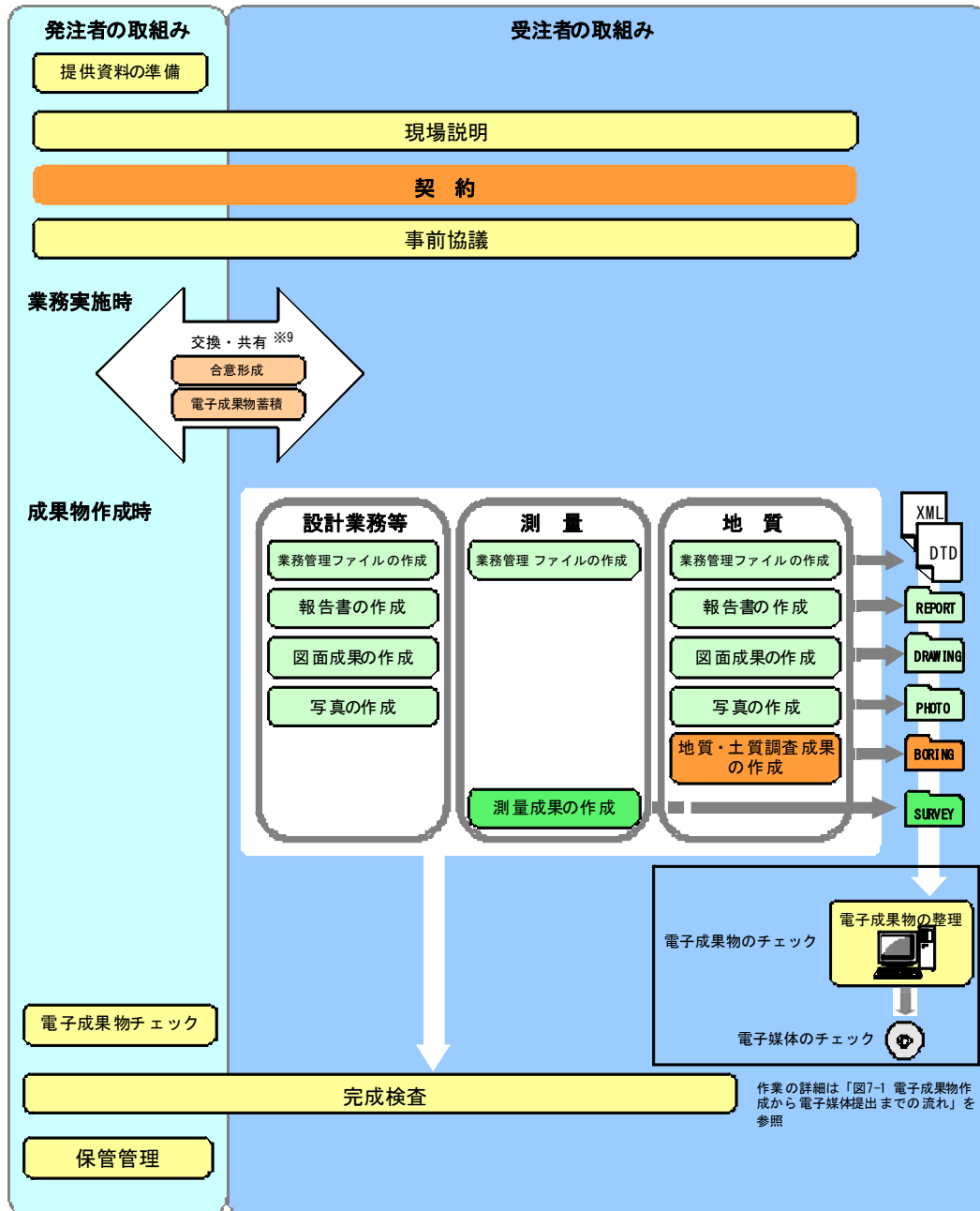


図 2-1 業務における電子納品の流れ※9

※9 交換・共有の例については、工事ガイドライン（案）【発展編】の「9. 電子的な交換・共有」を参照してください。

3 発注時の準備

発注者は、電子データとして受注者に提供する資料内容の確認、製品仕様書及び特別仕様書の作成を行います。

提供する電子データについて、資料の内容を確認するとともに、最新の電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）^{※10}によりチェックを行い、電子納品要領（案）等に適合していることを確認します。

発注者は、必要に応じて業務成果品のCADデータ作成時に適用した電子納品要領（案）の情報を受注者に提供してください。

なお、CADデータの確認の詳細については、「図面ガイドライン（案）、第3編 工事編、10.2. CADデータの確認」を参照してください。また、CADデータが電子成果品の仕様を満足していない場合については、「図面ガイドライン（案）、第3編 工事編、8.2. 図面要領（案）に完全に準拠していない業務成果」を参照してください。

^{※10} 電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）は、電子納品の Web サイトから入手します。
(URL : http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/index.html)

4 成果作成の取り扱い

4.1 成果作成の取り扱いについて

(1) SXF データの取り扱いに関して

現行の数値地形図データ-SXF 作成仕様（案）が普及されるまでの期間は、SXF Ver. 2.0 以上で納品し、標準図式データファイル（旧名称：拡張 DM 形式）も併せて納品する対応とします。

図面要領（案）に従い納品する CAD データのファイル形式ならびにバージョンは SXF Ver. 2.0 以上としていますが、測量成果として納品する CAD データのファイル形式ならびにバージョンは、属性ファイル用属性付加機構を利用して取得分類コード、精度、取得年月など標準図式データファイルに記述される情報を保持するために、SXF Ver. 3.0 以上を原則としています。

数値地形図データ-SXF 作成仕様（案）に従った SXF の作成が必要となりますが、現行の数値地形図データ-SXF 作成仕様（案）が普及されるまでの期間中は SXF Ver. 2.0 による納品も可能とし、必要な測量情報を保持した標準図式データファイル（旧名称：拡張 DM 形式）も併せて納品します。なお、縦横断面図や網図・一覧図類では、標準図式データファイルを併せて納品する必要はありません。

4.2 成果データ形式

(1) 基盤地図情報における成果データ形式

基盤地図情報における成果データの形式の記述は、表 4-1に示す内容を記述例として参考にしてください。

表 4-1 基盤地図情報に該当する成果の場合の配布書式情報の例

成果データ形式の名称 (書式名称)	JPGIS Ver. 2.0 付属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則	公共測量標準図式 数値地形図データ
成果データ形式の仕様 (符号化仕様)	「JPGIS Ver. 2.0 付属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則」を使用する	「公共測量標準図式 数値地形図デー タファイル仕様」を使用する
文字集合	Shift_JIS とする	
言語	日本語を使用する	

(2) 工事にかかる測量に関する成果データ形式

農林水産省直轄工事業務における図面の成果データの形式は SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) を原則とします。応用測量の製品仕様書の記述を参考に、表 4-2に示す内容から選択し、ご利用ください。

ただし、数値地形図データ-SXF 作成仕様 (案) の修正、普及されるまでの期間は、SXF Ver. 2.0 以上で納品し、標準図式データファイル (旧名称：拡張 DM 形式) も併せて納品する対応とします。

なお、受発注者間協議により、SXF に代えて、高さ情報を保持できるオリジナル形式の CAD データで納品しても構いません。

表 4-2 農林水産省直轄工事業務で利用する成果の場合の配布書式情報

成果データ形式の 名称 (書式名称)	SXF Ver. 3. 0	SXF Ver. 3. 1	SXF Ver. 2. 0	公共測量標準図式 数値地形図データ
成果データ形式の 仕様 (符号化仕様)	SXF Ver3. 0 仕様書に従う	SXF Ver3. 1 仕様書に従う	SXF Ver2. 0 仕様書に従う	「公共測量標準図式 数値地形図データフ ァイル仕様」を使用 する
文字集合	SXF Ver3. 0 仕様書に従う	SXF Ver3. 1 仕様書に従う	SXF Ver2. 0 仕様書に従う	Shift_JIS とする
言語	日本語を使用する			

5 事前協議

5.1 協議事項

電子納品を円滑にするために、業務着手時に、次の事項について、発注者と受注者で事前協議を行ってください。

発注者は、業務中での電子成果品の変更等により、受注者に日々蓄積した電子データを無駄にさせたり、過度な負担をかけることがないように、十分に留意してください。

- (ア) 業務中の情報交換方法
- (イ) 電子成果品とする対象書類
- (ウ) 電子化が困難な資料の取り扱い
- (エ) 検符及び押印の取り扱い
- (オ) 第三者機関検定の実施方法
- (カ) 検査の方法
- (キ) その他の事項

なお、「10.2 事前協議チェックシート（業務用）」に測量の電子納品に関するチェックシートを掲載しています。

5.2 業務中の情報交換

業務中や施工中の情報交換・共有については、メール等で情報交換を行いながらも最終的に書面で決裁する従来の方法と、電子的に交換・共有した情報を電子成果品として蓄積していく CALS/EC の取組みに沿った方法とがあります。

そこで、電子的な情報の交換・共有については、担当者の情報リテラシーや情報技術を扱う環境等を考慮し、発注者と受注者の協議の中で取り扱いを決定してください。

- (ア) 提出書類により受発注者間で情報交換・共有し、成果品の電子化を図る場合は、「6. 業務中の情報管理」を基に、運用するものとします。
- (イ) 情報を電子的に受発注者双方で交換・共有し、業務の効率化を図る場合は、工事ガイドライン（案）の「9. 電子的な交換・共有」を参照し、運用するものとします。

5.3 電子成果品とする対象書類

測量要領（案）では、測量作業規程で定められた測量成果等を電子納品の対象書類としています。しかし、電子化が困難な資料や、測量要領（案）で定められていない測量成果の取り扱いについては、事前に電子化の対象範囲を協議します。

特別仕様書、測量作業規程、及び測量要領（案）を参照のうえ、当該測量作業で作成する成果の電子納品の対象範囲と方法等を受発注者間で協議します。

（協議事項）

- (ア) 電子納品の対象とする成果項目
- (イ) 成果品の格納フォルダ、ファイル形式、ファイル命名^{※11}
- (ウ) 電子納品対象外の成果の取り扱い
- (エ) 管理項目の記入方法
 - ・測量成果ファイル名副題、ドキュメントファイル名副題
 - ・業務分野コード、業務キーワード

打合せ簿等の資料の取り扱いは、次のとおりです。

- (ア) 監督職員、管理技術者などの認印を押印した鑑については、基本的に電子化のみとしますが、地元調整などにより相手方より押印された文書がある場合は、原本性確保の観点から紙でも提出する。
- (イ) 第三者が発行する証明書類等添付書類については、電子化するとともに、原本性確保の観点から紙でも提出する。

※ここでいう電子化とは、押印付きの紙の書類をスキャニングし、PDF ファイル形式に変換することをいいます。

5.4 電子化が困難な資料の取り扱い

電子化が困難な資料の取り扱いについて受発注者間で事前に協議します。

測量成果等のうち、電子化することにより本来の精度・品質を確保することが現状では困難と考えられる成果は、電子化が困難な資料として電子納品の「対象外」とします。

5.5 検符及び押印の取り扱い

検符及び押印した書類は紙で納品することを基本とし、電子納品する成果は、当面は検符及び押印を要さないものとしますが、次の事項についてあらかじめ受発注

^{※11} 測量成果の電子納品対象書類は多岐にわたっており、実施する測量種別によってその成果の種類が異なります。各測量成果は、「7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】」、「7.4 水準測量成果作成【SURVEY/SUIJUN】」、「7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】」、「7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】」、「7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】」、「7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】」、「7.9 その他の応用測量成果作成【SURVEY/OTHERSOYO】」、「7.10 ドキュメント作成【SURVEY/DOC】」に示すファイル形式、ファイル命名規則に従い、それぞれ所定のフォルダに格納します。

者間で確認します。

- (ア) 成果品作成者による点検方法及び点検書類の取り扱い(納品の要否、保管場所、保管期間)

- (イ) 押印を要する書類の提出方法

なお、「7.13 検符及び押印の取り扱い」に検符及び押印の取り扱いを示していますので、協議の際に参考にしてください。

5.6 第三者機関検定の実施方法

電子納品を行う測量成果等を第三者機関が検定する場合、第三者機関の検符を付した点検用の出力紙は、受注者が保管することが原則ですが、保管場所、保存期間については受発注者間で協議します。

なお、「7.14 第三者機関検定の実施」に第三者機関検定の実施方法を示していますので、協議の際に参考にしてください。

5.7 その他の事項

次の事項についても事前協議し、決定してください。

- (ア) 受注者が提出するオリジナルファイルのソフトウェア及びバージョン
- (イ) 対象とする電子納品要領（案）等の版
- (ウ) 業務中の電子データの保管方法
- (エ) 検査の方法

6 業務中の情報管理

6.1 業務中の協議

事前協議で定めた事項について、日々電子データを整理し電子成果品を作成する中で問題等が見つかった場合は、速やかに協議を行います。また、発注者も日々情報を確認し、協議が必要と判断した事項については、速やかに受注者に指示又は協議します。

6.2 日常的な電子成果品の作成及び整理

受注者は、電子成果品となる文書の作成、写真の整理等を日常的に実施してください。

受注者は、作成した又は受け取った情報をハードディスク等へ適宜フォルダを作成して整理・管理します。この時、最終的な電子成果品の整理での混乱を避けるため電子データの一元管理をこころがけてください。

正しい情報の管理のため、発注者と受注者の間で合意された情報については、速やかに双方で決裁を行い、管理してください。

7 電子成果品の作成

7.1 作業の流れ

受注者が電子成果品を作成し、発注者へ提出するまでの流れを次に例示します。

受注者は、電子媒体に格納する前に、作業フォルダをハードディスク上に作成し、作業を行います。

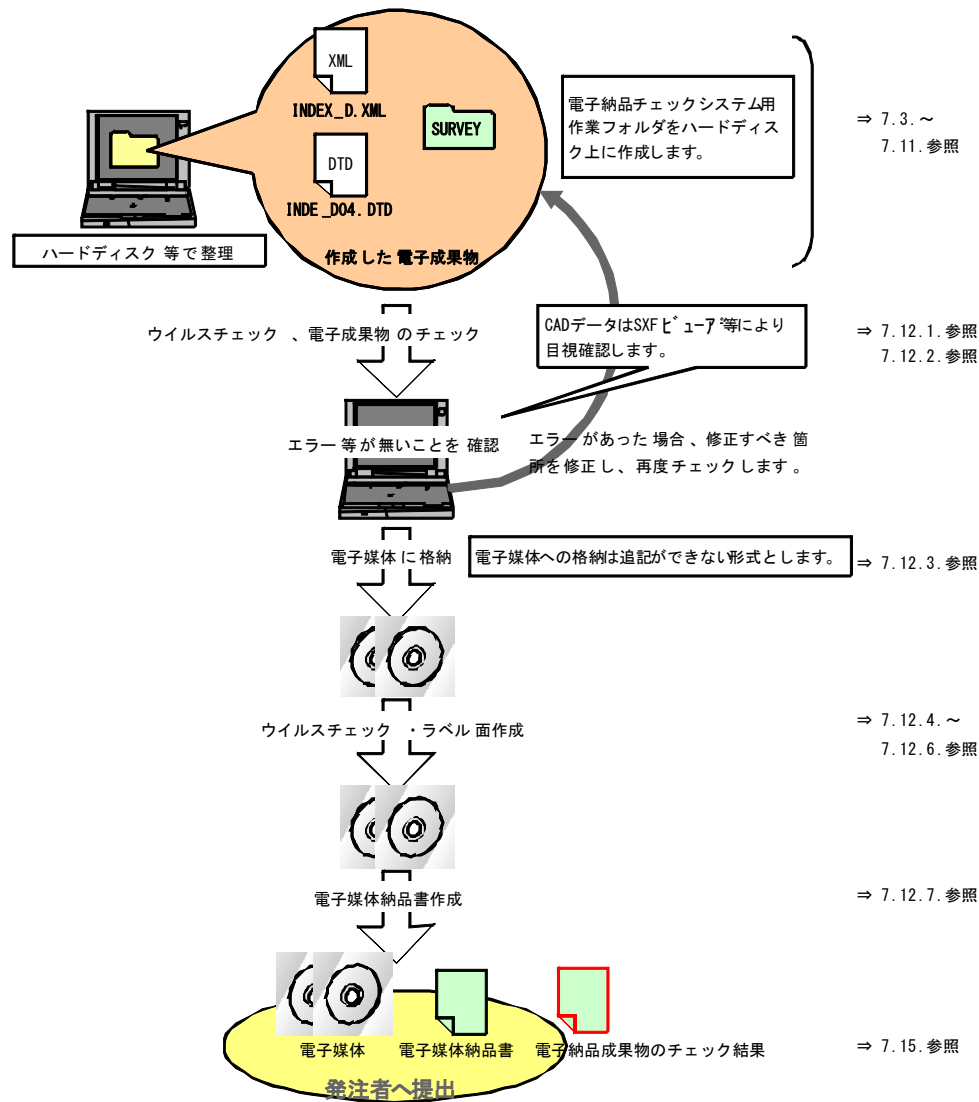


図 7-1 電子成果品作成から電子媒体提出までの流れ^{※12}

※12 ウイルスチェックは、ウイルス存在の有無の確認、駆除を確実にを行うため、電子成果品格納前のハードディスク上の電子成果品、電子成果品格納後の電子媒体で、計2回行うようにします。

7.2 共通事項

7.2.1 フォルダ構成

(1) 全体構成

測量成果を格納する SURVEY フォルダ以下のフォルダ構成は次のとおりです（図 7-2参照）。

ア 電子媒体のルート直下には、業務要領（案）に従い、業務管理ファイルを格納します。また、管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも併せて格納します。ただし、XSL ファイルの格納は任意とします。

イ SURVEY フォルダの下には、測量情報管理ファイルを格納します。また、管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも併せて格納します。ただし、XSL ファイルの格納は任意とします。

ウ SURVEY フォルダの下には、KITEN、SUIJUN、CHIKAI、ROSEN、KASEN、YOUCHI、OTHSOYO、DOC のサブフォルダを作成します。各サブフォルダに格納するファイルは、次のとおりです。

- KITEN、SUIJUN、CHIKAI、ROSEN、KASEN、YOUCHI、OTHSOYO のサブフォルダには、各測量成果（基準点測量成果、水準測量成果、地形測量及び写真測量成果、路線測量成果、河川測量成果、用地測量成果、その他の応用測量成果）及び測量成果管理ファイルを格納します。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも併せて格納します。ただし、XSL ファイルの格納は任意とします。
- DOC サブフォルダには、当該測量作業に関するドキュメント（製品仕様書、特別仕様書、打合せ簿、実施報告書等）及びドキュメント管理ファイルを格納します。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも併せて格納します。ただし、XSL ファイルの格納は任意とします。

エ フォルダ構成に関する留意事項は次のとおりです。

- フォルダ名称は、半角英数大文字とします。
- 格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもかまいません。

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

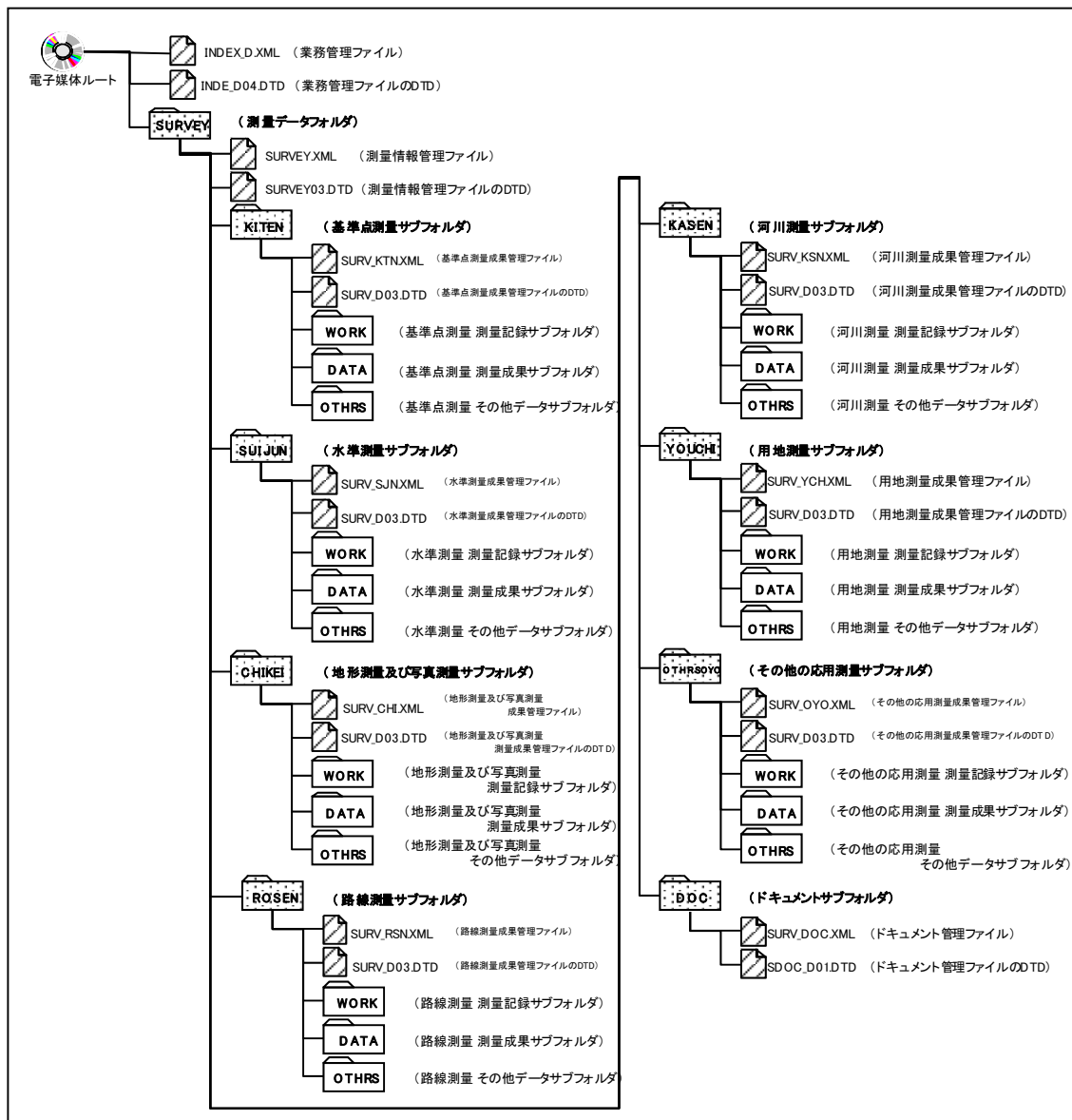


図 7-2 フォルダ構成

(2) サブフォルダ構成

DOC を除く KITEN、SUIJUN、CHIKAI、ROSEN、KASEN、YOUCHI、OTHRISOYO 以下のサブフォルダの構成は次のとおりです（図 7-2参照）。

ア DOC を除く KITEN、SUIJUN、CHIKAI、ROSEN、KASEN、YOUCHI、OTHRISOYO の各フォルダには、WORK、DATA、OTHR のサブフォルダを置き、各サブフォルダに当該測量成果等を格納します。

測量作業の途中段階である測量記録（観測手簿、観測記簿等）、最終的な測量成果（成果表、数値地形図データファイル等）、その他データ（測量機器検定証明書、ファイル説明書等）に分類して、各サブフォルダに格納します。

各サブフォルダに格納するファイルは、次のとおりです。

- WORK サブフォルダには測量記録を格納します。^{※13}
- DATA サブフォルダには測量成果を格納します。^{※14}
- OTHR サブフォルダにはその他データを格納します。

イ WORK、DATA の各フォルダには、測量地域及び測量の等級・地図情報レベルに応じて成果等を整理する必要がある場合、それぞれの細区分サブフォルダを作成し、当該成果を格納します。これらのサブフォルダの名称は、表 7-1 に従います。

ウ OTHR フォルダには、測量機器検定証明書、測量成果検定証明書、ファイル説明書等に加えて、受発注者間協議により、測量要領（案）、測量ガイドライン（案）で規定されていないその他の測量成果等を格納します。

エ サブフォルダ構成に関する留意事項は次のとおりです。

- フォルダ名称は、半角英数大文字とします。
- 格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもかまいません。

※13 測量記録とは、測量作業の工程で得られる測量成果以外の記録・資料等の成果等を指します。

※14 測量成果とは、測量作業の最終工程で得られる成果等で、測量要領（案）、測量ガイドライン（案）で規定されています。測量作業規程（案）では、測量分類又は測量細分類毎に整理すべき成果等の項目を明示していますが、測量要領（案）、測量ガイドライン（案）では、「測量記録」及び「測量成果」に区分して納品することを規定しています。

表 7-1 測量区分とフォルダ構成

測量区分	成果区分	測量細区分 ^{※15}	サブフォルダ名 ^{※15}
基準点測量 〈KITEN〉	測量記録 〈WORK〉	基準点測量 〈KTN_＊〉	/KITEN /WORK/KTN_＊
	測量成果 〈DATA〉	基準点測量 〈KTN_＊〉	/KITEN /DATA/KTN_＊
	その他データ 〈OTHR〉		/KITEN /OTHR
水準測量 〈SUIJUN〉	測量記録 〈WORK〉	水準測量 〈SJN_＊〉	/SUIJUN /WORK/SJN_＊
	測量成果 〈DATA〉	水準測量 〈SJN_＊〉	/SUIJUN /DATA/SJN_＊
	その他データ 〈OTHR〉		/SUIJUN /OTHR
地形測量及 び写真測量 〈CHIKI〉	測量記録 〈WORK〉	現地測量 〈TSGPS_＊〉	/CHIKI /WORK/TSGPS_＊
		車載写真レーザ測量 〈SHASAI_＊〉	/CHIKI /WORK/SHASAI_＊
		撮影 〈SATU_＊〉	/CHIKI /WORK/SATU_＊
		同時調整 〈KUSAN_＊〉	/CHIKI /WORK/KUSAN_＊
		数値図化 〈ZUKA_＊〉	/CHIKI /WORK/ZUKA_＊
		既成図数値化 〈MPDG_＊〉	/CHIKI /WORK/MPDG_＊
		写真地図作成 〈ORTH_＊〉	/CHIKI /WORK/ORTH_＊
		航空レーザ測量 〈LASE_＊〉	/CHIKI /WORK/LASE_＊
		地図編集 〈ZUHEN_＊〉	/CHIKI /WORK/ZUHEN_＊
		その他の地形測量及び写真 測量〈OCHK_＊〉	/CHIKI /WORK/OCHK_＊
	測量成果 〈DATA〉		/CHIKI /DATA
	その他データ 〈OTHR〉		/CHIKI /OTHR

※15 「＊」には、A～Z、1～9 の記号を割り当て、測量地域、測量の等級・地図情報レベルに応じて、補助的に細区分します。1 地区・1 精度で実施した場合は「A」を適用します。

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量区分	成果区分	測量細区分※15	サブフォルダ名※15
路線測量 〈ROSEN〉	測量記録 〈WORK〉	中心線測量 〈RCYUSN_*〉	/ROSEN /WORK/RCYUSN_*
		縦横断測量 〈RZYUO_*〉	/ROSEN /WORK/RZYUO_*
		詳細測量 〈RSYOS_*〉	/ROSEN /WORK/RSYOS_*
		幅杭測量 〈RHABA_*〉	/ROSEN /WORK/RHABA_*
	測量成果 〈DATA〉	中心線測量 〈RCYUSN_*〉	/ROSEN /DATA/RCYUSN_*
		縦横断測量 〈RZYUO_*〉	/ROSEN /DATA/RZYUO_*
		詳細測量 〈RSYOS_*〉	/ROSEN /DATA/RSYOS_*
		幅杭測量 〈RHABA_*〉	/ROSEN /DATA/RHABA_*
	その他データ 〈OTHR〉		/ROSEN /OTHR
河川測量 〈KASEN〉	測量記録 〈WORK〉	河川測点設置測量 〈WKYOR_*〉	/KASEN /WORK/WKYOR_*
		縦横断測量 〈WZYUO_*〉	/KASEN /WORK/WZYUO_*
		深淺測量 〈WSINS_*〉	/KASEN /WORK/WSINS_*
		法線測量 〈WHOSE_*〉	/KASEN /WORK/WHOSE_*
		海浜・汀線測量 〈WKAINA_*〉	/KASEN /WORK/WKAINA_*
	測量成果 〈DATA〉	河川測点設置測量 〈WKYOR_*〉	/KASEN /WORK/WKYOR_*
		縦横断測量 〈WZYUO_*〉	/KASEN /WORK/WZYUO_*
		深淺測量 〈WSINS_*〉	/KASEN /DATA/WSINS_*
		法線測量 〈WHOSE_*〉	/KASEN /DATA/WHOSE_*
		海浜・汀線測量 〈WKAINA_*〉	/KASEN /DATA/WKAINA_*
	その他データ 〈OTHR〉		/KASEN /OTHR
用地測量 〈YOUCHI〉	測量記録 〈WORK〉	資料調査 〈YSIRYO_*〉	/YOUCHI /WORK/YSIRYO_*
		境界確認 〈YKYOK_*〉	/YOUCHI /WORK/YKYOK_*

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量区分	成果区分	測量細区分※15	サブフォルダ名※15
		境界測量 〈YKYOS_※15〉	/YOUCHI /WORK/YKYOS_※15
		境界点間測量 〈YTENKN_※15〉	/YOUCHI /WORK/YTENKN_※15
		面積計算 〈YMENSK_※15〉	/YOUCHI /WORK/YMENSK_※15
		用地実測図等の作成 〈YZISKZ_※15〉	/YOUCHI /WORK/YZISKZ_※15
	測量成果 〈DATA〉	資料調査 〈YSIRYO_※15〉	/YOUCHI /DATA/YSIRYO_※15
		境界確認 〈YKYOK_※15〉	/YOUCHI /DATA/YKYOK_※15
		境界測量 〈YKYOS_※15〉	/YOUCHI /DATA/YKYOS_※15
		境界点間測量 〈YTENKN_※15〉	/YOUCHI /DATA/YTENKN_※15
		面積計算 〈YMENSK_※15〉	/YOUCHI /DATA/YMENSK_※15
		用地実測図等の作成 〈YZISKZ_※15〉	/YOUCHI /DATA/YZISKZ_※15
	その他データ 〈OTHR〉		/YOUCHI /OTHR
その他の応 用測量 〈OTHRSOYO〉	測量記録 〈WORK〉	その他の応用測量 〈OYO_※15〉	/OTHRSOYO /WORK/OYO_※15
	測量成果 〈DATA〉	その他の応用測量 〈OYO_※15〉	/OTHRSOYO /DATA/OYO_※15
	その他データ 〈OTHR〉		/OTHRSOYO /OTHR

7.2.2 ファイル形式

測量成果等のファイル形式は、次のとおり分類されます。

- PDF 形式
- JPGIS 準拠形式
- 標準図式データファイル形式
- SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z) 形式
- TXT 形式
- オリジナル形式
- その他の形式

個々の測量成果等のファイル形式は、製品仕様書に定められた形式で納品することを原則としますが、製品仕様書に定めがない場合は、「7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】」～「7.10 ドキュメント作成【SURVEY/DOC】」を参照してください。なお、受発注者間協議で形式を決定する測量成果等もあります。

(1) PDF 形式

納品後の利用方法が閲覧中心となる成果は、PDF 形式で納品します。

PDF ファイルのしおり作成の要否は受発注者間協議により決定します。

PDF ファイルは次に示す 1), 2), 3) のいずれかの方法で作成します。

なお、観測手簿、観測記簿及び計算簿の PDF ファイル作成にあたっては、ファイルのとりまとめ単位を受発注者間協議により確認します。観測手簿等、枚数の多い成果は、利用の便を考慮して 100 枚程度に分割してファイルを作成します。

ア アナログ資料のスキャニング

元成果が手書き資料等の紙媒体である場合は、スキャニングにより電子化し、PDF 形式で保存します。スキャナでイメージ化するときの留意事項は次のとおりです。

- スキャニングの解像度は 200dpi 以上を原則とし、文字が識別できるものとします。
- 色調については、元成果が白黒の場合は、白黒 2 値を原則とし、色があるものは、フルカラーを原則とします。
- 縮尺が図中に表記されていない場合、又は表記されている縮尺とスキャニングの縮尺が異なる場合は、図中にスキャニング時の縮尺を表記します。

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

- 元成果の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は、元成果を入力可能な大きさに分割してファイルを作成します。この場合は、図の縮尺に準じて電子化し、ファイル画面の上部にインデックス（位置関係説明図）を入れます（図 7-3参照）。
- ファイルサイズが 10MB を超える場合、あるいは出力サイズが A3 を超える場合、受発注者間協議により、それぞれ、10MB を超えないファイルサイズ、A3 を超えない出力サイズに元成果を分割してファイルを作成します。

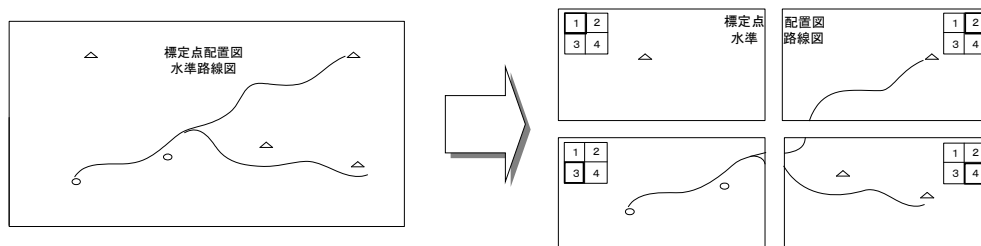


図 7-3 元成果を分割する場合のインデックスの記入例

イ オリジナルソフトウェアで出力可能な成果品の場合

測量設計 CAD ソフト、ワープロ、表計算ソフト等で作成した成果品は、オリジナルファイルから PDF ファイルに変換することを原則とします。

ウ 写真のスキヤニング

測量標の地上写真などを 35 mmカメラで撮影し、スキャナ、又はフィルムスキャナでイメージ化する場合の解像度と有効画素数の関係は、表 7-2、表 7-3を参照してください。

表 7-2 スキャナ解像度(dpi)と有効画素数の関係の例(写真の場合)

写真サイズ 名称	寸法(mm)		寸法(インチ)		スキャナ 解像度	有効画素数		
	縦	横	縦	横		縦	横	縦×横
E	82.5	117.0	3.25	4.61	150	487	691	336,632
					200	650	921	598,456
					250	812	1,152	935,088
					300	974	1,382	1,346,526
					350	1,137	1,612	1,832,772
					400	1,299	1,843	2,393,825
L	89.0	127.0	3.50	5.00	150	526	750	394,193
					200	701	1,000	700,787
					250	876	1,250	1,094,980
					300	1,051	1,500	1,576,772
					350	1,226	1,750	2,146,161
					400	1,402	2,000	2,803,150
KG	102.0	152.0	4.02	5.98	150	602	898	540,703
					200	803	1,197	961,250
					250	1,004	1,496	1,501,953
					300	1,205	1,795	2,162,812
					350	1,406	2,094	2,943,828
					400	1,606	2,394	3,845,000
2L	127.0	178.0	5.00	7.01	150	750	1,051	788,386
					200	1,000	1,402	1,401,575
					250	1,250	1,752	2,189,961
					300	1,500	2,102	3,153,543
					350	1,750	2,453	4,292,323
					400	2,000	2,803	5,606,299

注) プリントサイズの名称、寸法等はメーカー等により異なる可能性があるため、
大体の目安としてください。

表 7-3 スキャナ解像度(dpi)と有効画素数の関係の例(35mm フィルムの場合)

フィルム 名称	寸法(mm)		寸法(インチ)		スキャナ 解像度	有効画素数		
	縦	横	縦	横		縦	横	縦×横
35mmフィルム	24.0	36.0	0.94	1.42	600	567	850	482,113
					900	850	1,276	1,084,754
					1,200	1,134	1,701	1,928,452
					1,500	1,417	2,126	3,013,206
					1,800	1,701	2,551	4,339,017

(2) JPGIS 準拠形式

基盤地図情報として利用する測量成果は、JPGIS 準拠形式で納品することを推奨します。

JPGIS 準拠形式とは、JPGIS に準拠して作成された XML データを指します。実データに加えて、XML スキーマ (XSD)、コードリスト (XML) も合わせて納品しますが、当該測量成果と同一のサブフォルダに格納します。また XML スキーマ、コードリストは、同一ファイルを複数の実データから参照することがありますので、その場合は、XML スキーマ、コードリストを重複して格納しないようにします。

基盤地図情報に該当する測量成果は、次のとおりです。

- 基準点測量：成果表（数値データ）
- 水準測量：平均成果表（数値データ）
- 地形測量及び写真測量：基盤地図情報に該当する成果を含む数値地形図データ
- 応用測量：基盤地図情報に該当する成果を含む数値地形図データ

また、JPGIS に準拠して作成された XML データの情報を記述するためのメタデータ (JMP2.0) の記載方法は、次の規則によります。

- JMP2.0 (JMP : Japan Metadata Profile) (国土地理院、平成 14 年度)
- JMP2.0 仕様書 (国土地理院技術資料 E.1-No. 281)
- JMP2.0 解説書 (国土地理院技術資料 E.1-No. 282)

なお、メタデータなどの文字符号化は、UTF-8 などを採用するケースがあります。測量成果の電子納品では、管理ファイルの文字符号化は SHIFT-JIS を採用していますが、一部のエディタ（古い OS に含まれるエディタなど）では、SHIFT-JIS には対応していますが UTF-8 には対応せず、読み込めないものもあるため、利用の際には注意が必要です。

JMP2.0 の解説や作成ツールである JMP メタデータエディタについては、下記の Web サイトを参照してください。

<http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html>

(3) 標準図式データファイル形式

数値地形図データファイルは、JPGIS に準拠して納品することが原則ですが、その後の利用を考慮して（取り扱いが困難である場合等）、受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもかまいません。

標準図式データファイル形式とは、測量作業規程の準則 付録 7「公共測量標準図式数値地形図データファイル仕様」に従い作成される数値地形図データファイル形式を指します。これまで、「拡張ディジタルマッピング実装規約（案）」（国土地理院技術資料）で定められ、拡張 DM 形式と呼称されていましたが、この名称が変更になりました。よってデータは従来どおり、インデックスデータファイル、データファイル、ファイル説明書のデータセットから構成されます。

なお、標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図、標定図、同時調整作業計画・実施一覧図などの標準図式データファイルの作成に当たっては、次の点に留意してください。

- 図郭座標には [0, 0] を記述します。
- 座標は平面直角座標系とします（通常は左下を原点とする相対座標）。
- 座標の単位は、m とします。
- 使用した作業規程で、地図データとの区別を行います。
- 標定図などの表現に必要な表現分類コードは、「公共測量標準図式数値地形図データファイル仕様」を参照します。
- 背景には作成された標準図式データファイルを用いてもかまいません。

(4) SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式

応用測量の面的な成果である数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠または数値地形図データファイル形式で納品することが原則ですが、その後の利用を考慮して、受発注者間協議により、SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式の CAD データで納品してもかまいません。また、測量座標を持たない縦断面図、横断面図等の断面図の成果は受発注者間協議により、SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式の CAD データで納品します。

CAD データの作成方法は、「4 成果作成の取り扱い」「7.2.6 CAD データ作成にあたっての留意点」を参照します。また、拡張 DM から SXF 形式への変換は、「拡張 DM-SXF 変換仕様（案）」または「数値地形図データ-SXF 作成仕様（案）」（下記の Web サイト）を参照してください。

<http://www.jacic.or.jp/hyojun/dm-cad.htm>

http://www.jacic.or.jp/hyojun/dmsxf_spec.html

(5) TXT 形式

地形測量及び写真測量、応用測量の成果表等、他の測量作業への入力データとして利用される成果等は、TXT 形式で納品します。

TXT 形式とは、基本的にキャラクタコードからなり、改行やファイルの終端などにはキャラクタ以外の制御コードを含む TXT ファイルです。

ファイル仕様が定められているものは、次のとおりです。

- 基準点測量、水準測量の成果表：測量要領（案） 付属資料 3 成果表数値フォーマットによる
- 地形測量及び写真測量の成果表：測量要領（案） 付属資料 3 成果表数値フォーマットによる

これ以外は、受発注者間協議によりフォーマットを定め、データの仕様等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を別途作成し、成果品データと併せて納品します。

(6) オリジナル形式

ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ・表計算ソフト等を利用して作成されている成果は、受発注者間協議により、データ形式を決定の上、オリジナル形式で納品します。

また、観測手簿、観測記簿、点の記、測量標の地上写真は、受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。その場合、次の事項をあらかじめ受発注者間で確認してください。

- オリジナルファイルの形式
数値データのレコードフォーマット、ファイル単位や図面データのファイル形式などを、データ表示、印刷、後続作業での利用を考慮して決定します。
- ファイル説明書の有無
必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を、測量区分ごとのその他データサブフォルダ（OTHERS）に格納します。
- 写真要領（案）の適用の可否
当該業務成果に、点の記及び測量標の地上写真が含まれる場合、写真要領（案）の適用の可否を協議します。

ア 観測手簿及び観測記簿

観測手簿及び観測記簿は、PDF 形式に加えて、測量に用いた機器固有のオリジナル数値データを納品してもかまいません。その場合、データファイルの内容、データ形式等を説明したファイル説明書（PDF 形式）をその他データサブフォルダ（OTHERS）に格納します。

イ 点の記

点の記はワープロソフトや表計算ソフト等を用いて作成される場合が多く、PDF 形式に加えて、点の記を作成する際に用いたソフトのオリジナル形式でファイルを納品してもかまいません。

ウ 測量標の地上写真

測量標の地上写真は、PDF 形式で納品します。

受発注者間協議により、写真帳を作成する際に用いたワープロソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。ただし、ワープロソフトのオリジナルのファイル形式は情報の再現性が必ずしも担保されないことから、PDF 形式の電子ファイルを併せて納品することが望ましいです。

なお、受発注者間協議により、測量標の地上写真の納品に写真要領（案）を適用する場合はこの限りではありません。

(7) その他の形式

関係団体等が推奨しているファイル形式でも、受発注者間協議により、成果の納品は可能です。具体的な例は次のとおりです。

観測手簿（多角、水準）における APA・SIMA（日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会）

観測手簿（GNSS 方式）における RINEX (Receiver Independent Exchange format)：受信機に独立な交換フォーマット

測量成果（座標、路線、縦断、横断、画地）における SIMA（日本測量機器工業会）

TS 地形測量における JSP・SIMA-DM（全国測量設計業協会連合会・日本測量機器工業会）

地形・数値測量における精度管理表の TXT 形式（日本測量調査技術協会）

7.2.3 ファイル命名規則

測量成果等のファイル名は半角英数大文字とし、ファイル名に使用する文字は半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」のみとします。

測量成果等のファイル命名規則は次のとおりです。

(1) 管理ファイル等

ア 測量情報管理ファイルは SURVEY.XML、測量情報管理ファイルの DTD は SURVEY03.DTD(03 は版情報)とします。

イ 測量成果管理ファイルは、基準点測量 SURV_KTN.XML、水準測量 SURV_SJN.XML、地形測量及び写真測量 SURV_CHI.XML、路線測量 SURV_RSN.XML、河川測量 SURV_KSN.XML、用地測量 SURV_YCH.XML、その他の応用測量 SURV_OYO.XML とします。測量成果管理ファイルの DTD は SURV_D03.DTD(03 は版情報)とします。

ウ ドキュメント管理ファイルは SURV_DOC.XML、ドキュメント管理ファイルの DTD は SDOC_D01.DTD(01 は版情報)とします。

エ 各管理ファイルのスタイルシートのファイル名は、SURVEY03.XSL、SURV_D03.XSL、SDOC_D01.XSL とします。

(2) 測量成果等

ア ファイル命名の原則

ファイル命名規則の具体的内容及び留意事項は、次のとおりです。

(ア) 図 7-4 のファイル命名規則のうち、「○○○」の部分に設定する記号は、表 7-4を参照します。表 7-4に示す記号の 3 文字目の「*」には、通常「A」を記入します。複数地域や複数精度の場合は、B、C・・・Z、1・・・9 により、補助的に区分してください。

なお、この記号は該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させます。

(例 1) : 撮影で地図情報レベル 1000 と地図情報レベル 2500 が同時発注になった場合、2 つの測量細区分サブフォルダに格納し、ファイル名もそれぞれ、「CSA▲▲nnn.XXX」、「CSB▲▲nnn.XXX」とします。

(イ) 図 7-4のファイル命名規則のうち、「▲▲」の部分には、成果等のカテゴリ区分を表すアルファベットの設定記号 1 文字(表 7-5参照)、当該測量細区

分内での連番（1～9、A～Z）1文字を割り当てます。

該当する測量成果のファイル名の記号は、表 7-6～表 7-12を参照します。

(ウ) 同一成果のファイルが複数ある場合は、「nnn」の部分に連番(001～999)を割り当てます。ファイル数が999を超える場合は、A00～A99、B00～B99、C00～C99、・・・、Z00～Z99の連番を割り当てます。

(例1):基準点測量の成果表を、PDF形式で3枚電子化した場合 KJAA1001.PDF, KJAA1002.PDF, KJAA1003.PDF

(例2):基準点測量の精度管理表を、枚数が多いため1ファイルにまとめた場合 KJAG1001.PDF

測量3):空中写真測量(標定点設置)の精度管理表を100枚電子化し、1ファイルにまとめた場合 CSAG1001.PDF

(エ) 打合せ協議等により、ファイル名、格納フォルダを決定する場合は、表 7-5の「成果のカテゴリ」の区分に則ることを原則とします。

イ 測量成果等のファイル名

測量成果等のファイル名は、次を原則とします。

- (ア) 図 7-4の「○○○」部分には、測量細区分の設定記号(表 7-4参照)を付します。
- (イ) 図 7-4の「▲▲」部分には、成果種類の設定記号(表 7-6、表 7-7、表 7-8、表 7-9、表 7-10、表 7-11、表 7-12参照)を付します。
- (ウ) 図 7-4の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割り振った連番を付します。
- (エ) 拡張子は4文字でも使用できます。

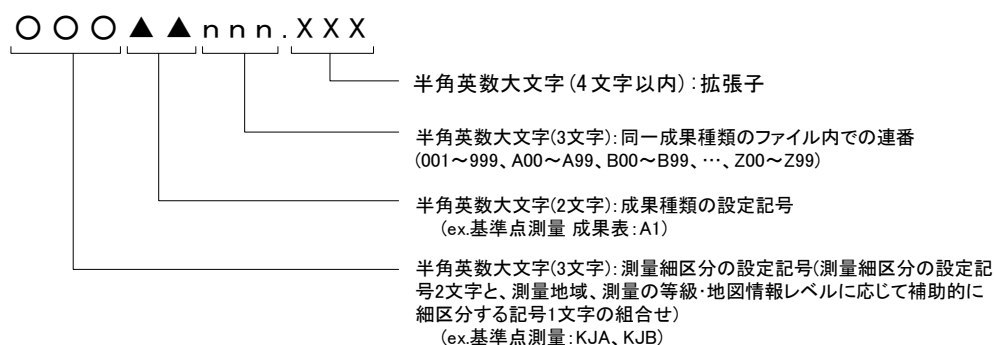


図 7-4 測量成果ファイルの命名規則

ウ XML スキーマ、コードリストのファイル名

XML スキーマ、コードリストのファイル名は、次のとおりです。

(ア) XML スキーマ : SCHMnnn. XSD

(イ) コードリスト : CODEnnn. XML

nnn は同一サブフォルダ内で割り振った連番を付す。

エ 同一データセットでのファイル命名の留意点

複数のファイルから構成されるデータセットについては、同一の設定記号を割り当て、同一のデータセット内でファイル名（拡張子除く）が異ならないようにします。例えば、標準図式データファイルは、インデックスデータファイル、データファイル、ファイル説明書から構成されます。

（例 1）：線形図データファイルを標準図式データファイルで納品する場合

CGAB1001.DMI、CGAB1001.DM、CGAB1001.PDF

さらに、標準図式データファイルに加え、SXF (P21)形式で納品する場合は、連番 nnn は次順の番号を付与します。

（例 2）：例：線形図データファイルを標準図式データファイルに加えて SXF (P21)形式で納品する場合

CGAB1002.P21、CGAB1002.SAF

これまで、測量成果等のファイル名は、例えば、インデックスデータファイル、データファイル、ファイル説明書で異なる成果種類の設定記号を用いていたため、拡張子を除く先頭 8 文字で成果種類の判別が可能でしたが、同一データセット内でも同じ成果種類の設定記号を用いるため、拡張子を含むファイル名で成果種類を判別する必要があり、注意が必要です。

オ SXF データのラスタファイルの命名の留意点

SXF データのラスタファイルは、1 つの SXF データに対し複数のラスタファイルが添付される場合があります、枝番を付与する必要があります。図 7-4に則ったファイル命名に対し枝番を付与した場合、拡張子を除くファイル名の文字数が 8 文字を超えるため、SXF データのラスタファイルのファイル命名は図 7-5のとおりとします。

同一成果の SXF ファイルが複数存在する場合、ファイルを跨ぐ形で枝番を付与する形となるため、注意が必要です。

なお、CAD データ作成にあたっては、「7.2.6 CAD データ作成にあたっての留意点」を参照ください。

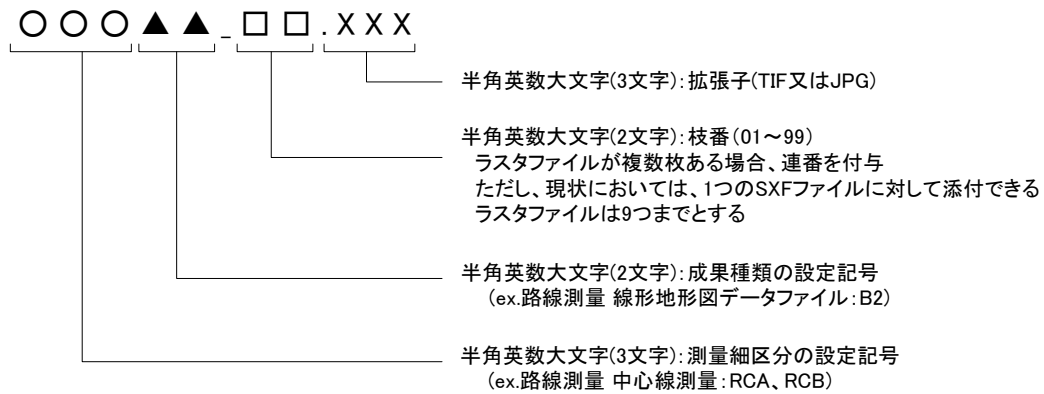


図 7-5 SXF データのラスタファイルの命名規則

(例) 元図となる CAD データに 4 枚の添付ラスタファイル路線測量 (RCA) の線形地形図データファイル (B2) がある場合は、4 枚全てのファイル名を繰り返し入力します。

ラスタファイル名: 「RCAB2_01.TIF」と入力

ラスタファイル名: 「RCAB2_02.JPG」と入力

ラスタファイル名: 「RCAB2_03.JPG」と入力

ラスタファイル名: 「RCAB2_04.TIF」と入力

表7-4 測量細区分記号一覧表

測量区分	測量細区分		設定記号 ^{※16}
基準点測量			KJ*
	その他データ		KOT
水準測量			SJ*
	その他データ		SOT
地形測量及び写真測量	現地測量	基準点の設置	CG*
		細部測量	CG*
		数値編集	CG*
		数値地形図データファイルの作成	CG*
	車載写真レーザ測量	作業計画	CV*
		調整点の設置	CV*
		移動取得及びデータ処理	CV*
		数値図化	CV*
		現地補測	CV*
		数値編集	CV*
		数値地形図データファイルの作成	CV*
	撮影	標定点の設置	CS*
		対空標識の設置	CS*
		撮影	CS*
	同時調整		CK*
	数値図化	現地調査	CZ*
		数値図化	CZ*
		数値編集	CZ*
		補測編集	CZ*
		数値地形図データファイルの作成	CZ*
	既成図数値化		CM*
	修正測量(測量手法により CG*または CZ*等に格納)		CG* または CZ*等
	写真地図作成		CD*
	航空レーザ測量	作業計画	CL*
		固定局の設置	CL*
		航空レーザ計測	CL*
		調整用基準点の設置	CL*

※16 「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A～Z ならびに 1～9 を適用します。1 地区・1 精度で実施した場合は「A」を適用します。

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量区分	測量細区分		設定記号 ^{※16}
		三次元計測データ作成	CL*
		オリジナルデータ作成	CL*
		グラウンドデータ作成	CL*
		グリッドデータ作成	CL*
		等高線データ作成	CL*
		品質評価	CL*
		成果等の整理	CL*
	地図編集		CU*
	その他の地形測量及び写真測量		CO*
	その他データ		ZOT
路線測量	中心線測量	線形決定	RC*
		条件点の観測	RC*
		IP 設置測量	RC*
		中心線測量	RC*
	縦横断測量	仮 BM 設置測量	RZ*
		縦断測量	RZ*
		横断測量	RZ*
	詳細測量		RS*
	幅杭測量	用地幅杭設置測量	RH*
	その他データ		ROT
河川測量	河川測点設置測量	河川測点設置測量	WK*
		水準基標測量	WK*
	縦横断測量	縦断測量	WZ*
		横断測量	WZ*
	深浅測量		WS*
	法線測量		WH*
	海浜・汀線測量	海浜測量	WT*
		汀線測量	WT*
	その他データ		WOT
用地測量	資料調査		YS*
	境界確認	復元測量	YK*
		境界確認	YK*
	境界測量	境界測量	YY*
		補助基準点の設置	YY*
		用地境界仮杭設置	YY*
		用地境界杭設置	YY*
	境界点間測量		YT*
	面積計算		YM*
	用地実測図等の作成	用地実測図データファイルの作成	YZ*

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量区分	測量細区分		設定記号 ^{※16}
		用地平面図データファイルの作成	YZ*
	その他データ		YOT
その他の応用測量	その他の応用測量		OT*
	その他		OOT

表 7-5 ファイル名設定記号のカテゴリ区分

成果等のカテゴリ	成果等の名称	サブフォルダ区分	設定記号
点の成果	成果表、成果表(数値データ)、観測成果表、観測成果表(数値データ)、平均成果表、平均成果表(数値データ)、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト、等	DATA	A
面の成果	数値地形図データファイル、写真地図データファイル、オリジナルデータ、グラウンドデータ、グリッドデータ、水部ポリゴン、メッシュデータ、等高線データ、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト、等	DATA	B
点の記	点の記、点の記(数値データ)、等	DATA	C
手簿・記簿	観測手簿、観測記簿、点検測量簿、設置手簿、GNSS 衛星の配置等記録(手簿・記簿) 等	WORK	D
計算簿類	計算簿、標定点成果表、標定点測量簿、標定点明細簿、対空標識点明細票、同時調整成果表、外部標定要素成果表、座標測定簿、調整計算簿、等	WORK	E
網図・一覧図類	基準点網図、平均図、観測図、水準路線図、標定点配置図、対空標識点一覧図、標定図、同時調整作業計画・実施一覧図、等	WORK	F
精度管理表	精度管理表、等	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、撮影記録、業務報告書、測量標の地上写真、三次元計測データ、等	WORK	H
その他	測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GNSS 観測スケジュール表、衛星配置図、撮影計画図等	OTHS	J

表 7-6 成果種類の設定記号(基準点測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
基準点測量 〈KJ*〉	基準点測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		観測記簿	D3	WORK
		観測記簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		平均図	F2	WORK
		成果表	A1	DATA
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		基準点網図	F1	WORK
		品質評価表	A3	DATA
		測量標の地上写真	H1	WORK
		基準点現況調査報告書	H2	WORK
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		点検測量簿	D5	WORK
		メタデータ	A4	DATA
		観測図	F3	WORK
		精度管理表	G1	WORK
		設置手簿	D6	WORK
		測量標新旧位置明細書	H3	WORK
		GNSS 観測記録簿	D7	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他データ 〈KOT〉	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHS
		測量成果検定証明書等	J2	OTHS
		ファイル説明書	J3	OTHS
		GNSS 観測スケジュール表	J4	OTHS
		衛星配置図	J5	OTHS
		GNSS 基準局配置図	J6	OTHS
		建標承諾書	—	
		測量標設置位置通知書	—	

表 7-7 成果種類の設定記号(水準測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
水準測量 〈SJ*〉	水準測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		観測記簿	D3	WORK
		観測記簿(数値データ)	D4	WORK
		観測成果表	A1	DATA
		平均成果表	A3	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		計算簿	E1	WORK
		平均図	F2	WORK
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		観測成果表(数値データ)	A2	DATA
		平均成果表(数値データ)	A4	DATA
		測量標の地上写真	H1	WORK
		基準点現況調査報告書	H2	WORK
		品質評価表	A5	DATA
		点検測量簿	D5	WORK
		メタデータ	A6	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		測量標新旧位置明細書	H3	WORK
		GNSS 観測記録簿	D6	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他データ 〈SOT〉	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
		GNSS 観測スケジュール表	J4	OTHR
		衛星配置図	J5	OTHR
		GNSS 基準局配置図	J6	OTHR
		建標承諾書	—	
		測量標設置位置通知書	—	

表7-8 成果種類の設定記号(地形測量及び写真測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
現地測量 <CG*>	現地測量(基準 点の設置)		基準点測量 の成果とし て格納	
	現地測量(細部 測量)	測定位置確認資料	H1	WORK
		細部測量精度管理表	G1	WORK
	現地測量(数値 編集)	数値編集精度管理表	G2	WORK
	現地測量(数値 地形図データ ファイルの作 成)	数値地形図データファイル	B1	DATA
		数値地形図データ作成精度 管理表	G3	WORK
	現地測量(品質 評価)	品質評価表	B2	DATA
	現地測量(成果 等の整理)	メタデータ	B3	DATA
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
車載写真レー ザ測量 <CV*>	車載写真レー ザ測量 (作業計画)	作業計画書	H1	WORK
		キャリブレーション実施 記録	D1	WORK
	車載写真レー ザ測量 (調整点の位 置)	選点計画図	D2	WORK
		観測簿	D3	WORK
		計算簿	D4	WORK
		調整点明細簿	D5	WORK
		精度管理表(調整点測量)	G1	WORK
	車載写真レー ザ測量 (移動取得及 びデータ処理)	移動取得計画図	H2	WORK
		移動取得実績図	H3	WORK
		GNSS 衛星の配置等記録 (手簿・記簿)	D6	WORK
		走行時間帯の衛星数及び PDOP 図	H4	WORK
		解析結果精度管理表	G2	WORK
		調整処理精度管理表	G3	WORK
		合成結果精度管理表	G4	WORK
		点検測量精度管理表	G5	WORK
		三次元点群データ	H5	WORK
		外部標定要素付き写真	H6	WORK

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
		参照用写真	H7	WORK
	車載写真レー ザ測量 (数値図化)	精度管理表 (数値図化)	G6	WORK
	車載写真レー ザ測量 (現地補測)	出力図	—	
		精度管理表 (現地補測)	G7	WORK
	車載写真レー ザ測量 (数値編集)	出力図	—	
		精度管理表 (数値編集)	G8	WORK
	車載写真レー ザ測量 (数値地形図 データファイ ルの作成)	数値地形図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G9	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
撮影 <CS*>	空中写真測量 (標定点の設 置)	標定点成果表	E1	WORK
		標定点配置図	F1	WORK
		水準路線図	F2	WORK
		標定点測量簿	E2	WORK
		標定点測量簿(数値データ)	E3	WORK
		標定点明細簿	E4	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	空中写真測量 (対空標識の設 置)	対空標識点明細票	E5	WORK
		偏心計算簿	—	
		対空標識点一覧図	F3	WORK
		精度管理表	G2	WORK
	空中写真測量 (撮影)	ネガフィルム	—	
		密着印画	—	
		数値写真	H1	WORK
		サムネイル画像	H2	WORK
		標定図	F4	WORK
		外部評定要素成果票 (GNSS/IMU 解析結果)	E6	WORK
		撮影記録	H3	WORK
		撮影諸元	H4	WORK
		品質評価表	B1	DATA
		精度管理表(撮影コース別)	G3	WORK
		精度管理表(撮影ロール別)	G4	WORK
		GNSS/IMU 計算精度管理表	G5	WORK
		固定局観測記録簿	D1	WORK
		空中写真数値化作業記録簿	D2	WORK

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
		及び点検記録簿		
同時調整 〈CK*〉	空中写真測量 (同時調整)	外部標定要素成果表	E1	WORK
		パスポイント・タイポイント 成果表	E2	WORK
		同時調整作業計画・実施一覧 図	F1	WORK
		写真座標測定簿	E3	WORK
		調整計算簿	E4	WORK
		精度管理表	G1	WORK
数値図化 〈CZ*〉	空中写真測量 (現地調査)	現地調査結果を整理した空 中写真	—	
	空中写真測量 (数値図化)	精度管理表(数値図化)	G1	WORK
		精度管理表(地形補備測量)	G2	WORK
	空中写真測量 (数値編集)	出力図	—	
		精度管理表(数値編集)	G3	WORK
	空中写真測量 (補測編集)	出力図	—	
		精度管理表(現地補測)	G4	WORK
		精度管理表(補測編集)	G5	WORK
	空中写真測量 (数値地形図デ ータファイル の作成)	数値地形図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G6	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
既成図数値化 〈CM*〉	既成図数値化	数値地形図データファイル	B1	DATA
		出力図	—	
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
修正測量	修正測量	数値地形図データファイル	測量手法に より、現地 測量(CG*)、 数 値 図 化 (CZ*) の 成 果として格 納 ^{※17}	
		品質評価表		
		メタデータ		
		精度管理表		
		XML スキーマ		
		コードリスト		

※17修正測量については、測量手法により「現地測量(CG*)」又は「数値図化(CZ*)」等に分けて成果を格納します。

連番は最終番号の次の番号を使います。(1～9、A～Z)

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
写真地図作成 〈CD*〉	写真地図作成	写真地図データファイル	B1	DATA
		位置情報ファイル	B2	DATA
		数値地形モデルファイル	B3	DATA
		品質評価表	B4	DATA
		メタデータ	B5	DATA
		数値写真	—	
		正射投影画像	—	
		モザイク画像	—	
		精度管理表	G1	WORK
航空レーザ測 量 〈CL*〉	航空レーザ測 量(作業計画)	航空レーザ計測作業計画	H1	WORK
		航空レーザ測量システム点 検記録	D1	WORK
	航空レーザ測 量(固定局の設 置)	基準点測量に準ずる測量記 録(手簿・記簿など)	D2	WORK
		水準測量に準ずる測量記録 (手簿・記簿など)	D3	WORK
		固定局明細表	D4	WORK
	航空レーザ測 量(航空レーザ 計測)	GNSS 衛星の配置等記簿(手 簿・記簿)	DA	WORK
		GNSS/IMU 計算精度管理表	G1	WORK
		計測時間帯の衛星数及び PDOP 図	H2	WORK
		計測漏れの点検図	H3	WORK
		航跡図	H4	WORK
		航空レーザ計測記録	H5	WORK
	航空レーザ測 量(調整用基準 点の設置)	調整用基準点の配点図	F1	WORK
		調整用基準点明細表	D5	WORK
	航空レーザ測 量(三次元計測 データ作成)	三次元計測データ	HD	WORK
		三次元計測データ点検表	H7	WORK
		調整用基準点調査表	D6	WORK
		コース間点検箇所残差表	D7	WORK
		コース間点検箇所配点図	F2	WORK
		写真地図データファイル	写真地図デ ータ(CD*) の成果とし て格納	
		位置情報ファイル		
		水部ポリゴンデータ	B1	DATA
		欠測率調査表	D8	WORK
	航空レーザ測	オリジナルデータ	B2	DATA

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
	量(オリジナル データ作成)	調整用基準点残差表	E1	WORK
	航空レーザ測 量(グラウンド データ作成)	グラウンドデータ	B3	DATA
		既存データ検証結果表	D9	WORK
		フィルタリング点検図	H9	WORK
		グラウンドデータ作成作業 精度管理表	G2	WORK
	航空レーザ測 量(グリッドデ ータ作成)	グリッドデータ	B4	DATA
		グリッドデータ点検図	HA	WORK
		グリッドデータ作成作業精 度管理表	G3	WORK
	航空レーザ測 量(等高線デー タ作成)	等高線データ	B5	DATA
	航空レーザ測 量(数値データ ファイル作成)	格納データリスト	HB	WORK
		数値データファイル作成作 業精度管理表	G4	WORK
	航空レーザ測 量(品質評価)	品質評価表	B6	DATA
	航空レーザ測 量(成果等の整 理)	作業記録	HC	WORK
		メタデータ	B7	DATA
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
地図編集 <CU*>	地図編集	数値地形図データファイル (編集原図データ)	B1	DATA
		基図データ及び編集原図デ ータ等出力	—	
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他の地形 測量及び写真 測量 <CO*>	その他の地形 測量及び写真 測量 ^{※18}	測量記録	**	WORK
		測量成果	**	DATA

※18 その他の地形測量及び写真測量サブフォルダには、いずれの測量にも属さない地形測量及び写真測量、今後の新技術による測量の成果を格納します。

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
基盤地図作成	基盤地図作成	基盤地図情報又は基盤地図 情報を含む数値地形図デー タ	測量手法に より、上記 までの規定 に従い成果 を格納	
		品質評価表		
		メタデータ		
		XML スキーマ		
		コードリスト		
その他データ 〈ZOT〉	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHS
		測量成果検定証明書等	J2	OTHS
		ファイル説明書	J3	OTHS
		GNSS 基準局配置図	J4	OTHS
		撮影作業日誌	J5	OTHS
		カメラキャリブレーション データ	J6	OTHS
		航空レーザ計測作業日誌	J7	OTHS
		撮影計画図	J8	OTHS

表7-9 成果種類の設定記号(路線測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
中心線測量 〈RC*〉	線形決定	計算簿	E1	WORK
		線形図データファイル	B1	DATA
	条件点の観測	観測手簿	D1	WORK
		計算簿	E2	WORK
		計算簿(数値データ)	E3	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		精度管理表	G1	WORK
	IP 設置測量	計算簿	E4	WORK
		計算簿(数値データ)	E5	WORK
		点の記	C1	DATA
		精度管理表	G2	WORK
	中心線測量	計算簿	E6	WORK
		計算簿(数値データ)	E7	WORK
		線形地形図データファイル	B2	DATA
		引照点図	B5	DATA
		点の記	C2	DATA
		精度管理表	G3	WORK
縦横断測量 〈RZ*〉	仮 BM 設置測量	観測手簿	D1	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		点の記	C1	DATA
		品質評価表	A3	DATA
		メタデータ	A4	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
	縦断測量	観測手簿	D2	WORK
		観測手簿(数値データ)	D3	WORK
		成果表	A5	DATA
		成果表(数値データ)	A6	DATA
		縦断面図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	A7	DATA
		メタデータ	A8	DATA
		精度管理表	G2	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
	横断測量	観測手簿	D4	WORK
		観測手簿(数値データ)	D5	WORK

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
縦横断測量 〈RZ*〉	横断測量	横断面図データファイル	B2	DATA
		精度管理表	G3	WORK
詳細測量 〈RS*〉	詳細測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		縦断面図データファイル	B1	DATA
		横断面図データファイル	B2	DATA
		詳細平面図データファイル	B3	DATA
		品質評価表	A3	DATA
			B4	DATA
		メタデータ	A4	DATA
			B5	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
幅杭測量 〈RH*〉	用地幅杭設置 測量	計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		杭打図データファイル	F1	WORK
		品質評価表	A1	DATA
		メタデータ	A2	DATA
		精度管理表	G1	WORK
その他データ 〈ROT〉	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHS
		測量成果検定証明書等	J2	OTHS
		ファイル説明書	J3	OTHS
		点検測量簿	J4	OTHS
		GNSS 基準局配置図	J5	OTHS

表7-10 成果種類の設定記号(河川測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
河川測点設置 測量 <WK*>	河川測点設置 測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		点の記	C1	DATA
		品質評価表	A3	DATA
		メタデータ	A4	DATA
		河川測点位置情報整理表	A5	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
	水準基標測量	観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E2	WORK
		成果表	A6	DATA
		成果表(数値データ)	A7	DATA
		点の記	C2	DATA
		品質評価表	A8	DATA
		メタデータ	A9	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		精度管理表	G2	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
縦横断測量 <WZ*>	縦断測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		縦断測量成果整理表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		縦断面図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	A5	DATA
		メタデータ	A6	DATA
		計算簿	E1	WORK
		水準路線図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		精度管理表	G1	WORK
		業務報告書	H1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
	横断測量	観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		横断測量成果整理表	A3	DATA
		成果表(数値データ)	A4	DATA
		横断面図データファイル	B2	DATA
		精度管理表	G2	WORK
		業務報告書	H2	WORK
深浅測量 〈WS*〉	深浅測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		横断面図データファイル	B1	DATA
		縦断面図データファイル	B2	DATA
		等高・等深線図データファイル	B3	DATA
法線測量 〈WH*〉	法線測量	観測手簿	D1	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		線形図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
海浜・汀線測量 〈WT*〉	海浜測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		等高・等深線図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
	汀線測量	観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E3	WORK
		計算簿(数値データ)	E4	WORK
		汀線図データファイル	B4	DATA
		品質評価表	B5	DATA
		メタデータ	B6	DATA
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他データ	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHS

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
<WOT>		測量成果検定証明書等	J2	OTHS
		ファイル説明書	J3	OTHS
		点検測量簿	J4	OTHS
		GNSS 基準局配置図	J5	OTHS

表 7-11 成果種類の設定記号(用地測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
資料調査 〈YS*〉	資料調査	公図等転写図	—	
		公図等転写連続図	F1	WORK
		土地調査表	H1	WORK
		建物の登記記録等調査表	H2	WORK
		権利者調査表	H3	WORK
		地積測量図転写図	F2	WORK
境界確認 〈YK*〉	復元測量	観測手簿	D1	WORK
		復元箇所位置図データファイル	B1	DATA
	境界確認	土地境界立会確認書	H1	WORK
		公共用地境界確定協議の申請書・確定図	H2	WORK
境界測量 〈YY*〉	境界測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		測量計算簿等	E1	WORK
		測量計算簿等(数値データ)	E2	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
	補助基準点の 設置	観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E3	WORK
		計算簿(数値データ)	E4	WORK
		成果表	A3	DATA
		成果表(数値データ)	A4	DATA
		基準点網図	F1	WORK
	用地境界仮杭 設置	計算簿	E5	WORK
		計算簿(数値データ)	E6	WORK
		成果表	A5	DATA
		成果表(数値データ)	A6	DATA
		設置箇所位置図データファイル	B1	DATA
	用地境界杭設 置	計算簿	E7	WORK
		計算簿(数値データ)	E8	WORK
		成果表	A7	DATA
		成果表(数値データ)	A8	DATA
		設置箇所位置図データファイル	B2	DATA
境界点間測量 〈YT*〉	境界点間測量	観測手簿	D1	WORK
		精度管理図	G1	WORK
		精度管理表	G2	WORK

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
面積計算 〈YM*〉	面積計算	面積計算書	A1	DATA
		面積計算書(数値データ)	A2	DATA
用地実測図等 の作成 〈YZ*〉	用地実測図デ ータファイル 作成	用地実測図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
	用地平面図デ ータファイル 作成	用地平面図データファイル	B4	DATA
		品質評価表	B5	DATA
		メタデータ	B6	DATA
		精度管理表	G2	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他データ 〈YOT〉	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
		点検測量簿	J4	OTHR
		GNSS 基準局配置図	J5	OTHR
		既知点検測の観測手簿・計算 書・検測図	J6	OTHR

表 7-12 成果種類の設定記号(その他の応用測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
その他の応用 測量 <OT*>	その他の応用 測量	主題図データファイル	**	DATA
		品質評価表	**	DATA
		メタデータ	**	DATA
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他データ <OOT>	その他データ	その他の資料	J*	OTHR

注) 「**」は、表 7-5のファイル名の設定記号に準拠して決定します。

「J*」は、J1、J2、・・・のように、ファイルごとに連番を割り当てます。

(3) ドキュメントファイル

ドキュメントファイルの名称は、表 7-13に従います。

表 7-13 ドキュメントファイルの名称

成果品の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
製品仕様書	PDF	SPECPnnn. PDF	受発注者間協議により、オリジナル形式も可
特別仕様書	PDF	SPECSnnn. PDF	受発注者間協議により、オリジナル形式も可
打合せ簿	PDF	MEETSnnn. PDF	
実施報告書	オリジナル	SUVRPnnn. XXX	実施報告、現場写真、案内図等

注) ファイル名称の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割り振った連番(001～999、A00～A99、B00～B99、・・・、Z00～Z99)を付与します。

オリジナルファイルの拡張子は4文字でも使用できます。

(例1): 打合せ簿が10ファイルある場合、

MEETS001. PDF、MEETS002. PDF、MEETS003. PDF、……MEETS010. PDF

7.2.4 2 段撮影、複数区域、複数等級等の場合のフォルダ構成

一件の業務において、同一の測量作業（測量細区分）を複数の異なる仕様で実施した場合、測量細区分を示すサブフォルダ及びファイル命名規則の設定記号を区別して、電子データを作成します。測量細区分を区別する例は次のとおりです。

- (ア) 2 段撮影業務
- (イ) 複数地区の測量作業の合併業務
- (ウ) 複数の異なる精度の図化作業
- (エ) 複数の異なる等級の基準点測量、水準測量等

(1) 測量細区分フォルダによる区分

表 7-1 に示す各サブフォルダ名の最後の 1 文字「*」に、A～Z、1～9 を設定し、測量細区分を補助的に区分します。

(2) ファイル命名規則による区分

表 7-4 に示す「*」に A～Z、1～9 を設定し、測量細区分を補助的に区分します。この記号は該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させます。

地図情報レベル 1000 と 2500（撮影縮尺 1/8,000 と 1/12,500）が同時発注になった場合、図 7-6 のように、2 つの測量細区分サブフォルダに格納し、ファイル名もそれぞれ「…/SATU_A/CSA▲▲nnn.XXX」、「…/SATU_B/CSB▲▲nnn.XXX」とします。

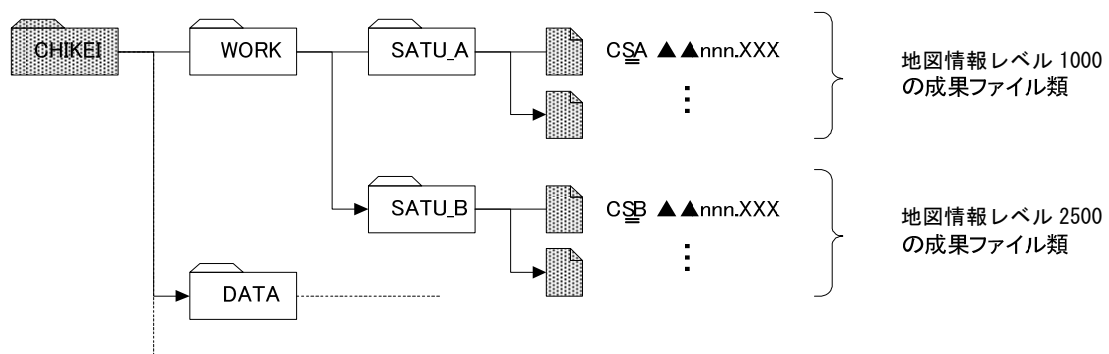


図 7-6 ファイル命名と格納フォルダの例

(3) フォルダ構成の具体例

2 段撮影業務

空中写真測量において、地図情報レベル 1000 と 2500 の 2 段撮影（例：撮影縮尺 1/10,000 と 1/25,000）を行なった場合、図 7-7 に示すフォルダ構成となります。

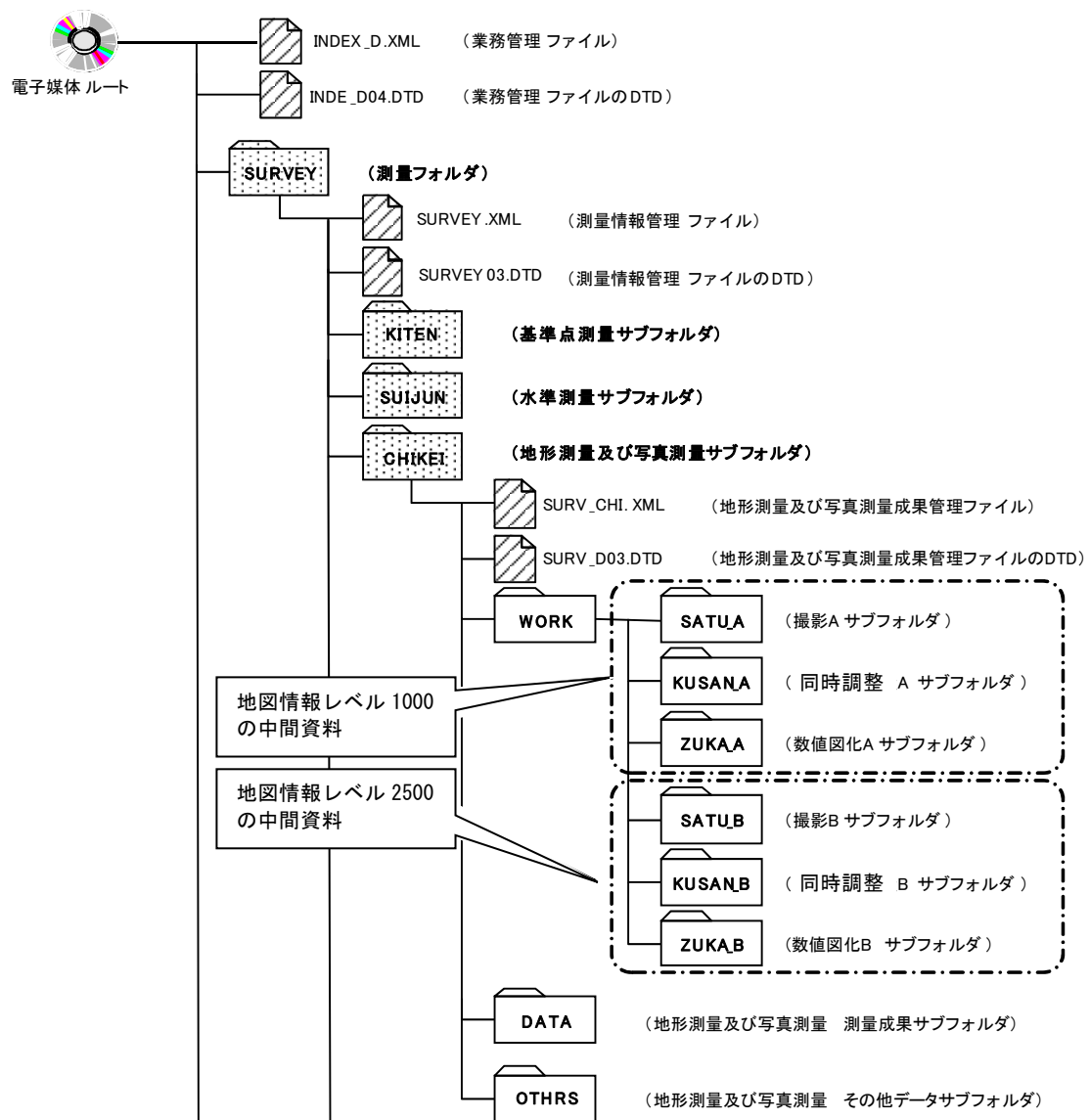


図 7-7 フォルダ構成の例(1)

複数地区の測量作業の合併業務

複数地区（例：〇〇地区と▲▲地区）で測量作業（例：3級基準点測量）を行なった場合、図 7-8に示すフォルダ構成となります。

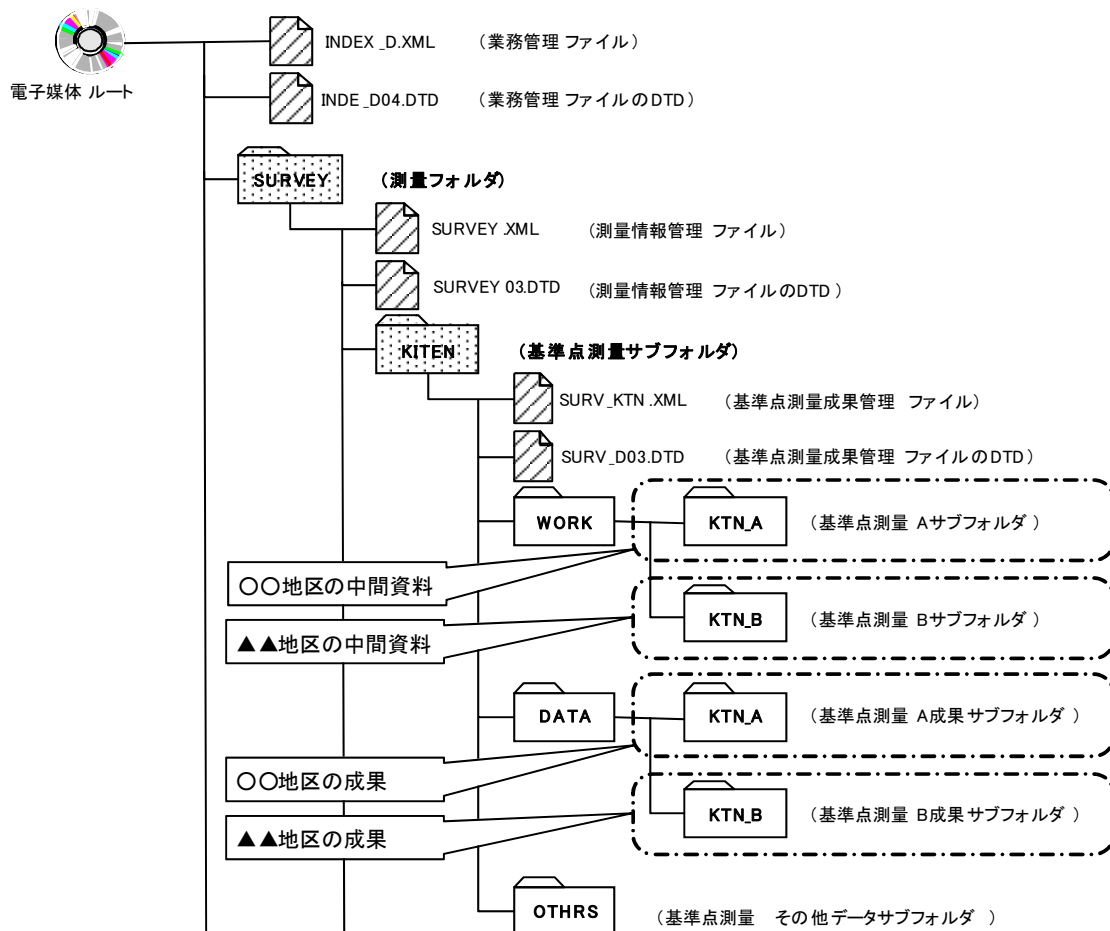


図 7-8 フォルダ構成の例(2)

複数の異なる精度の図化作業

複数の異なる精度（例：地図情報レベル 1000 と 2500）で図化作業を行なった場合、図 7-9に示すフォルダ構成となります。

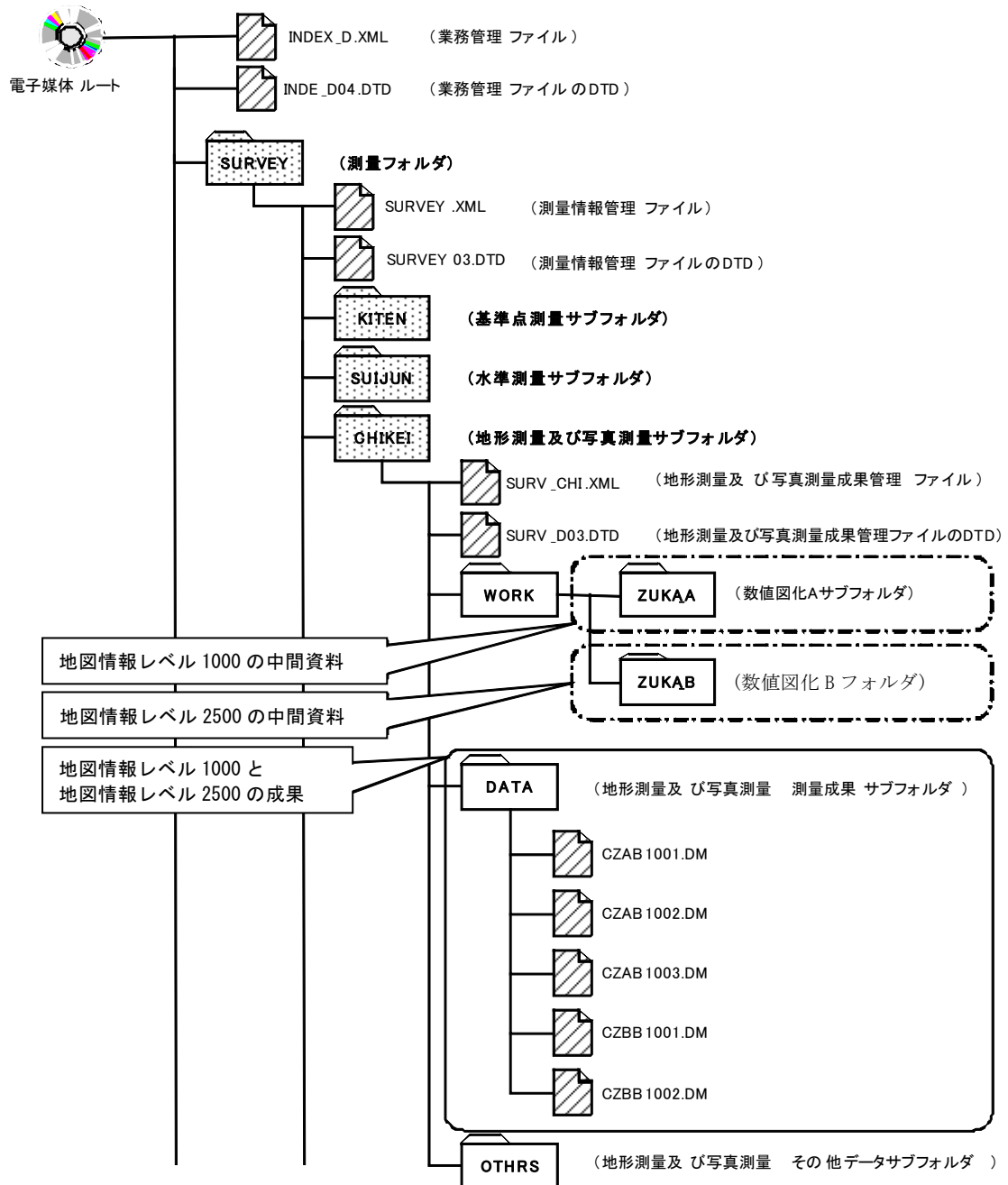


図7-9 フォルダ構成の例(3)

複数の異なる等級の基準点測量、水準測量等

複数の異なる等級の基準点測量、水準測量（例：2級基準点、3級基準点と3級水準）等を行なった場合、図 7-10に示すフォルダ構成となります。

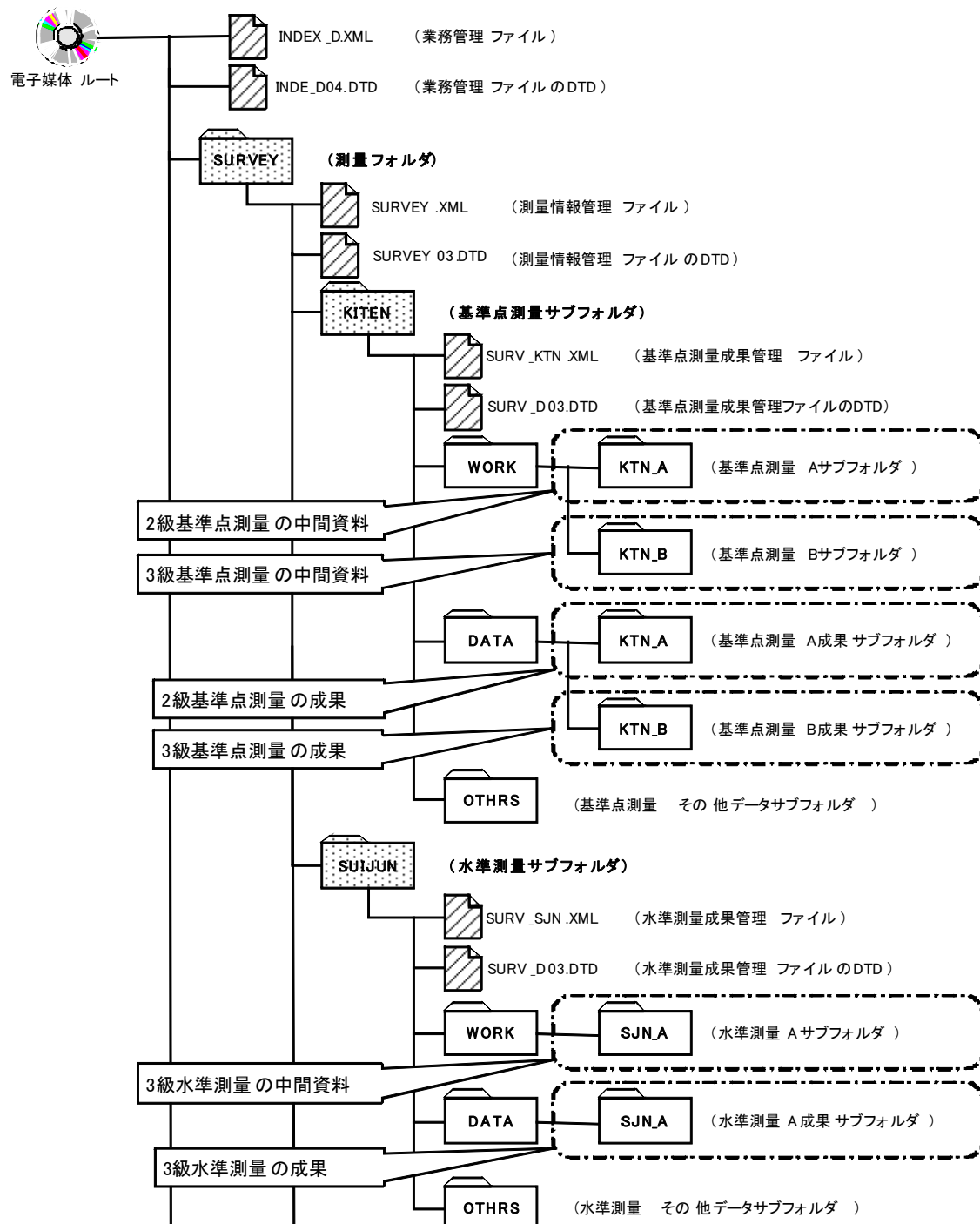


図7-10 フォルダ構成の例(4)

7.2.5 図面成果の個別格納

図面に関する成果のうち、複数の図面成果を一つの図面成果にまとめて作成した場合、当該図面成果ファイルを必要数分複写して成果ごとに電子ファイルを作成し、各フォルダ内に格納します。

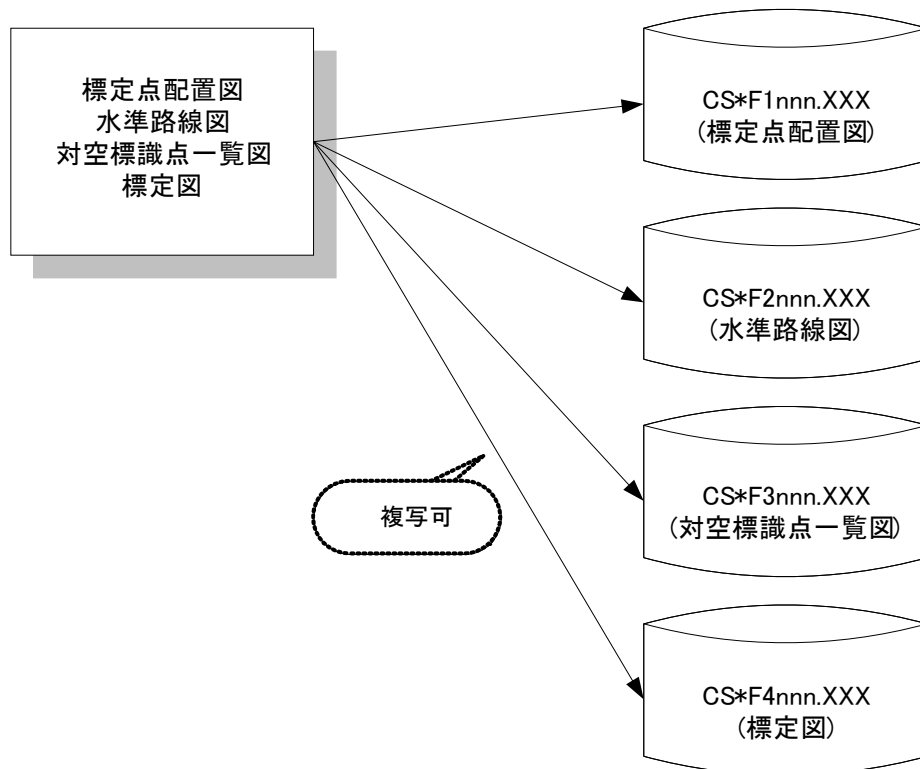


図 7-11 図面成果の個別格納

7.2.6 CAD データ作成にあたっての留意点

測量成果を CAD データで作成する場合、次に留意します。なお、SXF データの当面の取り扱いは「4 成果作成の取り扱い」を参照してください。

(1) ファイルフォーマット

電子納品する CAD データファイルは、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式とします。また、SXF のバージョンとレベルは、SXF Ver. 3.0 レベル 2 以上とします。

ただし、現行の数値地形図データ-SXF 作成仕様（案）が普及されるまでの期間は、SXF Ver. 2.0 による納品を可能とします。

(2) 格納フォルダ

図面要領（案）では、CAD データは DRAWING フォルダに格納することを定めていますが、測量作業では「7.2.1フォルダ構成」に従い、SURVEY フォルダ以下の測量区分、測量細区分フォルダに成果等を格納します。

(3) ファイル命名

図面要領（案）では、設計業務や工事における CAD データは、ライフサイクル、整理番号、図面種類、図面番号、改訂履歴の組合せで、ファイル命名を行いますが、測量作業では「7.2.3ファイル命名規則」に従い、ファイル命名を行います。

CAD データは、SXF (P21)、SAF (SXF Ver. 3.0 レベル 2 以上の機能を利用した場合に生成される属性ファイル)、ラスタファイルのデータセットから構成されますが、各ファイルの命名規則は、図 7-12、図 7-13、図 7-14に従います。

対応する SXF (P21)、SAF ファイルは、拡張子を除き、同一のファイル名称とします。

ラスタファイルについては、測量細区分の設定記号、成果種類の設定記号は、対応する SXF (P21) ファイルと一致させます。また、SXF (P21) のファイル中に記述されるラスタファイルの名称は、格納したラスタファイルの名称と必ず一致するように留意します。

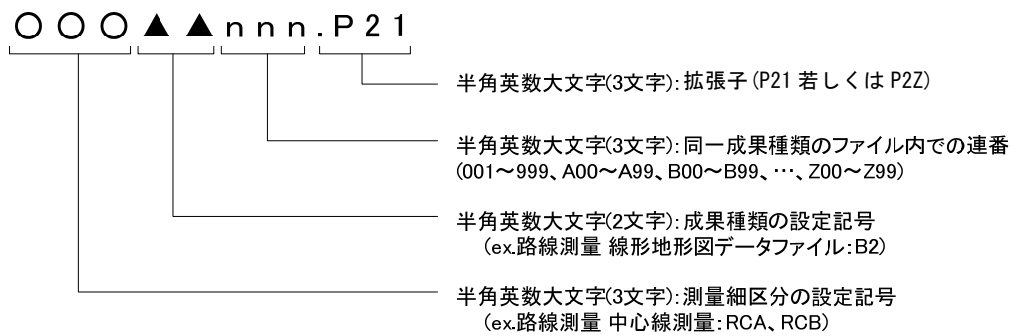


図 7-12 SXF (P21) ファイルの命名規則

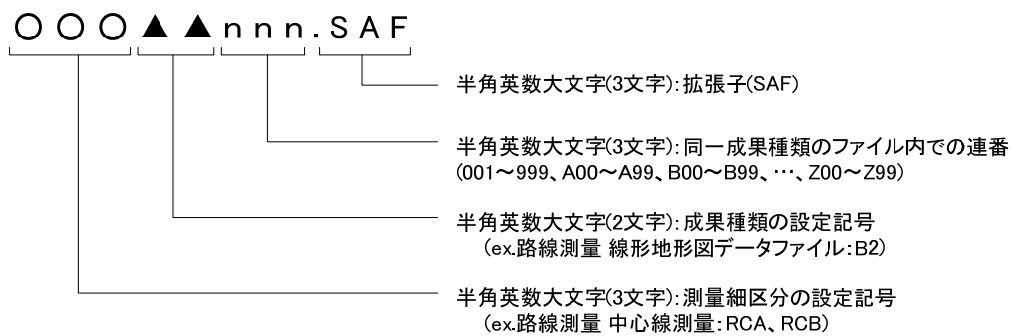


図 7-13 SAF ファイルの命名規則 (図 7-12 と同一のファイル名称とする。)

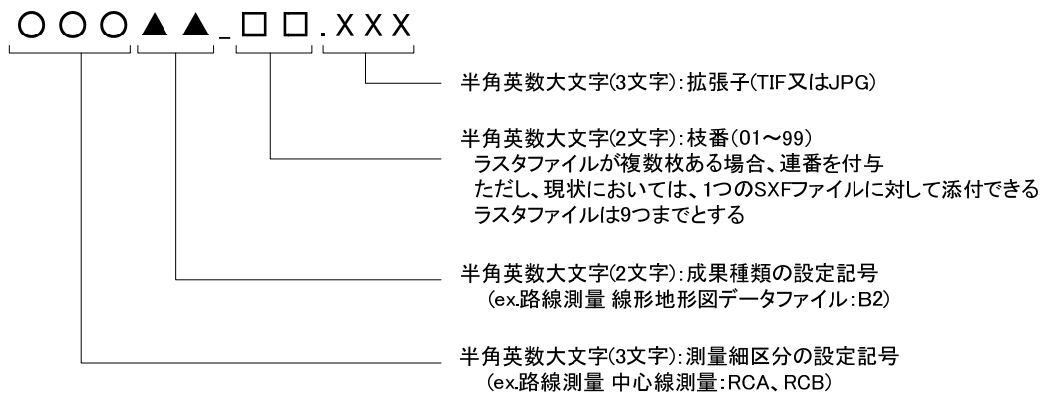


図 7-14 SXF データのラスタファイルの命名規則

(4) レイヤの名称

CAD データのレイヤ名は、表 7-14に従います。

表 7-14 測量作業で作成する CAD データのレイヤ名

項目			取得分類		CAD データの レイヤ
			取得分類 コード	名称	
基 盤 地 図 情 報 に 該 当 す る も の	座標の基準	測量の基準点	7301～7312	三角点 等	S-SUV-SRVR
	地表の高さ の基準	標高点			
		等高線(計曲線)の 屈曲点	7101、7105	等高線(計曲 線) 等	S-SUV-HICN
		等高線(主曲線) の 屈曲点	7102 ～ 7104、7106 ～7108	等高線(主曲 線) 等	S-SUV-LWCN
	面的・線的 に画する基 礎的なもの	海岸線	5106	海岸線	S-SUV-COLN (COastLiNe)
		公共施設の境界線 (道路区域界)	6522	公共施設の境 界線(道路区 域界)	S-SUV-SLOP (SLOPe)
		公共施設の境界線 (河川区域界)	6523	公共施設の境 界線(道路区 域界)	S-SUV-BRWA (BReakWATER)
		行政区画の境界線 及び代表点	1101～1111	都府県界 等	S-SUV-BORD (BORDER)
			6511～6518	大字の境界 等	S-SUV-ROW
		道路縁	2101、2106 ～ 2109、 2203、2204、 2206	真幅道路 等	S-SUV-ROAD
		河川堤防の表法肩 の法線	6103	表法肩の法線	S-SUV-EMBA (EMBAnkment)
		軌道の中心線	2301～2315	普通鉄道 等	S-SUV-RAIL (RAILload)
		水涯線	5101、 5103～5105	河川 等	S-SUV-RIV (RIVER)
		建築物の外周線	3001～3004	普通建物 等	S-SUV-STR (STRucture)
	地理識別子	行政区画の境界線 及び代表点(再掲)	8110～8119	市・東京都の 区	S-SUV-HTXT
		市町村の町若しくは 字の境界線及び 代表点			
		街区の境界線及び 代表点			

その他	地理識別子	中心線	2505	中心線	S-SUV-CELN (CEnterLiNe)
		中心杭、IP 点 等	2501、2503、 2504、6501、 6502	中心杭、IP 点 等	S-SUV-BMK (BenchMaRk)
		整飾	7903、7904	タイトル(外 枠) 等	S-SUV-FRAM
			7906、7908	凡 例 (罫 線) 等	S-SUV-LINE
			7901、7902、 7905、7907、 7911～7916	図 枠 (外 枠) 等	S-SUV-TTL
		注記	(注 記 デー タ)		S-SUV-HTXT
		上記以外のデータ	(上記以外)		S-SUV

図面要領 (案) では、CAD データのレイヤ名は、図 7-15 の原則に従い、レイヤの文字数は全体で 256 文字以内と規定されています。また、図面オブジェクトには、測量成果を格納するための「SUV」が割り当てられています (表 7-15 参照)。

測量作業で作成する CAD データは、全て S-SUV 以下のレイヤに格納することを基本とし、具体のレイヤ構成は、表 7-14 に従います。

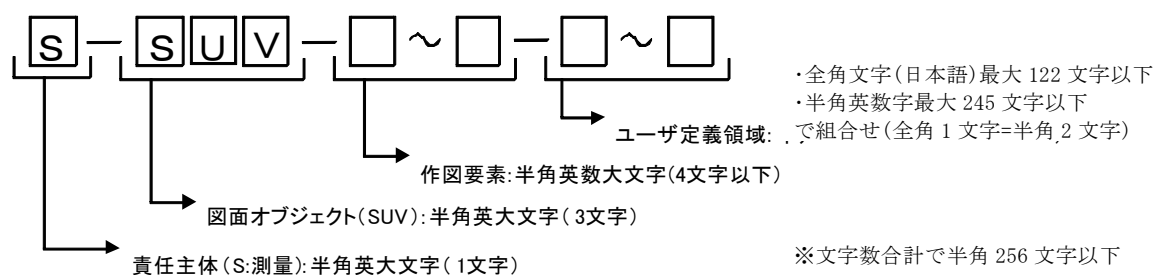


図 7-15 レイヤ名称の原則

表 7-15 レイヤの図面オブジェクトの分類

図面オブジェクト			記 載 内 容
1	図 枠	TTL (TiTLe)	外枠、表題欄、罫線、文字、縦断図の帯枠
2	背 景	BGD (BackGround Drawing)	主計曲線、現況地物、既設構造物、 等
3	基 準	BMK (BenchMaRk)	基準点、測量ポイント、中心線、幅杭、等
4	主構造物	STR (STRucture)	当該図面名称であらわす構造物

図面オブジェクト			記 載 内 容
5	副構造物	BYP (<u>B</u> Y <u>P</u> roduct)	主構造物から派生する構造物
6	材 料 表	MTR (<u>M</u> a <u>T</u> e <u>R</u> ial)	切盛土、コンクリート、鉄筋加工、 数量(購入品、規格、 等)
7	説明、着色	DCR (<u>D</u> e <u>C</u> o <u>R</u> ation)	ハッチ、シンボル、塗りつぶし、記号、 等
8	文章	DOC (<u>D</u> O <u>C</u> ument)	文章領域（説明事項、指示事項、参照事項、位置図）
9	測量	SUV (<u>S</u> U <u>R</u> vey)	地形図等の測量成果データであり改変しないデータ

(5) CAD データの図式

CAD データの図式は、公共測量標準図式を適用します。

公共測量標準図式は、大縮尺地形図図式（地図情報レベル 500 及び 1000）、国土基本図図式（地図情報レベル 2500 及び 5000）を包括した名称です。

図面要領（案）では、CAD データで使用できる線種、線色、線幅、フォントなどの原則が定められていますが、公共測量標準図式が、図面要領（案）にすべて対応しているものではありません。

測量作業で作成する CAD データの図式は、図面要領（案）を適用せず、公共測量標準図式を適用します。

(6) 属性情報

各フィーチャーに付与する属性情報は、表 7-16に従います。

標準図式データファイルが保有する属性情報には、取得分類コード、精度、取得年月など設計・施工などの後工程での利用時において有益な情報が含まれます。これまでは、標準図式データファイルを SXF ファイルに変換した場合、これらの属性情報が失われていましたが、SXF Ver. 3.0 レベル 2 以上の属性ファイル用属性付加機構を利用して、SAF ファイルに表 7-16の情報を格納します。

7 電子成果品の作成

7.2 共通事項

表 7-16 SAF ファイルに格納する属性情報

図面名称	図形名称	フィーチャー	属性名称	データ項目
—	—	既定義ハッチング	インデックスレコード	・座標系 ・計画機関名 ・使用した作業規程
			図郭レコード	・図郭識別番号 ・地図情報レベル ・左下図郭情報 ・右上図郭情報 ・左上図郭情報 ・右下図郭情報
		折線フィーチャー	要素レコード	・取得分類コード ・図形区分 ・精度区分 ・転位区分 ・間断区分 ・属性数値 ・取得年月 ・更新の取得年月
			三次元座標レコード	・Z 座標値
			属性レコード	・路線中心 ・撮影コース
		円フィーチャー 円弧フィーチャー	要素レコード	・取得分類コード ・図形区分 ・精度区分 ・転位区分 ・間断区分 ・属性数値 ・取得年月 ・更新の取得年月
			三次元座標レコード	・Z 座標値
			属性レコード	・路線中心
		点マーカフィーチャー	要素レコード	・取得分類コード ・図形区分 ・精度区分 ・転位区分 ・間断区分 ・属性数値 ・取得年月 ・更新の取得年月
			不整三角網ヘッダレコード	・取得分類コード
			三次元座標レコード	・Z 座標値
			属性レコード	・路線測点
			グリッドコード	・数値(1)～(12)
			不整三角網レコード	・座標値
			文字要素フィーチャー	・取得分類コード ・図形区分

図面名称	図形名称	フィーチャー	属性名称	データ項目
—	—	文字要素フィーチャー	要素レコード	・精度区分 ・転位区分 ・間断区分 ・属性数値 ・取得年月 ・更新の取得年月
		既定義シンボル	要素レコード	・取得分類コード ・図形区分 ・精度区分 ・転位区分 ・間断区分 ・属性数値 ・取得年月 ・更新の取得年月

(7) CAD データに関する測量成果ファイルの XML 記入例

CAD データに関する測量成果ファイルの XML 記入例は、下記のとおりです。

```
<SURV_DATA DTD_version="03">
```

```
  .
  .
  .
```

```
<測量成果情報>
```

```
<測量区分フォルダ名>CHIKEI</測量区分フォルダ名>
```

```
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
```

```
<測量細区分フォルダ名>TSGPS_A</測量細区分フォルダ名>
```

```
<測量成果名称>数値編集精度管理表</測量成果名称>
```

```
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
```

```
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</測量成果作成ソフトウェア名>
```

```
<成果ファイル情報>
```

```
<測量成果ファイル名>CGAG2001. PDF</測量成果ファイル名>
```

```
</成果ファイル情報>
```

```
</測量成果情報>
```

```
<測量成果情報>
```

```
<測量区分フォルダ名>CHIKEI</測量区分フォルダ名>
```

```
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
```

```
<測量細区分フォルダ名/>
```

```
<測量成果名称>数値地形図データファイル</測量成果名称>
```

```
<測量成果ファイル形式>P21</測量成果ファイル形式>
```

```
<測量成果レコードフォーマット>SXF(P21) Ver. 3.0 レベル 2</測量成果レコードフォーマット>
```

```
<測量成果作成ソフトウェア名>〇〇測量 CAD 2.0</測量成果作成ソフトウェア名>
```

名>

<成果ファイル情報>

<測量成果ファイル名>CGAB1001. P21</測量成果ファイル名>

<測量成果ファイル名副題>〇〇地区地形図. P21</測量成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

<成果ファイル情報>

<測量成果ファイル名>CGAB1001. SAF</測量成果ファイル名>

<測量成果ファイル名副題>〇〇地区地形図. SAF</測量成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

<成果ファイル情報>

<測量成果ファイル名>CGAB1_01. TIF</測量成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

<成果ファイル情報>

<測量成果ファイル名>CGAB1_02. TIF</測量成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</測量成果情報>

・
・
・

7.2.7 既存地図の利用

既存地図を測量成果に利用した場合、ファイル説明書に出所を明記します。

(例 1) : 「国土地理院電子地形図 25000 を標定点配置図に一部使用した。」

7.2.8 測地系

測量要領（案）で扱う測地系は、世界測地系とします。

測量法改正（平成 13 年 6 月 20 日）によって、平成 14 年 4 月 1 日から測量法に従って行われる公共測量は、新しい測地系（世界測地系）に準拠して行うこととなりました。このため、平成 14 年度以降、農林水産省の測量業務の電子納品に適用される測量要領（案）では、新しい測地系（世界測地系）に準拠した測量成果の納品が義務付けられています。

7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

7.3.1 対象となる成果品

基準点測量の電子納品対象書類は、表 7-17に示すとおり、多岐に分かれています。電子納品の対象となる各成果は、表 7-17に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 7-16参照）。

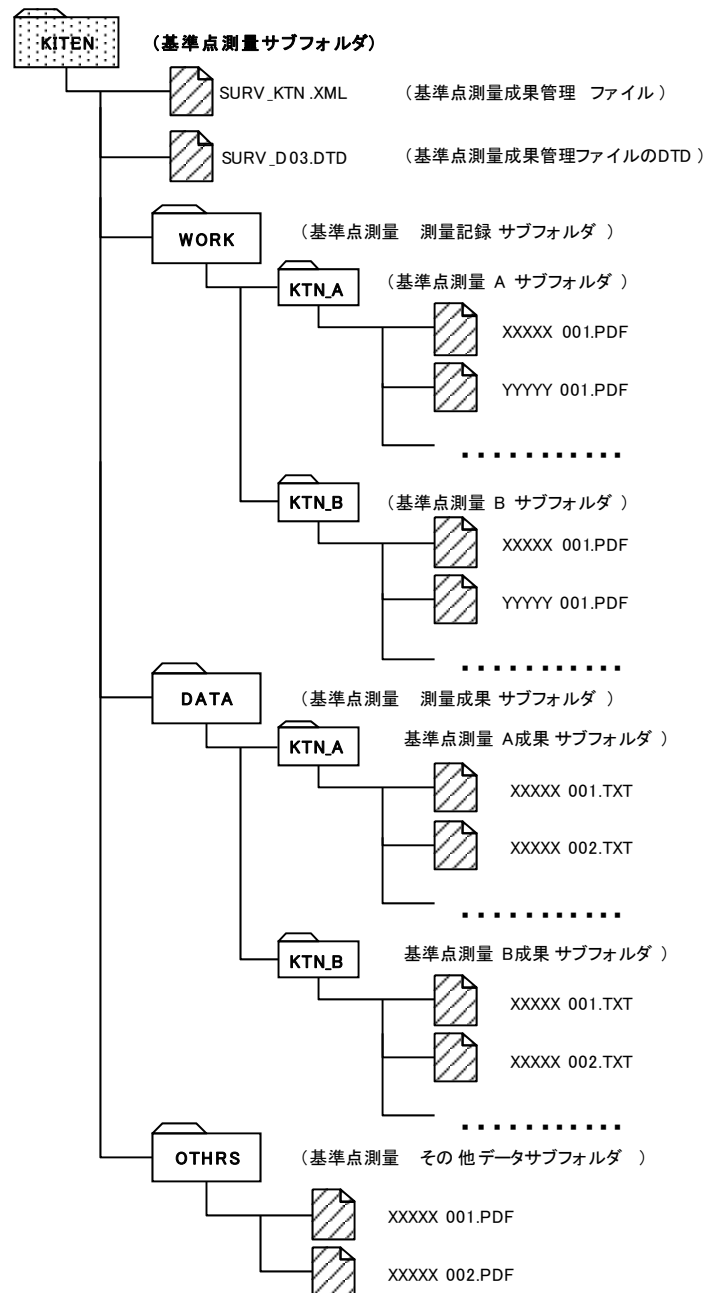


図 7-16 基準点測量サブフォルダ構成

7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

表 7-17 基準点測量の成果種類

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
基準点測量	観測手簿	PDF	KJ*D1nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	KJ*D2nnn. XXX	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測記簿	PDF	KJ*D3nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測記簿(数値データ)	オリジナル	KJ*D4nnn. XXX	/KITEN/WORK/KTN_*	
	計算簿	PDF	KJ*E1nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	KJ*E2nnn. XXX	/KITEN/WORK/KTN_*	
	平均図	標準図式 データフ ァイル	KJ*F2nnn. DMI KJ*F2nnn. DM KJ*F2nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可
	成果表	PDF	KJ*A1nnn. PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	
	点の記	PDF	KJ*C1nnn. PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	
	点の記(数値データ)	オリジナル	KJ*C2nnn. XXX	/KITEN/DATA/KTN_*	
	基準点網図	標準図式 データフ ァイル	KJ*F1nnn. DMI KJ*F1nnn. DM KJ*F1nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可
	品質評価表	PDF	KJ*A3nnn. PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	
	測量標の地上写真	PDF	KJ*H1nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	協議によりオリジ ナル形式も可
	基準点現況調査報告書	PDF	KJ*H2nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	KJ*A2nnn. XML	/KITEN/DATA/KTN_*	協議により測量要 領(案)付属資料3 で定める成果表数 値フォーマット形 式も可
	点検測量簿	PDF	KJ*D5nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	メタデータ	JMP2.0	KJ*A4nnn. XML	/KITEN/DATA/KTN_*	
	観測図	標準図式 データフ ァイル	KJ*F3nnn. DMI KJ*F3nnn. DM KJ*F3nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可
	精度管理表	PDF	KJ*G1nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	設置手簿	PDF	KJ*D6nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	測量標新旧位置明細書	PDF	KJ*H3nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	

7 電子成果品の作成

7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	GNSS 観測記録簿	PDF	KJ*D7nnn. PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/KITEN/DATA/KTN_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/KITEN/DATA/KTN_*	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	KOTJ1nnn. PDF	/KITEN/OTHRs	
	測量成果検定証明書等	PDF	KOTJ2nnn. PDF	/KITEN/OTHRs	
	ファイル説明書	PDF	KOTJ3nnn. PDF	/KITEN/OTHRs	
	GNSS 観測スケジュール表	PDF	KOTJ4nnn. PDF	/KITEN/OTHRs	
	衛星配置図	PDF	KOTJ5nnn. PDF	/KITEN/OTHRs	
	GNSS 基準局配置図	PDF	KOTJ6nnn. PDF	/KITEN/OTHRs	
	建標承諾書	(対象外)			納品方法は受発注者間協議により決定
	測量標設置位置通知書	(対象外)			納品方法は受発注者間協議により決定

7.3.2 基準点測量成果ファイルの作成

基準点測量の電子ファイルの作成に当たっては、次に示す成果ごとの「運用基準」及び「解説・補足」に従います。

(1) 基準点測量

【運用基準】

(ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。

観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測手簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。

ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

(イ) 観測記簿は、PDF 形式で納品します。

観測記簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測記簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。

ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

(ウ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。

計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。計算簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。

ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

(エ) 基準点網図・平均図・観測図は、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF(P21)、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、図単位または図の種別単位で作成します。

(オ) 成果表は、PDF 形式で納品します。1 成果 1 ファイルの単位で作成します。成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 形式で納品してもかまいません。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 によります。成果表（数値データ）は、等級種別等、適当な単位にまとめてファイルを作成します。

(カ) 点の記は、PDF 形式で納品します。1 成果 1 ファイルの単位で作成します。

7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

点の記（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。点の記（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。点の記（数値データ）は、適当な単位でまとめて作成します。

- (キ) 点検測量簿、設置手簿及び基準点現況調査報告書は、PDF 形式で納品します。ファイルは、適当な単位でまとめて作成します。
- (ク) 測量標の地上写真は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、適当な単位でまとめて作成します。
- (ケ) 測量標新旧位置明細書は、PDF 形式で納品します。
- (コ) GNSS 観測記録簿は、PDF 形式で納品します。
- (サ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (シ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (ス) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (セ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。
- (ソ) 基準点の復旧測量の成果は、基準点測量の成果として電子納品を行います。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 基準点網図、平均図、観測図は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、SXF(P21)又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
 - 平均図は、計画機関監督職員が「承認する」の記入及び押印等を要す

7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

ることから、従来通り紙による納品を加えることが望ましいです。紙による納品の要否は、受発注者間協議により決定します。

(エ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、TXT 形式の場合、測量要領（案）付属資料 3 成果表数値フォーマットに示す仕様に従います。ファイルは後続作業での利用を考慮して、等級種別等適当な単位にまとめて作成します。

(オ) 点の記は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(カ) 点検測量簿、設置手簿及び基準点現況調査報告書は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- ファイル単位は種別ごとにまとめることを標準とし、受発注者間協議により適切なファイル単位を決定します。

(キ) 測量標の地上写真は、次の点に留意します。

- デジタルカメラで撮影する場合の有効画素数は 100～300 万画素（ピクセル）程度とします。
- 35 mmカメラで撮影し、写真をスキャナでイメージ化する場合も、100～300 万画素（ピクセル）程度の解像度とします。フィルムスキャナも同程度の解像度とします。

写真、35mm フィルムをスキャナ、フィルムスキャナでイメージ化する場合の解像度と有効画素数の関係は、「7.2.2(1) ウ 写真のスキャニング」を参照してください。

- 撮影対象物が容易に判別できない場合や黒板の文字が識別できない場合は、スキャナの解像度を適宜調整します。
- オリジナル形式で納品する場合は、ワープロ又は表計算ソフトからファイルを作成することを標準とし、受発注者間協議により適切なフォーマットを決定します。

(ク) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(ケ) その他のデータは、「7.3.2 (2) その他データ」を参照します。

7.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

(2) その他データ

【運用基準】

- (ア) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GNSS 観測スケジュール表、衛星配置図、GNSS 基準局配置図は、PDF 形式で納品します。
- (イ) 表 7-17にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納します。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納します。
- (エ) 建標承諾書、測量標設置位置通知書の納品方法は受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

- (ア) 測量機器検定証明書、ファイル説明書等をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (イ) 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式等で納品する場合は、レコードフォーマット、ファイル単位及び利用方法等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を作成し、その他データサブフォルダ（/OTHERS）に格納します。
- (ウ) 建標承諾書、測量標設置位置通知書の納品方法は受発注者間協議により決定します。
- (エ) 表 7-17に記載されていない測量記録及び資料等を納品する場合、次の点に留意します。
 - ファイル単位は、受発注者間協議により決定します。
 - 受発注者間協議により電子化しないものは、紙のまま納品します。

7.4 水準測量成果作成【SURVEY/SUIJUN】

7.4.1 対象となる成果品

水準測量の電子納品対象書類は、表 7-18に示すとおり、多岐に分かれています。電子納品の対象となる各成果は、表 7-18に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 7-17参照）。

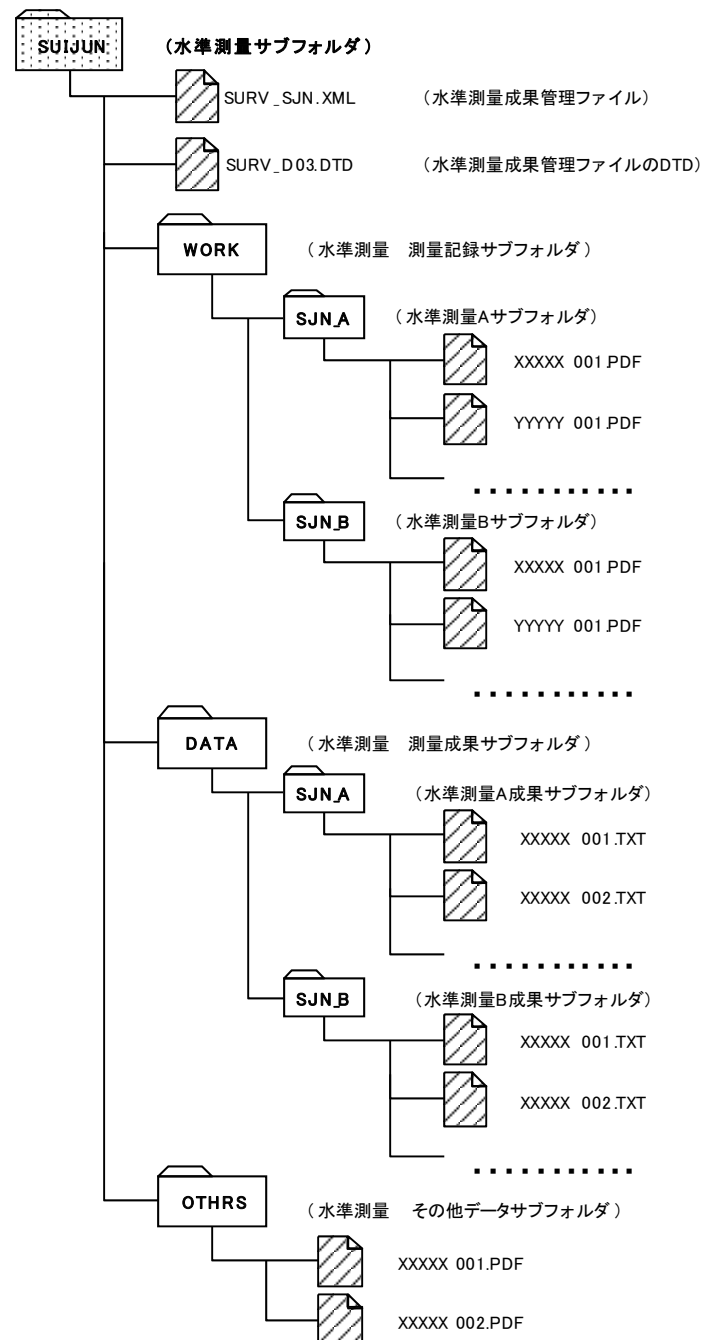


図 7-17 水準測量サブフォルダ構成

7.4 水準測量成果作成【SURVEY/SUIJUN】

表 7-18 水準測量成果一覧

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
水準測量	観測手簿	PDF	SJ*D1nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	SJ*D2nnn. XXX	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測記簿	PDF	SJ*D3nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測記簿(数値データ)	オリジナル	SJ*D4nnn. XXX	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測成果表	PDF	SJ*A1nnn. PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	平均成果表	PDF	SJ*A3nnn. PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	水準路線図	標準図式 データフ ァイル	SJ*F1nnn. DMI SJ*F1nnn. DM SJ*F1nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可
	計算簿	PDF	SJ*E1nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	平均図	標準図式 データフ ァイル	SJ*F2nnn. DMIS J*F2nnn. DMSJ* F2nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可
	点の記	PDF	SJ*C1nnn. PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	点の記(数値データ)	オリジナル	SJ*C2nnn. XXX	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	観測成果表(数値データ)	TXT	SJ*A2nnn. TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	測量要領(案)付 属資料3で定める 成果表数値フォー マット
	平均成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	SJ*A4nnn. XML	/SUIJUN/DATA/SJN_*	協議により測量要 領(案)付属資料3 で定める成果表数 値フォーマット形 式も可
	測量標の地上写真	PDF	SJ*H1nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	協議によりオリジ ナル形式も可
	基準点現況調査報告書	PDF	SJ*H2nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	品質評価表	PDF	SJ*A5nnn. PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	点検測量簿	PDF	SJ*D5nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	メタデータ	JMP2.0	SJ*A6nnn. XML	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	精度管理表	PDF	SJ*G1nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	測量標新旧位置明細書	PDF	SJ*H3nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	

7.4 水準測量成果作成【SURVEY/SUIJUN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	GNSS 観測記録簿	PDF	SJ*D5nnn. PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	SOTJ1nnn. PDF	/SUIJUN/OTHR	
	測量成果検定証明書等	PDF	SOTJ2nnn. PDF	/SUIJUN/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	SOTJ3nnn. PDF	/SUIJUN/OTHR	
	GNSS 観測スケジュール表	PDF	SOTJ4nnn. PDF	/SUIJUN/OTHR	
	衛星配置図	PDF	SOTJ5nnn. PDF	/SUIJUN/OTHR	
	GNSS 基準局配置位置図	PDF	SOTJ6nnn. PDF	/SUIJUN/OTHR	
	建標承諾書	(対象外)	—	—	納品方法は受発注者間協議により決定
	測量標設置位置通知書	(対象外)	—	—	納品方法は受発注者間協議により決定

7.4.2 水準測量成果ファイルの作成

水準測量の電子ファイルの作成に当たっては、次に示す成果ごとの「運用基準」及び「解説・補足」に従います。

(1) 水準測量

【運用基準】

(ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。

観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測手簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。ファイルは、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成します。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

(イ) 観測記録簿は、PDF 形式で納品します。

観測記録簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測記録簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。ファイルは、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成します。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

7.4 水準測量成果作成【SURVEY/SUIJUN】

- (ウ) 計算簿は PDF 形式とします。ファイルは、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成します。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (エ) 観測成果表は、PDF 形式で納品します。
- 観測成果表（数値データ）は、TXT 形式で納品します。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 に依ります。ファイルは、適当な単位でまとめて作成します。
- (オ) 平均成果表は、PDF 形式で納品します。
- 平均成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 形式で納品してもかまいません。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 に依ります。ファイルは、適当な単位でまとめて作成します。
- (カ) 水準路線図、平均図は、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z)、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、図単位で作成します。
- (キ) 点の記は、PDF 形式で納品します。1 成果 1 ファイルの単位で作成します。
- 点の記（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。点の記（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。点の記（数値データ）は、適当な単位でまとめて作成します。
- (ク) 点検測量簿及び基準点現況調査報告書は、PDF 形式で納品します。
- ファイルは、適当な単位でまとめて作成します。
- (ケ) 測量標の地上写真は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、適当な単位でまとめて作成します。
- (コ) 測量標新旧位置明細書は、PDF 形式で納品します。
- (サ) GNSS 観測記録簿は、PDF 形式で納品します。
- (シ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (ス) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (セ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (ソ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
- なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。
- (タ) 水準点の復旧測量の成果は、水準測量の成果として電子納品を行います。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) 観測及び平均成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、TXT 形式の場合、測量要領（案）付属資料 3 成果表数値フォーマットに示す仕様に従います。ファイルは後続作業での利用を考慮して、等級種別等適当な単位にまとめて作成します。
- (ウ) 水準路線図、平均図は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - ファイルは図単位又は図の種別単位で作成します。
 - 受発注者間協議により、SXF (P21) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (エ) 点の記は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合には、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (オ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (カ) 点検測量簿及び基準点現況調査報告書は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - ファイル単位は種別ごとにまとめることを標準とし、受発注者間協議により適切なファイル単位を決定します。
- (キ) 測量標の地上写真は、次の点に留意します。
- デジタルカメラで撮影する場合の有効画素数は 100～300 万画素（ピクセル）程度とします。
 - 35 mmカメラで撮影し、写真をスキャナでイメージ化する場合も、100～300 万画素（ピクセル）程度の解像度とします。フィルムスキャナも

7.4 水準測量成果作成【SURVEY/SUIJUN】

同程度の解像度とします。

写真、35mm フィルムをスキャナ、フィルムスキャナでイメージ化する場合の解像度と有効画素数の関係は、「7.2.2(1)ウ 写真のスキャニング」を参照してください。

- 撮影対象物が容易に判別できない場合や黒板の文字が識別できない場合は、スキャナの解像度を適宜調整します。
- オリジナル形式で納品する場合は、ワープロ又は表計算ソフトからファイルを作成することを標準とし、受発注者間協議により適切なフォーマットを決定します。

(ク) その他のデータは、「7.4.2 (2) その他データ」を参照します。

(2) その他データ

【運用基準】

- (ア) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GNSS 観測スケジュール表、衛星配置図、GNSS 基準局配置図は PDF 形式で納品します。
- (イ) 表 7-18にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納します。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納します。
- (エ) 建標承諾書、測量標設置位置通知書の納品方法は受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

- (ア) 測量機器検定証明書、ファイル説明書等をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (イ) 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式等で納品する場合は、レコードフォーマット、ファイル単位及び利用方法等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成し、その他データサブフォルダ (/OTHERS) に格納します。
- (ウ) 表 7-18に記載されていない測量記録及び資料等を納品する場合、次の点に留意します。
- ファイル単位は、受発注者間協議により決定します。
 - 受発注者間協議により電子化しないものは、紙のまま納品します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

7.5.1 対象となる成果品

地形測量及び写真測量の電子納品対象書類は、表 7-19に示すとおり、多岐に分かれています。電子納品の対象となる各成果は、表 7-19に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 7-18参照）。

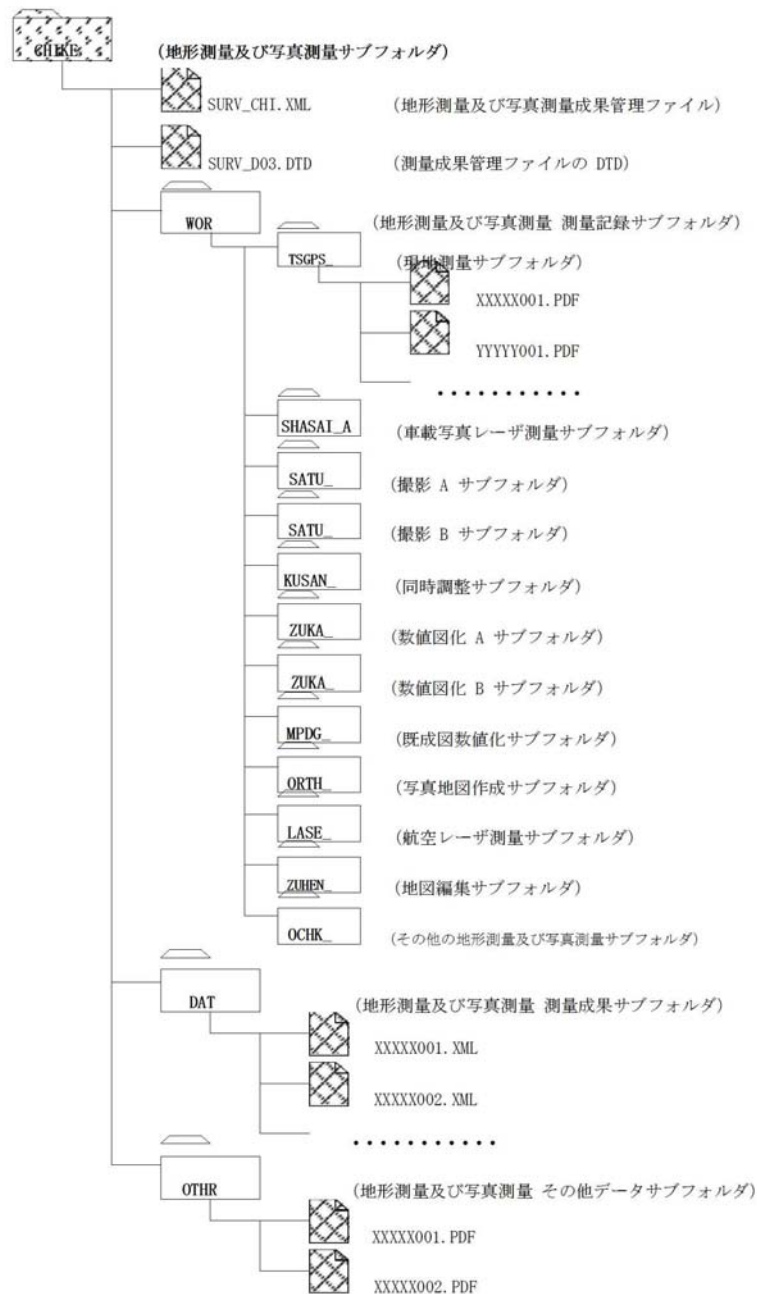


図 7-18 地形測量及び写真測量サブフォルダ構成

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

表 7-19 地形測量及び写真測量の成果種類

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
現地測量 (基準点 の設置)	—	—	—	—	基準点測量の成果 として格納
現地測量 (細部測 量)	測定位置確認資料	PDF	CG*H1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/TSGPS_*	
	細部測量精度管理表	PDF	CG*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/TSGPS_*	
現地測量 (数値編 集)	数値編集精度管理表	PDF	CG*G2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/TSGPS_*	
現地測量 (数値地 形図デー タファイル の作成)	数値地形図データフ ァイル	JPGIS 準 拠	CG*B1nnn. XML	/CHIKAI/DATA	協議により、標準 図式データファイ ルも可 また JPGIS 準拠 又は標準図式デー タファイルに加え て、SXF (P21) 形式 若しくは SXF (P22) 形式も可
	数値地形図データ作 成精度管理表	PDF	CG*G3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/TSGPS_*	
現地測量 (品質評 価)	品質評価表	PDF	CG*B2nnn. PDF	/CHIKAI/DATA	
現地測量 (成果等 の整理)	メタデータ	JMP2.0	CG*B3nnn. XML	/CHIKAI/DATA	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	
	コードリスト	JPGIS 準 拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
車載写真 レーザ測 量 (作業 計画)	作業計画書	PDF	CV*H1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	キャリブレーション 実施記録	PDF	CV*D1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
車載写真 レーザ測 量 (調整点 の設置)	選点計画図	PDF	CV*D2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	観測簿	PDF	CV*D3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	計算簿	PDF	CV*D4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	調整点明細簿	PDF	CV*D5nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	精度管理表 (調整点 測量)	PDF	CV*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
車載写真 レーザ測 量 (移動取 得及びデー タ処理)	移動取得計画図	PDF	CV*H2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	移動取得実績図	PDF	CV*H3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	GNSS 衛星の配置等 記録 (手簿・記簿)	PDF	CV*D6nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	走行時間帯の衛星数 及び PDOP 図	PDF	CV*H4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	解析結果精度管理表	PDF	CV*G2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	調整処理精度管理表	PDF	CV*G3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	合成結果精度管理表	PDF	CV*G4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	点検測量精度管理表	PDF	CV*G5nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	三次元点群データ	CSV	CV*H5nnn. CSV	/CHIKAI/WORK/CV_*	協議により、LAS 又はその他の形 式も可
	外部標定要素付き写 真	TIF	CV*H6nnn. TIF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	参照用写真	TIF	CV*H7nnn. TIF	/CHIKAI/WORK/CV_*	協議により、JPG 又はその他の形 式も可
車載写真 レーザ測 量（数値 図化）	精度管理表（数値図 化）	PDF	CV*G6nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
車載写真 レーザ測 量（現地 補測）	出力図	（対象 外）	—		
	精度管理表（現地補 測）	PDF	CV*G7nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
車載写真 レーザ測 量（数値 編集）	出力図	（対象 外）	—		
	精度管理表（数値編 集）	PDF	CV*G8nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
車載写真 レーザ測 量（数値 地形図デ ータファ イルの作 成）	数値地形図データ ファイル	JPGIS 準拠	CV*B1nnn. XML	/CHIKAI/DATA	協議により標準 図式データファ イルも可また、 JPGIS 準拠又は標 準図式データフ ァイルに加 えて、SXF（P21 ）形式も可
	品質評価表	PDF	CV*B2nnn. PDF	/CHIKAI/DATA	
	メタデータ	JMP2.0	CV*B3nnn. XML	/CHIKAI/DATA	
	精度管理表	PDF	CV*G9nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/CV_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
空中写真 測量（標 定点の設 置）	標定点成果表	TXT	CS*E1nnn. TXT	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	標定点配置図	標準図式 データフ ァイル	CS*F1nnn. DMI CS*F1nnn. DM CS*F1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	協議により PDF、 SXF（P21）若しくは SXF（P2Z）、オリジ ナル形式も可
	水準路線図	標準図式 データフ ァイル	CS*F2nnn. DMI CS*F2nnn. DM CS*F2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	協議により PDF、 SXF（P21）若しくは SXF（P2Z）、オリジ ナル形式も可
	標定点測量簿	PDF	CS*E2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	標定点測量簿（数値デ ータ）	オリジナ ル	CS*E3nnn. XXX	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	標定点明細簿	PDF	CS*E4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	精度管理表	PDF	CS*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
空中写真 測量(対 空標識の 設置)	対空標識点明細票	PDF	CS*E5nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	偏心計算簿	(対象外)	—	—	
	対空標識点一覧図	標準図式 データフ ァイル	CS*F3nnn. DMI CS*F3nnn. DM CS*F3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可
	精度管理表	PDF	CS*G2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
空中写真 測量(撮 影)	ネガフィルム	(対象外)	—	—	
	密着印画	(対象外)	—	—	
	数値写真	TIF	CS*H1nnn. TIF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	協議により TIF 以 外の形式でも可と する
	サムネイル画像	BMP 又は JPG	CS*H2nnn. BMP CS*H2nnn. JPG	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	標定図	標準図式 データフ ァイル	CS*F4nnn. DMI CS*F4nnn. DM CS*F4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可
	外部標定要素成果表 (GNSS/IMU 解析結果)	TXT	CS*E6nnn. TXT	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	撮影記録	PDF	CS*H3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	撮影諸元	PDF	CS*H4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	品質評価表	PDF	CS*B1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	精度管理表(撮影コー ス別)	PDF	CS*G3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	精度管理表(撮影ロー ル別)	PDF	CS*G4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	GNSS/IMU 計算精度管 理表	PDF	CS*G5nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	固定局観測記録簿	PDF	CS*D1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
	空中写真数値化作業 記録簿及び点検記録 簿	PDF	CS*D2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	
空中写真 測量(同 時調整)	外部標定要素成果表	TXT	CK*E1nnn. TXT	/CHIKAI/WORK/KUSAN_*	
	バスポイント・タイポ イント成果表	TXT	CK*E2nnn. TXT	/CHIKAI/WORK/KUSAN_*	
	同時調整作業計画・実 施一覧図	標準図式 データフ ァイル	CK*F1nnn. DMI CK*F1nnn. DM CK*F1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/KUSAN_*	協議により PDF、 SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジ ナル形式も可

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	写真座標測定簿	TXT	CK*E3nnn. TXT	/CHIKAI/WORK/KUSAN_*	
	調整計算簿	TXT	CK*E4nnn. TXT	/CHIKAI/WORK/KUSAN_*	
	精度管理表	PDF	CK*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/KUSAN_*	
空中写真 測量(現 地調査)	現地調査結果を整理 した空中写真	(対象外)	—	—	
空中写真 測量(数 値図化)	精度管理表(数値図 化)	PDF	CZ*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
	精度管理表(地形補備 測量)	PDF	CZ*G2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
空中写真 測量(数 値編集)	出力図	(対象外)	—	—	
	精度管理表(数値編 集)	PDF	CZ*G3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
空中写真 測量(補 測編集)	出力図	(対象外)	—	—	
	精度管理表(現地補 測)	PDF	CZ*G4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
	精度管理表(補測編 集)	PDF	CZ*G5nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
空中写真 測量(数 値地形図 データフ ァイルの 作成)	数値地形図データフ ァイル	JPGIS 準 拠	CZ*B1nnn. XML	/CHIKAI/DATA	協議により、標準 図式データファイ ル、SXF(P21)形式 若しくは SXF(P2Z) 形式も可
	品質評価表	PDF	CZ*B2nnn. PDF	/CHIKAI/DATA	
	メタデータ	JMP2.0	CZ*B3nnn. XML	/CHIKAI/DATA	
	精度管理表	PDF	CZ*G6nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	
	コードリスト	JPGIS 準 拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
既成図数 値化	数値地形図データフ ァイル	JPGIS 準 拠	CM*B1nnn. XML	/CHIKAI/DATA	協議により、標準 図式データファイ ル、SXF(P21)形式 若しくは SXF(P2Z) 形式も可
	出力図	(対象外)	—	—	
	品質評価表	PDF	CM*B2nnn. PDF	/CHIKAI/DATA	
	メタデータ	JMP2.0	CM*B3nnn. XML	/CHIKAI/DATA	
	精度管理表	PDF	CM*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/MPDG_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	

7 電子成果品の作成

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	コードリスト	JPGIS 準 拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
修正測量	数値地形図データフ ァイル	JPGIS 準 拠			測量手法により、 現地測量(CG*)、数 値図化(CZ*)の成 果として格納
	品質評価表	PDF			
	メタデータ	JMP2.0			
	精度管理表	PDF			
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	
	コードリスト	JPGIS 準 拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
写真地図 作成	写真地図データファ イル	TIF	CD*B1nnn. TIF	/CHIKAI/DATA/	
	位置情報ファイル	TIFFW(ワ ールドフ ァイル仕 様)	CD*B2nnn. TFW	/CHIKAI/DATA/	
	数値地形モデルファ イル	標準図式 データフ ァイル	CD*B3nnn. DMI CD*B3nnn. DM CD*B3nnn. PDF	/CHIKAI/DATA/	
	品質評価表	PDF	CD*B4nnn. PDF	/CHIKAI/DATA/	
	メタデータ	JMP2.0	CD*B5nnn. XML	/CHIKAI/DATA/	
	数値写真	(対象外)	—	—	
	正射投影画像	(対象外)	—	—	
	モザイク画像	(対象外)	—	—	
	精度管理表	PDF	CD*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ORTH_*	
航空レー ザ測量 (作業計 画)	航空レーザ計測作業 計画	PDF	CL*H1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	航空レーザ測量シス テム点検記録	PDF	CL*D1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レー ザ測量 (固定局 の設置)	基準点測量に準ずる 測量記録(手簿・記簿 など)	PDF	CL*D2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	水準測量に準ずる測 量記録(手簿・記簿な ど)	PDF	CL*D3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	固定局明細表	PDF	CL*D4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
航空レーザ測量 (航空レーザ計測)	GNSS 衛星の配置等記録簿（手簿・記簿）	PDF	CL*DAnnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	GNSS/IMU 計算制度管理表	PDF	CL*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	計測時間帯の衛星数及び PDOP 図	PDF	CL*H2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	計測漏れの点検図	PDF	CL*H3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	航跡図	PDF	CL*H4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	航空レーザ計測記録	PDF	CL*H5nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レーザ測量 (調整用基準点の設置)	調整用基準点の配点図	PDF	CL*F1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	調整用基準点明細表	PDF	CL*D5nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レーザ測量 (三次元計測データ作成)	三次元計測データ	TXT	CL*HDnnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	協議により他の形式も可
	三次元計測データ点検表	PDF	CL*H7nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	調整用基準点調査表	PDF	CL*D6nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	コース間点検箇所残差表	PDF	CL*D7nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	コース間点検箇所配点図	PDF	CL*F2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	写真地図データファイル				写真地図データ (CD*) の成果として格納
	位置情報ファイル				
	水部ポリゴンデータ	JPGIS 準拠	CL*B1nnn. XML	/CHIKAI/DATA/	協議により、TXT 又はその他の形式も可
	欠測率調査表	PDF	CL*D8nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レーザ測量 (オリジナルデータ作成)	オリジナルデータ	JPGIS 準拠	CL*B2nnn. XML	/CHIKAI/DATA/	協議により、TXT 又はその他の形式も可
	調整用基準点残差表	PDF	CL*E1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レーザ測量 (グラウンドデータ作成)	グラウンドデータ	JPGIS 準拠	CL*B3nnn. XML	/CHIKAI/DATA/	協議により、TXT 又はその他の形式も可
	既存データ検証結果表	PDF	CL*D9nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	フィルタリング点検 図	PDF	CL*H9nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	グラウンドデータ作 成作業精度管理表	PDF	CL*G2nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レー ザ測量 (グリッ ドデータ 作成)	グリッドデータ	JPGIS 準 拠	CL*B4nnn. XML	/CHIKAI/DATA/	協議により、標準 図式データファイ ル又はその他の形 式も可
	グリッドデータ点検 図	PDF	CL*HAAnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	グリッドデータ作成 作業精度管理表	PDF	CL*G3nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レー ザ測量 (等高線 データ作 成)	等高線データ	JPGIS 準 拠	CL*B5nnn. XML	/CHIKAI/DATA/	協議により、標準 図式データファイ ル又はその他の形 式も可
航空レー ザ測量 (数値デ ータファ イル作 成)	格納データリスト	PDF	CL*HBnnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	数値データファイル 作成作業精度管理表	PDF	CL*G4nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
航空レー ザ測量 (品質評 価)	品質評価表	PDF	CL*B6nnn. PDF	/CHIKAI/DATA	
航空レー ザ測量 (成果等 の整理)	作業記録	PDF	CL*HCnnn. PDF	/CHIKAI/WORK/LASE_*	
	メタデータ	JMP2.0	CL*B7nnn. XML	/CHIKAI/DATA	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	
	コードリスト	JPGIS 準 拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
地図編集	数値地形図データフ ァイル (編集原図デー タ)	JPGIS 準 拠	CU*B1nnn. PDF	/CHIKAI/DATA	
	基図データ及び編集 原図データ等出力図	(対象外)	—	—	
	品質評価表	PDF	CU*B2nnn. PDF	/CHIKAI/DATA	
	メタデータ	JMP2.0	CU*B3nnn. XML	/CHIKAI/DATA	
	精度管理表	PDF	CU*G1nnn. PDF	/CHIKAI/WORK/ZUHEN_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	
	コードリスト	JPGIS 準 拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
その他の	測量記録	—	CO***nnn. XXX	/CHIKAI/WORK/OCHK_*	

7 電子成果品の作成

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
地形測量 及び写真 測量	測量成果	—	C0***nnn. XXX	/CHIKAI/DATA	
基盤地図 作成	基盤地図情報又は基 盤地図情報を含む数 値地形図データ				測量手法により、 上記までの規定に 従い成果を格納
	品質評価表				
	メタデータ				
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/CHIKAI/DATA	
	コードリスト	JPGIS 準 拠	CODEnnn. XML	/CHIKAI/DATA	
その他デ ータ	測量機器検定証明書	PDF	ZOTJ1nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	
	測量成果検定証明書 等	PDF	ZOTJ2nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	ZOTJ3nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	
	固定局配置図	PDF	ZOTJ4nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	
	撮影作業日誌	PDF	ZOTJ5nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	
	カメラキャリブレー ションデータ	PDF	ZOTJ6nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	
	航空レーザ計測作業 日誌	PDF	ZOTJ7nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	
	撮影計画図	標準図式 データフ ァイル	ZOTJ8nnn. PDF	/CHIKAI/OTHR	協議により PDF、 SXF(P21)、オリジ ナル形式も可

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

7.5.2 地形測量及び写真測量成果ファイルの作成

地形測量及び写真測量の電子ファイルの作成に当たっては、次に示す成果ごとの「運用基準」及び「解説・補足」に従います。

(1) 現地測量

(基準点の設置)

【運用基準】

(ア) 基準点の設置の成果等は、基準点測量の成果として納品します。

(細部測量)

【運用基準】

(ア) 測定位置確認資料、細部測量精度管理表観測手簿は、PDF 形式で納品します。

(数値編集)

【運用基準】

(ア) 数値編集精度管理表は、PDF 形式で納品します。

(数値地形図データファイルの作成)

【運用基準】

(ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式又は SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。

(イ) 数値地形図データ作成精度管理表は、PDF 形式で納品します。

(品質評価)

【運用基準】

(ア) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

(成果等の整理)

【運用基準】

- (ア) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (イ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式での納品が必須であり、CAD データはそれらを補足するものです。
- (イ) 受発注者間協議により、標準図式データファイルを CAD データ (SXF (P21) 形式) で納品する場合は、次の点に留意します。
「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」に留意します。
CAD データは、幾何構造の変換は可能ですが情報の伝達は不十分です。そのため、CAD データ内でどのように地図データが分類されているか、注記や記号がどのような形式で記録されているかを、ファイル説明書に明記します。

(2) 車載写真レーザ測量

(作業計画)

【運用基準】

- (ア) 作業計画書は、PDF 形式で納品します。
- (イ) キャリブレーション実施記録は、PDF 形式で納品します。

(調整点の設置)

【運用基準】

- (ア) 選点計画図、観測簿、計算簿は、PDF 形式で納品します。
- (イ) 調整点明細簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、調整用基準点数ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめます。
- (ウ) 精度管理表（調整点測量）は、PDF 形式で納品します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

(移動取得及びデータ処理)

【運用基準】

- (ア) 移動取得計画図は、PDF 形式で納品します。
- (イ) 移動取得実績図は、PDF 形式で納品します。ファイルは、走行区間ごとに 1 ページとし、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめて作成します。
- (ウ) GNSS 衛星の配置等記録（手簿・記簿）は、PDF 形式で納品します。
- (エ) 走行時間帯の衛星数及び PDOP 図は、PDF 形式で納品します。ファイルは、走行区間ごとに 1 ページとし、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめて作成します。
- (オ) 解析結果精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (カ) 調整処理精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (キ) 合成結果精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (ク) 点検測量精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (ケ) 三次元点群データは、CSV 形式で納品します。（協議により、LAS 又はその他の形式も可）。
- (コ) 外部標定要素付き写真は、TIF 形式で納品します。外部標定要素付き写真は、個人情報の保護及びプライバシー等に配慮し、受発注者間協議により電子納品方法を別途定めてもよい。
- (サ) 参照用写真は、TIF 形式で納品する。協議により、JPG 形式又はその他の形式も可とします。参照用写真は、個人情報の保護及びプライバシー等に配慮し、受発注者間協議により電子納品方法を別途定めてもよい。

(数値図化)

【運用基準】

- (ア) 精度管理表（数値図化）は、PDF 形式で納品します。

(現地補測)

【運用基準】

- (ア) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (イ) 精度管理表（現地補測）は、PDF 形式で納品します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

(数値編集)

【運用基準】

- (ア) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (イ) 精度管理表（数値編集）は、PDF 形式で納品します。

(数値地形図データファイルの作成)

【運用基準】

- (ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。また、受発注者間協議により、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式に加えて、SXF (P21) データ形式で納品してもよい。
- (イ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (ウ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (エ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (オ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

(3) 空中写真測量

(標定点の設置)

【運用基準】

- (ア) 標定点成果表は、TXT 形式で納品します。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 によります。ファイルは、基準点測量、水準測量等の測量種別単位で 1 ファイルにまとめて作成します。
- (イ) 標定点配置図、水準路線図は、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z)、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、図単位または図の種別単位で作成します。標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図及び標定図を一図葉に併記した場合は、該当するフォルダに複製を作成して指定された命名規則でそれ

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

それぞれのファイルを格納します。

(ウ) 標定点測量簿及び標定点明細簿は、PDF 形式で納品します。

標定点測量簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。標定点測量簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。

ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成します。

(エ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。

【解説・補足】

(ア) 標定点成果表は、簡易水準成果を含めて 1 ファイルにまとめて作成します。

ただし、ファイル内の整理は、基準点測量、水準測量等の測量種別単位で行います。

(イ) 標定点成果表のファイル仕様は、測量要領（案）付属資料 3 成果表数値フォーマットに示す仕様に従います。

(ウ) 標定点配置図、水準路線図の標準図式データファイル仕様は、次のとおりです。

- 出力する座標系は数学座標系を標準とします。
- 図郭座標には全て 0 を与えます。
- 座標は平面直角座標系とします（通常は左下を原点とする相対座標）。
- 座標の単位は、m とします。
- 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」、「図郭名称」、「タイトル」で、地図データとの区別を行います。

➤ 図郭識別番号には該当する成果品のファイル名を入力します。

➤ 図郭名称には該当する成果品名を入力します。

例：標定点配置図

➤ タイトルには「測量成果電子納品」を入力します。

- 背景には作成した標準図式データファイルを用いてもかまいません。
- 図式(記号・取得分類コード)は、測量作業規程に従います。

(エ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。出力する座標系は数学座標系を標準とします。

(オ) 標定点配置図、水準路線図を PDF 形式で納品する場合は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。
- 背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いてもかまいません。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

ん。

(対空標識の設置)

【運用基準】

- (ア) 対空標識点明細票は、PDF 形式で納品します。
- (イ) 偏心計算簿の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) 対空標識点一覧図は、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z)、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、図単位で作成します。標定点配置図、水準路線図、及び標定図を一図葉に併記した場合は、該当するフォルダに複製を作成して指定された命名規則でそれぞれのファイルを格納します。
- (エ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。

【解説・補足】

- (ア) 対空標識点一覧図の標準図式データファイル仕様は、次のとおりです。
 - 図郭座標には全て 0 を与えます。
 - 座標は平面直角座標系とします（通常は左下を原点とする相対座標）。
 - 座標の単位は、m とします。
 - 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」、「図郭名称」、「タイトル」で、地図データとの区別を行います。
 - 図郭識別番号には該当する成果品のファイル名を入力します。
 - 図郭名称には該当する成果品名を入力します。
- 例：対空標識点一覧図
 - タイトルには「測量成果電子納品」を入力します。
- 背景には作成した標準図式データファイルを用いてもかまいません。
- 図式(記号・取得分類コード)は、測量作業規程に従います。
- (イ) 対空標識点一覧図を PDF 形式で作成する場合は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - ファイルは、測量区域単位で作成します。
 - 背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いてもかまいません。

(撮影)

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

【運用基準】

- (ア) ネガフィルム、密着印画の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (イ) 数値写真は、TIF 形式で納品します。画像圧縮を行う場合にはロスレス圧縮を行います。数値写真はデータ量が膨大となるため、受発注者間協議により電子納品方法を別途定めてもかまいません。
- (ウ) サムネイル画像は、BMP 又は JPEG 形式で納品します。
- (エ) 標定図は、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、測量区域単位で作成します。標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図、及び標定図を一図葉に併記した場合は、該当するフォルダに複製を作成して指定された命名規則でそれぞれのファイルを格納します。
- (オ) 外部標定要素成果表（GNSS/IMU 解析結果）は、GNSS/IMU の解析処理で求められた独立した外部評定要素を対象とし、同時調整計算結果の外部評定要素とは異なります。外部標定要素成果表（GNSS/IMU 解析結果）は、TXT 形式で納品します。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 によります。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成します。
- (カ) 撮影記録、撮影諸元は、PDF 形式で納品します。ファイルは、撮影地区単位で作成します。
- (キ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (ク) 固定局観測記録簿は、PDF 形式で納品します。
- (ケ) 空中写真数値化作業記録簿及び点検記録簿は、PDF 形式で納品します。
- (コ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

【解説・補足】

- (ア) ネガフィルム、密着印画を劣化なしで電子化することは困難であり、原本性を確保できません。また、データ量が膨大になり、発注者の管理も不可能と思われるため、電子納品の対象外となっています。
- (イ) 標定図の標準図式データファイル仕様は、次のとおりです。
 - 図郭座標には全て 0 を与えます。
 - 座標は平面直角座標系とします（通常は左下を原点とする相対座標）。
 - 座標の単位は、m とします。
 - 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」、「図郭名称」、「タイトル」で、地図データとの区別を行います。
 - 図郭識別番号には該当する成果品のファイル名を入力します。
 - 図郭名称には該当する成果品名を入力します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

例：標定図

➤ タイトルには「測量成果電子納品」を入力します。

- 背景には作成した標準図式データファイルを用いてもかまいません。
- 図式(記号・取得分類コード)は、測量作業規程に従います。

(ウ) 標定図を PDF 形式で納品する場合は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- 標定図のファイルは、測量区域単位で作成します。
- 背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いてもかまいません。

(エ) カメラキャリブレーションデータは、必ず、PDF 形式でその他データ サブフォルダ(/OTHERS)に格納します。

(同時調整)

【運用基準】

(ア) 外部標定要素成果表は、同時調整計算結果の外部評定要素を対象とします。

外部標定要素成果表は、TXT 形式で納品します。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 によります。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成します。

(イ) パスポイント・タイポイント成果表は、TXT 形式で納品します。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成します。

(ウ) 同時調整作業計画・実施一覧図は、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、測量区域単位で作成します。

(エ) 写真座標測定簿は、TXT 形式で納品します。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 によります。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成します。

(オ) 調整計算簿は、TXT 形式で納品します。TXT ファイルのフォーマットは、測量要領（案）付属資料 3 によります。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成します。

(カ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

【解説・補足】

(ア) 外部標定要素成果表のファイル仕様は、測量要領（案）付属資料 3 成果表数値フォーマットに示す仕様に従います。

(イ) 同時調整作業計画・実施一覧図の標準図式データファイル仕様は、次のとおりです。

- 図郭座標には全て 0 を与えます。
- 座標は平面直角座標系とします（通常は左下を原点とする相対座標）。
- 座標の単位は、m とします。
- 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」、「図郭名称」、「タイトル」で、地図データとの区別を行います。
- 図郭識別番号には該当する成果品のファイル名を入力します。
- 図郭名称には該当する成果品名を入力します。
- タイトルには「測量成果電子納品」を入力します。
- 背景には作成した標準図式データファイルを用いてもかまいません。
- 図式(記号・取得分類コード)は、測量作業規程に従います。

注) 標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図、標定図のうち、同時調整作業計画・実施一覧図に必要なもので、それらが別途存在しない場合は、同時調整作業計画・実施一覧図に併記します。

(ウ) 同時調整作業計画・実施一覧図を PDF 形式で作成する場合は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- 同時調整作業計画・実施一覧図は、測量区域単位で作成します。
- 背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いてもかまいません。

(エ) 写真座標測定簿のファイル仕様は、測量要領（案）付属資料 3 成果表数値フォーマットに示す仕様に従います。

(オ) 調整計算簿のファイル仕様は、測量要領（案）付属資料 3 成果表数値フォーマットに示す仕様に従います。

(カ) カメラキャリブレーションデータは、必ず、PDF 形式でその他データサブフォルダ(/OTHERS)へ格納します。

(現地調査)

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

【運用基準】

(ア) 現地調査結果を整理した空中写真の納品方法は、受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

(ア) 現状では電子処理での生産は当面見込めないため、現地調査結果を整理した空中写真は、電子納品の対象外となっています。

(数値図化)

【運用基準】

(ア) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。

【解説・補足】

(ア) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(数値編集)

【運用基準】

(ア) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定します。

(イ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。

【解説・補足】

(ア) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(補測編集)

【運用基準】

(ア) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定します。

(イ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。

【解説・補足】

(ア) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

料のスキヤニング」に留意します。

(数値地形図データファイルの作成)

【運用基準】

- (ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式又は SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。
- (イ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (ウ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (エ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (オ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式での納品が必須であり、CAD データはそれらを補足するものです。
- (イ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。

(4) 既成図数値化

【運用基準】

- (ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式又は SXF (P21) データ形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。
- (イ) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (エ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (オ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

- (カ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
 なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式での納品が必須であり、CAD データはそれらを補足するものです。
 (イ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(5) 修正測量

【運用基準】

- (ア) 数値地形図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式又は SXF(P21) データ形式若しくは SXF(P2Z) 形式で納品してもかまいません。
 (イ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。
 (ウ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
 (エ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
 (オ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
 なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 修正測量には、空中写真測量による修正、TS 等による修正、RTK-GPS 法を用いる修正、ネットワーク型 RTK-GPS 法を用いる修正、TS 等と RTK-GPS 法又は TS 等とネットワーク型 RTK-GPS 法を併用する修正、既成図を用いる方法による修正、他の既成データを用いる方法による修正が含まれます。測量手法により、現地測量、数値図化などの成果として格納します。
 (イ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

(6) 写真地図作成

【運用基準】

- (ア) 写真地図データファイルは、TIF 形式で納品します。画像圧縮を行う場合にはロスレス圧縮を行います。
- (イ) 位置情報ファイルは、ワールドファイル仕様の TXT 形式で納品します。拡張子は「TIFFW」を省略した「TFW」とします。
- (ウ) 数値地形モデルファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。
- (エ) 数値写真、正射投影画像、モザイク画像の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (オ) 精度管理表は PDF 形式で納品します。
- (カ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (キ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。

【解説・補足】

- (ア) 数値地形モデルの図式(記号・取得分類コード)は、測量作業規程に従います。
- (イ) 数値写真等はデータ量が膨大となるため、電子納品の対象外となっています。
- (ウ) 撮影又は同時調整の作業が行われた場合は、必ずカメラキャリブレーションデータを PDF 形式でその他データサブフォルダ(/OTHERS)へ格納します。

(7) 航空レーザ測量

(作業計画)

【運用基準】

- (ア) 航空レーザ計測作業計画は、PDF 形式で納品します。
- (イ) 航空レーザ測量システム点検記録は、PDF 形式で納品します。

(固定局の設置)

【運用基準】

- (ア) 基準点測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)は、PDF 形式で納品します。
- (イ) 水準測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)は、PDF 形式で納品します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

- (ウ) 固定局明細表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、設置箇所ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめます。

(航空レーザ計測)

【運用基準】

- (ア) GNSS 衛星の配置等記録（手簿・記簿）及び GNSS/IMU 計算制度管理表は、PDF 形式で納品します。新規設置の場合のみ、GNSS 測量の様式に準拠し、作成します。
- (イ) 計測時間帯の衛星数及び PDOP 図は、PDF 形式で納品します。
- (ウ) 計測漏れの点検図は、PDF 形式で納品します。ファイルは、ブロック番号ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめます。
- (エ) 航跡図は、PDF 形式で納品します。ファイルは、1 フライトごとに 1 ページとし、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめて作成します。
- (オ) 航空レーザ計測記録は、PDF 形式で納品します。ファイルは、1 フライトごとに 1 ページとし、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめて作成します。

(調整用基準点の設置)

【運用基準】

- (ア) 調整用基準点の配点図は、PDF 形式で納品します。背景となる地形図には、1/25,000 又は 1/50,000 の地形図を用います。
- (イ) 調整用基準点明細表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、調整用基準点数ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめます。

(三次元計測データ作成)

【運用基準】

- (ア) 三次元計測データは、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他のファイル形式で納品することも可能とします。三次元計測データの納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (イ) 三次元計測データ点検表は、PDF 形式で納品します。
- (ウ) 調整用基準点調査表は、PDF 形式で納品します。
- (エ) コース間点検箇所残差表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、コース間ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめます。
- (オ) コース間点検箇所配点図は、PDF 形式で納品します。ファイルは、コース間

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

ごとに作成し、当該成果一式を1ファイルとしてまとめます。

- (カ) 写真地図データ、位置情報ファイルは、写真地図データの成果として納品します。
- (キ) 水部ポリゴンデータは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他のファイル形式で納品してもかまいません。ファイルは、データ管理図葉単位で作成します。
- (ク) 欠測率調査表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、当該成果一式を1ファイルとしてまとめます。

(オリジナルデータ作成)

【運用基準】

- (ア) オリジナルデータは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他のファイル形式で納品してもかまいません。ファイルは、データ管理図葉単位で作成します。
- (イ) 調整用基準点残差表は、PDF 形式で納品します。

(グラウンドデータ作成)

【運用基準】

- (ア) グラウンドデータは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他のファイル形式で納品してもかまいません。ファイルは、データ管理図葉単位で作成します。
- (イ) 既存データ検証結果表は、PDF 形式で納品します。
- (ウ) フィルタリング点検図は、PDF 形式で納品します。
- (エ) グラウンドデータ作成作業精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、当該成果一式を1ファイルとしてまとめます。

(グリッドデータ作成)

【運用基準】

- (ア) グリッドデータは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又はその他の形式で納品してもかまいません。ファイルは、データ管理図葉単位で作成します。
- (イ) グリッドデータ点検図は、PDF 形式で納品します。

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKI】

- (ウ) グリッドデータ作成作業精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめます。

(等高線データ作成)

【運用基準】

- (ア) 等高線データは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又はその他の形式で納品してもかまいません。ファイルは、データ管理図葉単位で作成します。

(数値データファイル作成)

【運用基準】

- (ア) 格納データリストは、PDF 形式で納品します。
(イ) 数値データファイル作成作業精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめます。

(品質評価)

【運用基準】

- (ア) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。

(成果等の整理)

【運用基準】

- (ア) 作業記録は、PDF 形式で納品します。
(イ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
(ウ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 航空レーザ測量による写真地図データは、「7.5.2 (6) 写真地図作成」の成

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

果として格納します。

- (イ) オリジナルファイル、拡張したファイル等について、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等について説明したファイル説明書（PDF 形式）を作成し、「その他データ」サブフォルダに格納します。

(8) 地図編集

【運用基準】

- (ア) 数値地形図データファイル(編集原図データ)は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもかまいません。また、受発注者間協議により、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式に加えて、SXF(P21)データ形式若しくは SXF(P2Z)形式で納品してもかまいません。
- (イ) 基図データ及び編集原図データ等出力図、注記資料図の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。
- (エ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (オ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (カ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

(9) その他の地形測量及び写真測量

【運用基準】

- (ア) その他の地形測量及び写真測量は、受発注者間協議により電子納品対象を決定します。
- (イ) ファイル名は、ファイル命名規則（地形測量及び写真測量成果）に準拠して決定します。
- (ウ) ファイル形式は、汎用性の高いもの、再利用が高いものを採用します。
- (エ) 製品仕様に基づく地形測量及び写真測量の場合は、データセット、品質評価表、メタデータを電子納品します。
- (オ) 新技術を用いた地形測量及び写真測量は、主要工程ごとの資料、精度管理表

7.5 地形測量及び写真測量成果作成【SURVEY/CHIKAI】

を併せて納品します。

(10) 基盤地図情報作成

【運用基準】

- (ア) 基盤地図情報は、受発注者間協議により電子納品対象を決定します。
- (イ) ファイル名は、ファイル命名規則（地形測量及び写真測量成果）に準拠して決定します。
- (ウ) データセット、品質評価表、メタデータを電子納品します。測量成果として、データフォルダ（CHIKAI/DATA）に当該成果を格納します。

(11) その他データ

【運用基準】

- (ア) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、固定局配置図、撮影作業日誌、カメラキャリブレーションデータ、航空レーザ計測作業日誌は、PDF 形式で納品します。
- (イ) 撮影計画図は、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF (P21)、オリジナル形式での納品も可能とします。ファイルは、測量区域単位で作成します。
- (ウ) 表 7-19にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納します。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定します。
- (エ) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納します。

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

7.6.1 対象となる成果品

路線測量の電子納品対象書類は、表 7-20に示すとおり、多岐に分かれています。電子納品の対象となる各成果は、表 7-20に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 7-19参照）。

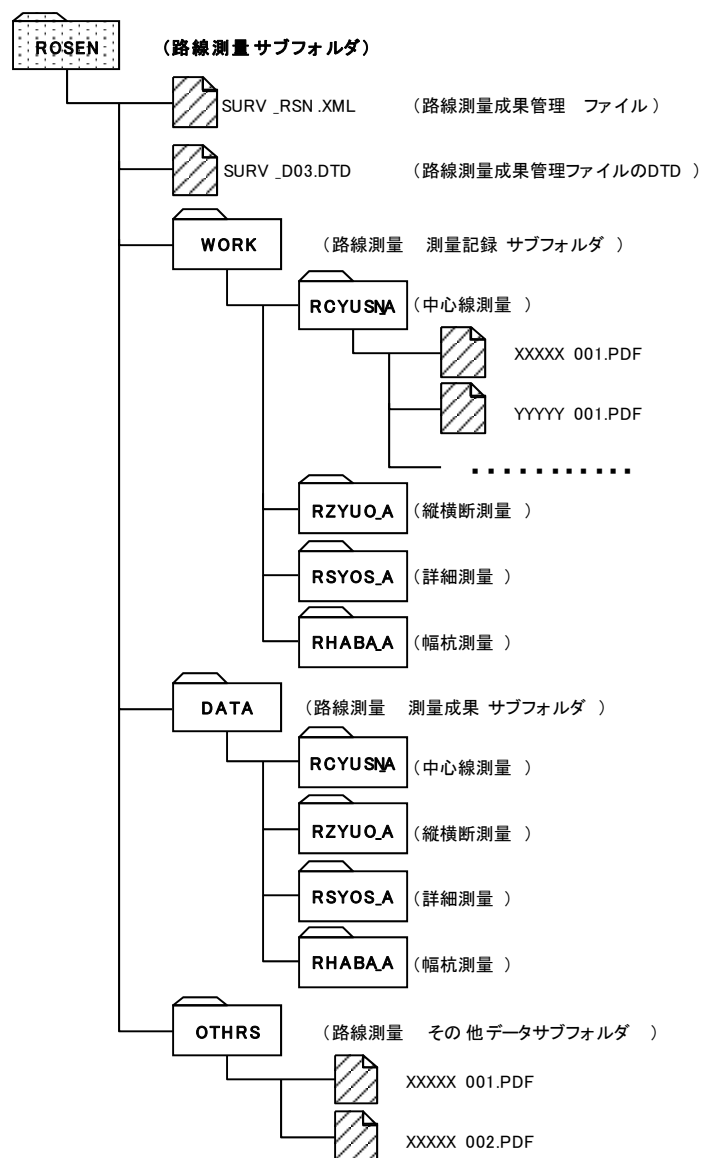


図 7-19 路線測量サブフォルダ構成

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

表 7-20 路線測量の成果種類

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
線形決定	計算簿	PDF	RC*E1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
	線形図データファイル	標準図式 データフ ァイル	RC*B1nnn. DMI RC*B1nnn. DM RC*B1nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	協議により SXF (P21) 形式若し くは SXF (P2Z) 形式 も可
条件点の 観測	観測手簿	PDF	RC*D1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
	計算簿	PDF	RC*E2nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	RC*E3nnn. XXX	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
	成果表	PDF	RC*A1nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	
	成果表(数値データ)	TXT	RC*A2nnn. TXT	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	協議によりその他の 形式も可
	精度管理表	PDF	RC*G1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
IP 設置測 量	計算簿	PDF	RC*E4nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	RC*E5nnn. XXX	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
	点の記	PDF	RC*C1nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	
	精度管理表	PDF	RC*G2nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
中心線測 量	計算簿	PDF	RC*E6nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
	計算簿(数値データ)	TXT	RC*E7nnn. TXT	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	協議によりその他の 形式も可
	線形地形図データフ ァイル	標準図式 データフ ァイル	RC*B2nnn. DMI RC*B2nnn. DM RC*B2nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	協議により SXF (P21) 形式若し くは SXF (P2Z) 形式 も可
	引照点図	PDF	RC*B5nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	
	点の記	PDF	RC*C2nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	
	精度管理表	PDF	RC*G3nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	
仮 BM 設置 測量	観測手簿	PDF	RZ*D1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
	成果表	PDF	RZ*A1nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	RZ*A2nnn. XML	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	協議により TXT 又 はその他の形式も 可
	点の記	PDF	RZ*C1nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	

7 電子成果品の作成

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	品質評価表	PDF	RZ*A3nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
仮 BM 設置 測量	メタデータ	JMP2.0	RZ*A4nnn. XML	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
	水準路線図	PDF	RZ*F1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	協議により SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z)、オリジ ナル形式も可
	平均図	PDF	RZ*F2nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	協議により SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z)、オリジ ナル形式も可
	精度管理表	PDF	RZ*G1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
縦断測量	観測手簿	PDF	RZ*D2nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
	観測手簿(数値デー タ)	オリジナ ル	RZ*D3nnn. XXX	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
	成果表	PDF	RZ*A5nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	RZ*A6nnn. XML	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	協議により TXT 又 はその他の形式も 可
	縦断面図データファ イル	(協議)	RZ*B1nnn. XXX	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	協議により SXF (P21) 形式若し くは SXF (P2Z) 形式 も可
	品質評価表	PDF	RZ*A7nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	点の成果の場合
	メタデータ	JMP2.0	RZ*A8nnn. XML	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	点の成果の場合
	精度管理表	PDF	RZ*G2nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	
横断測量	観測手簿	PDF	RZ*D4nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
	観測手簿(数値デー タ)	オリジナ ル	RZ*D5nnn. XXX	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
	横断面図データファ イル	(協議)	RZ*B2nnn. XXX	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	協議により SXF (P21) 形式若し くは SXF (P2Z) 形式 も可
	精度管理表	PDF	RZ*G3nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	
詳細測量	観測手簿	PDF	RS*D1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RSYOS_*	

7 電子成果品の作成

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	RS*D2nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RSYOS_*	
	成果表	PDF	RS*A1nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	RS*A2nnn. XML	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	協議により TXT 又はその他の形式も可
詳細測量	縦断面図データファイル	(協議)	RS*B1nnn. XXX	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	協議により SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式も可
	横断面図データファイル	(協議)	RS*B2nnn. XXX	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	協議により SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式も可
	詳細平面図データファイル	JPGIS 準拠	RS*B3nnn. XML	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	協議により標準図式データファイル又は SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式も可
	品質評価表	PDF	RS*A3nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	点の成果の場合
		PDF	RS*B4nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	面の成果の場合
	メタデータ	JMP2.0	RS*A4nnn. XML	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	点の成果の場合
		JMP2.0	RS*B5nnn. XML	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	面の成果の場合
	精度管理表	PDF	RS*G1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RSYOS_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	
用地幅杭 設置測量	計算簿	PDF	RH*E1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RHABA_*	
	計算簿(数値データ)	TXT	RH*E2nnn. TXT	/ROSEN/WORK/RHABA_*	協議によりその他の形式も可
	杭打図データファイル	標準図式データファイル	RH*F1nnn. DMI RH*F1nnn. DM RH*F1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RHABA_*	協議により SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式も可
	品質評価表	PDF	RH*A1nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RHABA_*	
	メタデータ	JMP2.0	RH*A2nnn. PDF	/ROSEN/DATA/RHABA_*	
	精度管理表	PDF	RH*G1nnn. PDF	/ROSEN/WORK/RHABA_*	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	ROTJ1nnn. PDF	/ROSEN/OTHS	
	測量成果検定証明書等	PDF	ROTJ2nnn. PDF	/ROSEN/OTHS	
	ファイル説明書	PDF	ROTJ3nnn. PDF	/ROSEN/OTHS	

7 電子成果品の作成

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	点検測量簿	PDF	ROTJ4nnn. PDF	/ROSEN/OTHR	
	GNSS 基準局配置図	PDF	ROTJ5nnn. PDF	/ROSEN/OTHR	

7.6.2 路線測量成果ファイルの作成

路線測量の電子ファイルの作成に当たっては、次に示す成果ごとの「運用基準」及び「解説・補足」に従ってください。

(1) 線形決定

【運用基準】

- (ア) 計算簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (イ) 線形図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

- (ア) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。
- (イ) 受発注者間協議により、線形図を CAD 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(2) 条件点の観測

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (ウ) 成果表は、PDF 形式で納品します。
成果表（数値データ）は、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもかまいません。
- (エ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿、計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、
「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (イ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、
「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、受発注者間協議によるものとし、次の点に留意します。
- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - その他の形式で納品する場合は、「7.2.2(7) その他の形式」を参照します。

(3) IP 設置測量

【運用基準】

- (ア) 計算簿は、PDF 形式で納品します。計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (イ) 点の記は、PDF 形式で納品します。1 成果 1 ファイルの単位で作成します。
- (ウ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは種別単位に作成します。

【解説・補足】

- (ア) 計算簿、点の記、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、
「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(4) 中心線測量

【運用基準】

- (ア) 計算簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
計算簿（数値データ）は、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもかまいません。
- (イ) 線形地形図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) 引照点図は、PDF 形式で納品します。ファイル作成単位は、受発注者間協議

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

により決定します。

- (エ) 点の記は、PDF 形式で納品します。1 成果 1 ファイルの単位で作成します。
- (オ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

【解説・補足】

- (ア) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキニング」に留意します。

また、受発注者間協議により、数値データを納品する場合は、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- その他の形式で納品する場合は、「7.2.2(7) その他の形式」を参照します。

- (イ) 受発注者間協議により、線形地形図データファイルを SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (ウ) 点の記、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキニング」に留意します。

(5) 仮 BM 設置測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 成果表は、PDF 形式で納品します。
成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもかまいません。
- (ウ) 点の記は、PDF 形式で納品します。1 成果 1 ファイルの単位で作成します。
- (エ) 水準路線図、平均図は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 形式又はオリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、図単位で作成します。
- (オ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (カ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (キ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

位でファイルを作成します。

(ク) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。

なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

(ア) 観測手簿、計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(イ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(ウ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、受発注者間協議によるものとし、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。

(エ) 水準路線図、平均図は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合には、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- ファイルは図単位又は図の種別単位で作成します。
- 受発注者間協議により、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21) 形式若しくは SXF(P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(6) 縦断測量

【運用基準】

(ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。

(イ) 成果表は、PDF 形式で納品します。

成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもかまいません。

(ウ) 縦断面図データファイルは、受発注者間協議により、SXF(P21) 形式若しくは SXF(P2Z) 形式で納品します。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

します。

- (エ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (オ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (カ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (キ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (イ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、受発注者間協議によるものとし、次の点に留意します。
 - 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - その他の形式で納品する場合は、「7.2.2(7) その他の形式」を参照します。
- (エ) 縦断面図データファイルは、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(7) 横断測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。
- (イ) 横断面図データファイルは、受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

SXF (P2Z)形式で納品します。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

(ウ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

【解説・補足】

(ア) 観測手簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(イ) 横断面図データファイルは、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(8) 詳細測量

【運用基準】

(ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100枚程度に分割してファイルを作成します。

観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。

(イ) 成果表は、PDF 形式で納品します。

成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもかまいません。

(ウ) 詳細平面図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又は SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

(エ) 縦断面図、横断面図データファイルは、受発注者間協議により、SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式で納品します。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

(オ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

(カ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。

(キ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。

7.6 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】

(ク) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。

なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

(ア) 観測手簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(イ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(ウ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、受発注者間協議によるものとし、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。

(エ) 詳細平面図、縦断面図、横断面図データファイルをスキャナでイメージ化する場合、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(オ) 受発注者間協議により、詳細平面図データファイルを SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(9) 用地幅杭設置測量

【運用基準】

(ア) 計算簿は、PDF 形式で納品します。

計算簿（数値データ）は、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもかまいません。

ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

(イ) 杭打図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

(ウ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

(エ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。

(オ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。

【解説・補足】

(ア) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。

また、受発注者間協議により、数値データを納品する場合は、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。

(イ) 受発注者間協議により、杭打図データファイルを SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(ウ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。

(10) その他データ**【運用基準】**

(ア) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GNSS 基準局配置図は、PDF 形式で納品します。

ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成します。

(イ) 表 7-20にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納します。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定します。

(ウ) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

7.7.1 対象となる成果品

河川測量の電子納品対象書類は、表 7-21に示すとおり、多岐に分かれています。電子納品の対象となる各成果は、表 7-21に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 7-20参照）。

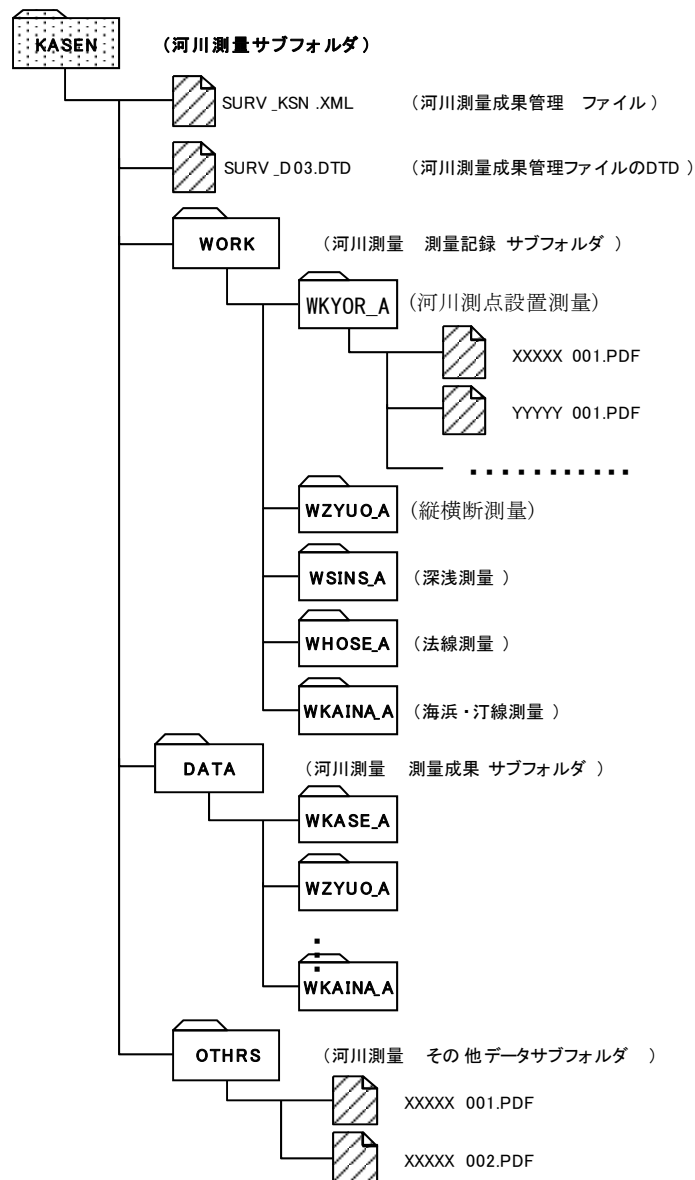


図 7-20 河川測量サブフォルダ構成

7 電子成果品の作成

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

表 7-21 河川測量の成果種類

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
河川測点 設置測量	観測手簿	PDF	WK*D1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WK*D2nnn. XXX	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	計算簿	PDF	WK*E1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	成果表	PDF	WK*A1nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	WK*A2nnn. XML	/KASEN/DATA/WKYOR_*	協議により TXT 又はその他の形式も可
	点の記	PDF	WK*C1nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	協議によりオリジナル形式も可
	品質評価表	PDF	WK*A3nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	メタデータ	JMP2. 0	WK*A4nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	河川測点位置情報整理表	PDF	WK*A5nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	協議によりオリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	WK*G1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
水準基標 測量	観測手簿	PDF	WK*D3nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WK*D4nnn. XXX	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	計算簿	PDF	WK*E2nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	成果表	PDF	WK*A6nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	WK*A7nnn. XML	/KASEN/DATA/WKYOR_*	協議によりその他の形式も可
	点の記	PDF	WK*C2nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	協議によりオリジナル形式も可
	品質評価表	PDF	WK*A8nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	メタデータ	JMP2. 0	WK*A9nnn. XML	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	水準路線図	PDF	WK*F1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	協議により SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 、オリジナル形式も可
	平均図	PDF	WK*F2nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	協議により SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 、オリジナル形式も可

7 電子成果品の作成

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	精度管理表	PDF	WK*G2nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/KASEN/DATA/WKYOR_*	
縦断測量	観測手簿	PDF	WZ*D1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WZ*D2nnn. XXX	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	縦断測量成果整理表	オリジナル	WZ*A1nnn. XXX	/KASEN/DATA/WZYUO_*	
	測量成果(数値データ)	TXT	WZ*A2nnn. XML	/KASEN/DATA/WZYUO_*	協議により TXT 又はその他の形式も可
	縦断面図データファイル	(協議)	WZ*B1nnn. XXX	/KASEN/DATA/WZYUO_*	協議により SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式
	品質評価表	PDF	WZ*A5nnn. PDF	/KASEN/DATA/WZYUO_*	
	メタデータ	JMP2.0	WZ*A6nnn. XML	/KASEN/DATA/WZYUO_*	
	計算簿	PDF	WZ*E1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	水準路線図	PDF	WZ*F1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	協議により SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジナル形式も可
	平均図	PDF	WZ*F2nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	協議により SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	WZ*G1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	業務報告書	PDF	WZ*H1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/KASEN/DATA/WZYUO_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/KASEN/DATA/WZYUO_*	
横断測量	観測手簿	PDF	WZ*D3nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WZ*D4nnn. XXX	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	横断測量成果整理表	PDF	WZ*A3nnn. PDF	/KASEN/DATA/WZYUO_*	
	測量成果(数値データ)	TXT	WZ*A4nnn. XML	/KASEN/DATA/WZYUO_*	協議により TXT 又はその他の形式も可
	横断面図データファイル	(協議)	WZ*B2nnn. XXX	/KASEN/DATA/WZYUO_*	協議により SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式

7 電子成果品の作成

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	精度管理表	PDF	WZ*G2nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
	業務報告書	PDF	WZ*H2nnn. PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	
深浅測量	観測手簿	PDF	WS*D1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WSINS_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WS*D2nnn. XXX	/KASEN/WORK/WSINS_*	
	記録紙	(対象外)	—	—	
	横断面図データファイル	(協議)	WS*B1nnn. XXX	/KASEN/DATA/WSINS_*	協議により SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式
	縦断面図データファイル	(協議)	WS*B2nnn. XXX	/KASEN/DATA/WSINS_*	協議により SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式
	等高・等深線図データファイル	標準図式 データファイル	WS*B3nnn. DMI WS*B3nnn. DM WS*B3nnn. PDF	/KASEN/DATA/WSINS_*	協議により SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式 も可
法線測量	観測手簿	PDF	WH*D1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WHOSE_*	
	計算簿	PDF	WH*E1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WHOSE_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	WH*E2nnn. XXX	/KASEN/WORK/WHOSE_*	
	線形図データファイル	JPGIS 準拠	WH*B1nnn. XML	/KASEN/DATA/WHOSE_*	協議により標準図 式データファイル 又は SXF(P21)形式 若しくは SXF(P2Z) 形式も可
	品質評価表	PDF	WH*B2nnn. PDF	/KASEN/DATA/WHOSE_*	
	メタデータ	JMP2.0	WH*B3nnn. XML	/KASEN/DATA/WHOSE_*	
	精度管理表	PDF	WH*G1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WHOSE_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/KASEN/DATA/WHOSE_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/KASEN/DATA/WHOSE_*	
海浜測量	観測手簿	PDF	WT*D1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WT*D2nnn. XXX	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	計算簿	PDF	WT*E1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	WT*E2nnn. XXX	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	等高・等深線図データファイル	JPGIS 準拠	WT*B1nnn. XML	/KASEN/DATA/WKAINA_*	協議により標準図 式データファイル 又は SXF(P21)形式 若しくは SXF(P2Z)

7 電子成果品の作成

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
					形式も可
	品質評価表	PDF	WT*B2nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
	メタデータ	JMP2.0	WT*B3nnn. XML	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
	精度管理表	PDF	WT*G1nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
汀線測量	観測手簿	PDF	WT*D3nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WT*D4nnn. XXX	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	計算簿	PDF	WT*E3nnn. PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	WT*E4nnn. XXX	/KASEN/WORK/WKAINA_*	
	汀線図データファイル	JPGIS 準拠	WT*B4nnn. XML	/KASEN/DATA/WKAINA_*	協議により SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式も可
	品質評価表	PDF	WT*B5nnn. PDF	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
	メタデータ	JMP2.0	WT*B6nnn. XML	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/KASEN/DATA/WKAINA_*	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	WOTJ1nnn. PDF	/KASEN/OTHRs	
	測量成果検定証明書等	PDF	WOTJ2nnn. PDF	/KASEN/OTHRs	
	ファイル説明書	PDF	WOTJ3nnn. PDF	/KASEN/OTHRs	
	点検測量簿	PDF	WOTJ4nnn. PDF	/KASEN/OTHRs	
	GNSS 基準局配置図	PDF	WOTJ5nnn. PDF	/KASEN/OTHRs	

7.7.2 河川測量成果ファイルの作成

河川測量の電子ファイルの作成に当たっては、次に示す成果ごとの「運用基準」及び「解説・補足」に従ってください。

(1) 河川測点設置測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測手簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (ウ) 成果表は、PDF 形式で納品します。
成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもかまいません。
- (エ) 点の記は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。
- (オ) 河川測点位置情報整理表は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、種別単位で作成します。
- (カ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (キ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (ク) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (ケ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキ

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

ャニング」に留意します。

受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。また、ワープロ又は表計算ソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。
 - 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) 計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (エ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様を受発注者間協議する場合は、次の点に留意します。
- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。
- (オ) 点の記は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。
- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。また、ワープロ又は表計算ソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。
 - 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (カ) 河川測点位置情報整理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合には、次の点に留意します。
- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。また、ワープロ又は表計算ソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。
 - 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(2) 水準基標測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測手簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

(イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

(ウ) 成果表は、PDF 形式で納品します。

成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもかまいません。

(エ) 点の記は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。

(オ) 水準路線図、平均図は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

(カ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

(キ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。

(ク) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。

(ケ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

(ア) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様を受発注者間協議する場合は、次の点に留意します。

- ・数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- ・その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。

(イ) 水準路線図、平均図は、次の点に留意します。

- ・スキャナでイメージ化する場合には、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- ・ファイルは図単位又は図の種別単位で作成します。
- ・受発注者間協議により、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2 (4) SXF(P21) 形式若しくは SXF(P2Z) 形式」、「7.2.2 (6) オリジナル形式」に留意します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

(ウ) 点の記は、次の点に留意します。

- ・ スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。また、ワープロ又は表計算ソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。
- ・ 「7.2.2 (6) オリジナル形式」に留意します。

(エ) 観測手簿は、次の点に留意します。

- ・ スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。また、ワープロ又は表計算ソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。
- ・ 「7.2.2 (6) オリジナル形式」に留意します。

(オ) 計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1)ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(3) 縦断測量

【運用基準】

(ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。

観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。

ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

(イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

(ウ) 成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納入してもかまいません。

(エ) 縦断面図データファイルは、受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品します。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

(オ) 縦断測量成果整理表は、PDF 形式で納品します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

- (カ) 水準路線図、平均図は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (キ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (ク) 業務報告書は、PDF 形式で納品します。
- (ケ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (コ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (サ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。
- (シ) ダム湖の深浅測量成果についても、本要領に従い、電子成果品を作成します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - (イ) 縦断面図データファイルは、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合には、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21)形式若しくは SXF (P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
 - (ウ) 縦断測量成果整理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - (エ) 縦断測量の業務報告書をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (4) 横断測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。
観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

- (イ) 成果表（数値データ）は、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納入してもかまいません。また、ファイルは、測線毎に 1 ファイルとして整理します。
- (ウ) 横断面図データファイルは、受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品します。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (エ) 横断測量成果整理表は、PDF 形式で納品します。
- (オ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (カ) 業務報告書は、PDF 形式で納品します。縦断測量及び横断測量が一体として行われた場合には、1 ファイルにまとめて作成します。
- (キ) このほか、構造物周辺の縦横断測量を行った場合、縦断測量及び横断測量の場合に準じて電子化します。測線位置平面図を作成する場合は、PDF 形式で納品します。構造物周辺の縦横断測量成果は、これ以外の縦横断測量と区別しやすいように、ファイル名、ファイル副題、納品方法を、受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (イ) 横断面図データファイルは、次の点に留意します。
スキャナでイメージ化する場合には、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (ウ) 横断測量成果整理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (エ) 横断測量の業務報告書をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (オ) その他構造物周辺の縦横断測量の電子納品は、縦横断測量に準じて行います。
また、測線位置平面図をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(5) 深浅測量

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 記録紙の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) 横断面図、縦断面図データファイルは、受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品します。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (エ) 等高・等深線図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは XF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (オ) ダム湖の深浅測量成果についても、本要領に従い、電子成果品を作成する。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。
- (イ) 横断面図、縦断面図データファイルは、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。
 - ダムに関わる業務では、深浅測量の横断面図、縦断面図を CAD 又はオリジナル形式で納品します。
 - 受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(6) 法線測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

- (ウ) 線形図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又は SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (エ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (オ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (カ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (キ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿、計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (イ) 線形図データファイルは、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(7) 海浜測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。
観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。
計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (ウ) 等高・等深線図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又は SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

定します。

- (エ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (オ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (カ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (キ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。
 - 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。また、ワープロ又は表計算ソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。
 - 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) 計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 等高・等深線図データファイルは、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(8) 汀線測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。
観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。

ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

- (ウ) 汀線図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又は SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (エ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (オ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (カ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。
 - 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。また、ワープロ又は表計算ソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。
 - 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) 計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 汀線図データファイルは、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(9) その他データ

【運用基準】

- (ア) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GNSS 基準局配置図は、PDF 形式で納品します。

7.7 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】

ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成します。

- (イ) 表 7-21にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納します。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納します。

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

7.8.1 対象となる成果品

用地測量の電子納品対象書類は、表 7-22に示すとおり、多岐に分かれています。電子納品の対象となる各成果は、表 7-22に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 7-21参照）。

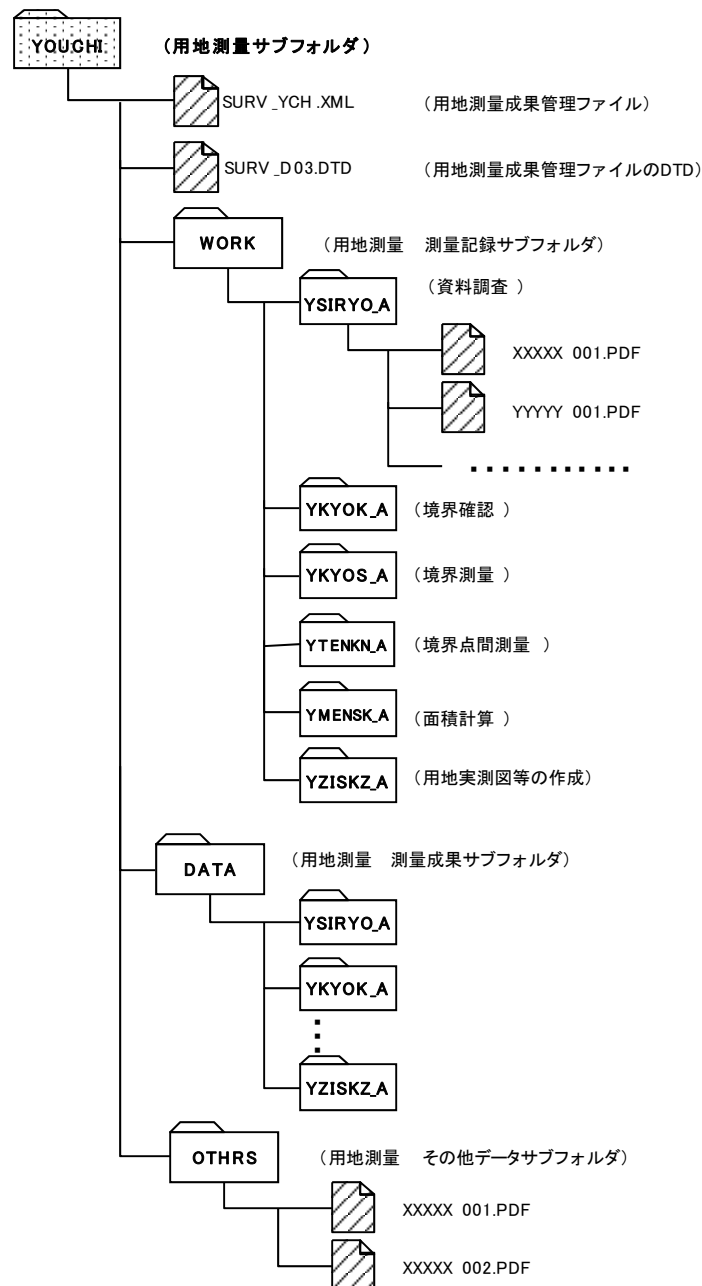


図 7-21 用地測量サブフォルダ構成

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

表 7-22 用地測量の成果種類

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
資料調査	公図等転写図	(対象外)	—	—	
	公図等転写連続図	標準図式 データフ ァイル	YS*F1nnn. DMI YS*F1nnn. DM YS*F1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	協議により SXF(P21)形式若し くは SXF(P2Z)形式 も可
	土地調査表	PDF	YS*H1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	協議によりオリジ ナル形式も可
	建物の登記記録等調 査表	PDF	YS*H2nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	協議によりオリジ ナル形式も可
	権利者調査表	PDF	YS*H3nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	協議によりオリジ ナル形式も可
	地積測量図転写図	PDF	YS*F2nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	
復元測量	観測手簿	PDF	YK*D1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOK_*	
	復元箇所位置図デー タファイル	標準図式 データフ ァイル	YK*B1nnn. DMI YK*B1nnn. DM YK*B1nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOK_*	協議により SXF(P21)形式若し くは SXF(P2Z)形式 も可
境界確認	土地境界立会確認書	PDF	YK*H1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOK_*	
	公共用地境界確定協 議の申請書・確定図	PDF	YK*H2nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOK_*	
境界測量	観測手簿	PDF	YY*D1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	観測手簿(数値デー タ)	オリジナ ル	YY*D2nnn. XXX	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	測量計算簿等	PDF	YY*E1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	測量計算簿等(数値 データ)	オリジナ ル	YY*E2nnn. XXX	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	成果表	PDF	YY*A1nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A2nnn. TXT	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議によりその他 の形式も可
補助基準 点の設置	観測手簿	PDF	YY*D3nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	観測手簿(数値デー タ)	オリジナ ル	YY*D4nnn. XXX	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	計算簿	PDF	YY*E3nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナ ル	YY*E4nnn. XXX	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	成果表	PDF	YY*A3nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A4nnn. TXT	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議によりその他 の形式も可

7 電子成果品の作成

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	基準点網図データファイル	標準図式 データフ ァイル	YY*F1nnn. DMI YY*F1nnn. DM YY*F1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	協議により PDF、 SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z)、オリジ ナル形式も可
用地境界 仮杭設置	計算簿	PDF	YY*E5nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	協議により TXT 又 はその他の形式も 可
	計算簿(数値データ)	オリジナル	YY*E6nnn. XXX	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	成果表	PDF	YY*A5nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A6nnn. TXT	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議によりその他 の形式も可
	設置箇所位置図データファイル	標準図式 データフ ァイル	YY*B1nnn. DMI YY*B1nnn. DM YY*B1nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議により SXF (P21) 形式若し しくは SXF (P2Z) 形式 も可
用地境界 杭設置	計算簿	PDF	YY*E7nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	YY*E8nnn. XXX	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	成果表	PDF	YY*A7nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A8nnn. TXT	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議によりその他 の形式も可
	設置箇所位置図データファイル	標準図式 データフ ァイル	YY*B2nnn. DMI YY*B2nnn. DM YY*B2nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議により SXF (P21) 形式若し しくは SXF (P2Z) 形式 も可
境界点間 測量	観測手簿	PDF	YT*D1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*	
	精度管理図	PDF	YT*G1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*	協議により SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z)、オリジ ナル形式も可
	精度管理表	PDF	YT*G2nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*	
面積計算	面積計算書	PDF	YM*A1nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YMENS*_*	
	面積計算書(数値データ)	TXT	YM*A2nnn. TXT	/YOUCHI/DATA/YMENS*_*	協議によりその他 形式も可
用地実測 図データ ファイル の作成	用地実測図データファイル	JPGIS 準拠	YZ*B1nnn. XML	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	協議により標準図 式データファイル 又は SXF (P21) 形式 若しくは SXF (P2Z) 形式も可
	品質評価表	PDF	YZ*B2nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
	メタデータ	JMP2.0	YZ*B3nnn. XML	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
	精度管理表	PDF	YZ*G1nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YZISKZ_*	

7 電子成果品の作成

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
用地平面 図データ ファイル の作成	用地平面図データフ ァイル	JPGIS 準拠	YZ*B4nnn. XML	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	協議により標準図 式データファイル 又は SXF (P21) 形式 若しくは SXF (P2Z) 形式も可
	品質評価表	PDF	YZ*B5nnn. PDF	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
	メタデータ	JMP2. 0	YZ*B6nnn. XML	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
	精度管理表	PDF	YZ*G2nnn. PDF	/YOUCHI/WORK/YZISKZ_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	
その他デ ータ	測量機器検定証明書	PDF	YOTJ1nnn. PDF	/YOUCHI/OTHR	
	測量成果検定証明書 等	PDF	YOTJ2nnn. PDF	/YOUCHI/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	YOTJ3nnn. PDF	/YOUCHI/OTHR	
	点検測量簿	PDF	YOTJ4nnn. PDF	/YOUCHI/OTHR	
	GNSS 基準局配置図	PDF	YOTJ5nnn. PDF	/YOUCHI/OTHR	
	既知点検測の観測手 簿・計算書・検測図	PDF	YOTJ6nnn. PDF	/YOUCHI/OTHR	

7.8.2 用地測量成果ファイルの作成

用地測量の電子ファイルの作成に当たっては、次に示す成果ごとの「運用基準」及び「解説・補足」に従ってください。

(1) 資料調査

【運用基準】

- (ア) 公図等転写図の納品方法は、受発注者間協議により決定します。
- (イ) 公図等転写連続図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (ウ) 土地調査表は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (エ) 建物の登記記録等調査表は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (オ) 権利者調査表は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (カ) 地積測量図転写図は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 公図等転写図は、法務局において公図等を透写又は複写したものであり、電子処理による生産は当面見込めないため、電子納品の対象外としています。
- (イ) 公図等転写連続図は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (ウ) 土地調査表、建物の登記記録等調査表、権利者調査表は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

ャニング」に留意します。

受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(2) 復元測量

【運用基準】

(ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。

(イ) 復元箇所位置図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

(ア) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。

(イ) 復元箇所位置図データファイルは、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。
- 受発注者間協議により、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21) 形式若しくは SXF(P2Z) 形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(3) 境界確認

【運用基準】

(ア) 土地境界立会確認書は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

(イ) 公共用地境界確定協議の申請書・確定図は、PDF 形式で納品します。

【解説・補足】

(ア) 土地境界立会確認書、公共用地境界確定協議の申請書・確定図をスキャナで

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

イメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(4) 境界測量

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測手簿（数値データ）の納品の要否は、受発注者間協議により決定します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 測量計算簿等は、PDF 形式で納品します。測量計算簿等（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (ウ) 成果表は、PDF 形式で納品します。成果表（数値データ）は、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもかまいません。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿は、次の点に留意します。
 - スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - また、受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、次の点に留意します。
 - 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) 成果表、測量計算簿をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、受発注者間協議によるものとし、次の点に留意します。
 - 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。

(5) 補助基準点の設置

【運用基準】

- (ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。観測手簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。観測手簿（数値データ）の納品の可否は、受発注者間協議により決定します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- (イ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。
- ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (ウ) 成果表は、PDF 形式で納品します。成果表（数値データ）は、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもかまいません。
- (エ) 基準点網図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、PDF、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z)、オリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、図単位又は図の種別単位で作成します。

【解説・補足】

- (ア) 観測手簿は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - また、受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合には、次の点に留意します。
 - 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - 「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) 計算簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (エ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様を受発注者間協議する場合は、次の点に留意します。
- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。
- (オ) 基準点網図は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

- 受発注者間協議により、SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(6) 用地境界仮杭設置

【運用基準】

- (ア) 計算簿は、PDF 形式で納品します。計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。
- (イ) 成果表は、PDF 形式で納品します。成果表（数値データ）は、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもかまいません。
- (ウ) 設置箇所位置図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

- (ア) 計算、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (イ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様を受発注者間で協議する場合は、次の点に留意します。
- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
 - その他の形式で納品する場合は、「7.2.2(7) その他の形式」を参照します。
- (エ) 設置箇所位置図データファイルは、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、SXF(P21)若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(7) 用地境界杭設置

【運用基準】

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

(ア) 計算簿は、PDF 形式で納品します。計算簿（数値データ）は、オリジナル形式で納品します。

ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて整理します。

(イ) 成果表は、PDF 形式で納品します。成果表（数値データ）は、TXT 形式で納品します。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもかまいません。

(ウ) 設置箇所位置図データファイルは、標準図式データファイル形式で納品します。受発注者間協議により、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

(ア) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。

(イ) 成果表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。

(ウ) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様を受発注者間で協議する場合は、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。

(8) 境界点間測量

【運用基準】

(ア) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。

(イ) 精度管理図は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、SXF (P21) 若しくは SXF (P2Z) 又はオリジナル形式で納品してもかまいません。ファイルは、図単位又は図の種別単位で作成します。

(ウ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

【解説・補足】

(ア) 観測手簿、精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。

(イ) 精度管理図は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合には、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキヤニング」に留意します。
- 受発注者間協議により、CAD 又はオリジナル形式で納品する場合は、

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

「7.2.2(4) SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式」、「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

(9) 面積計算書

【運用基準】

(ア) 面積計算書は、PDF 形式で納品します。

面積計算書（数値データ）は、TXT 形式又はその他形式で納品します。

【解説・補足】

(ア) 面積計算書をスキャナでイメージ化する場合には、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。

(イ) 面積計算書（数値データ）のフォーマット仕様は、受発注者間協議によるものとし、次の点に留意します。

- 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品します。
- その他の形式で納品する場合は、「7.2.2 (7) その他の形式」を参照します。

(10) 用地実測図データファイルの作成

【運用基準】

(ア) 用地実測図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又は SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。

(イ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

(ウ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。

(エ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。

(オ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。

なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

(ア) 用地実測図データファイルを SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式」、
「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。

- (イ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 「対象外」とされている成果は、原則として従来通り紙による納品を行います。ただし、受発注者間協議によりこれらの成果を電子納品する場合には、次の点に留意します。
 - 受発注者間協議により、ファイル形式、ファイル名を決定します。
 - ファイル名は、「7.2.3ファイル命名規則」に準拠します。

(11) 用地平面図データファイルの作成

【運用基準】

- (ア) 用地平面図データファイルは、JPGIS 準拠形式で納品します。受発注者間協議により、標準図式データファイル又は SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式で納品してもかまいません。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定します。
- (イ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。
- (ウ) 品質評価表は、PDF 形式で納品します。
- (エ) メタデータは、JMP2.0 形式で納品します。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成します。
- (オ) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品します。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成します。

【解説・補足】

- (ア) 用地平面図データファイルを SXF(P21) 若しくは SXF(P2Z) 又はオリジナル形式で納品する場合は、「7.2.2(4) SXF(P21)形式若しくは SXF(P2Z)形式」、
「7.2.2(6) オリジナル形式」に留意します。
- (イ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「7.2.2(1) ア アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- (ウ) 「対象外」とされている成果は、原則として従来通り紙による納品を行います。ただし、受発注者間協議によりこれらの成果を電子納品する場合には、次の点に留意します。
 - 受発注者間協議により、ファイル形式、ファイル名を決定します。

7.8 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】

- ファイル名は、「7.2.3ファイル命名規則」に準拠します。

(12) その他データ

【運用基準】

(ア) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GNSS基準局配置図、既知点検測の観測手簿・計算書・検測図は、PDF形式で納品します。

ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成します。

(イ) 表 7-22にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納します。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定します。

(ウ) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納します。

7.9 その他の応用測量成果作成【SURVEY/OTHRISOYO】

7.9 その他の応用測量成果作成【SURVEY/OTHRISOYO】

その他の応用測量の成果等は、表 7-23に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 7-22 参照）。

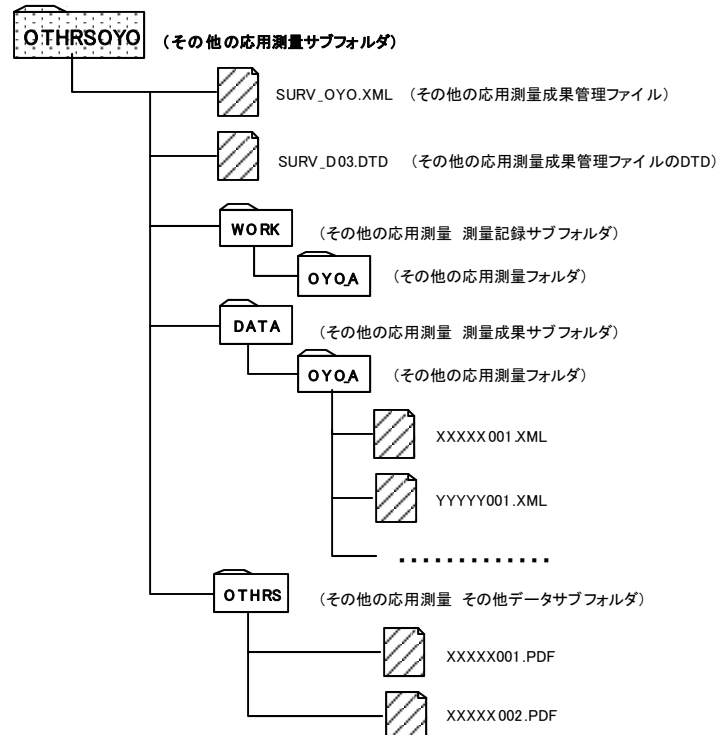


図 7-22 その他の応用測量サブフォルダ構成

表 7-23 その他の応用測量の成果種類

測量 細分類	成果等の名称	ファイル 形式	ファイル 命名規則	格納フォルダ名	備考
その他の 応用測量	主題図データファイル	JPGIS 準拠	OT***nnn. XML	/OTHRISOYO/DATA/OYO_*	
	品質評価表	PDF	OT***nnn. PDF	/OTHRISOYO/DATA/OYO_*	
	メタデータ	JMP2.0	OT***nnn. XML	/OTHRISOYO/DATA/OYO_*	
	XML スキーマ	XSD	SCHMnnn. XSD	/OTHRISOYO/DATA/OYO_*	
	コードリスト	JPGIS 準拠	CODEnnn. XML	/OTHRISOYO/DATA/OYO_*	
その他データ	その他の資料	—	OOTJ***nnn. XXX	/OTHRISOYO/OTHR	

【運用基準】

その他の応用測量成果は、受発注者間協議により電子納品対象成果を決定します。データセット、品質評価表、メタデータを電子納品します。測量成果として、データフォルダ（/OTHRISOYO/DATA/OYO_*）に当該成果を格納します。

7.10 ドキュメント作成【SURVEY/DOC】

「DOC」サブフォルダに格納するドキュメントファイルは、当該測量業務の製品仕様書、特別仕様書や、業務期間中にやりとりされた打合せ簿の電子ファイルなどが相当します。これらのファイル形式及びファイル名は、表 7-24に従います。

表 7-24 ドキュメントファイルの成果種類

成果品の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
製品仕様書	PDF	SPECPnnn. PDF	受発注者間協議により、オリジナル形式も可。
特別仕様書	PDF	SPECSnnn. PDF	受発注者間協議により、オリジナル形式も可。
打合せ簿	PDF	MEETSnnn. PDF	
実施報告書	オリジナル	SUVRPnnn. XXX	実施報告、現場写真、案内図等

注) ファイル名称の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割り振った連番 (001～999、A00～A99、B00～B99、・・・、Z00～Z99) を付与します。

例) 打合せ簿が全部で 10 回分ある場合、
MEETS001. PDF、MEETS002. PDF、MEETS003. PDF、……MEETS010. PDF

7.11 管理ファイル作成

7.11.1 管理ファイルの種類

測量成果を電子納品する際は、当該業務の概要、諸元、成果項目を記述した次の管理ファイルを併せて納品します。

(ア) 業務管理ファイル	(INDEX_D. XML)
(イ) 測量情報管理ファイル	(SURVEY. XML)
(ウ) 測量成果管理ファイル	
• 基準点測量成果管理ファイル	(SURV_KTN. XML)
• 水準測量成果管理ファイル	(SURV_SJN. XML)
• 地形測量及び写真測量成果管理ファイル	(SURV_CHI. XML)
• 路線測量成果管理ファイル	(SURV_RSN. XML)
• 河川測量成果管理ファイル	(SURV_KSN. XML)
• 用地測量成果管理ファイル	(SURV_YCH. XML)
• その他の応用測量成果管理ファイル	(SURV_OYO. XML)
(エ) ドキュメント管理ファイル	(SURV_DOC. XML)

(1) 管理ファイルの概要

業務管理ファイルは業務要領（案）により規定されたものであり、業務関連の電子納品に共通する管理項目として記録するものです。

測量情報管理ファイルは測量作業に固有の管理項目を記録するものであり、実施した測量作業の諸元等が管理されます。

測量成果管理ファイルは電子媒体に格納された個々の電子ファイルの管理項目を記録するものであり、ファイル名、内容、格納場所（フォルダ）等が管理されます。

なお、測量成果管理ファイルは、基準点測量、水準点測量、地形測量及び写真測量、路線測量、河川測量、用地測量、その他の応用測量の測量区分ごとに作成されるものですが、参照する DTD は共通（SURV_D03. DTD）です。

(2) 管理ファイルの格納場所

• 業務管理ファイル	: /（ルート）
• 測量情報管理ファイル	: /SURVEY
• 基準点測量成果管理ファイル	: /SURVEY/KITEN
• 水準測量成果管理ファイル	: /SURVEY/SUIJUN
• 地形測量及び写真測量成果管理ファイル	: /SURVEY/CHIKEI
• 路線測量成果管理ファイル	: /SURVEY/ROSEN
• 河川測量成果管理ファイル	: /SURVEY/KASEN

- | | |
|--------------------|---------------------|
| • 用地測量成果管理ファイル | : /SURVEY/YOUCI |
| • その他の応用測量成果管理ファイル | : /SURVEY/OTHRISOYO |
| • ドキュメント管理ファイル | : /SURVEY/DOC |

7.11.2 業務管理ファイルの作成

業務管理ファイル INDEX_D.XML を作成する際には、INDE_D04.DTD を電子納品 Web サイトから取得します。

なお、業務管理ファイルは、市販の電子成果品作成支援ツールを利用することによって、容易に作成できます。

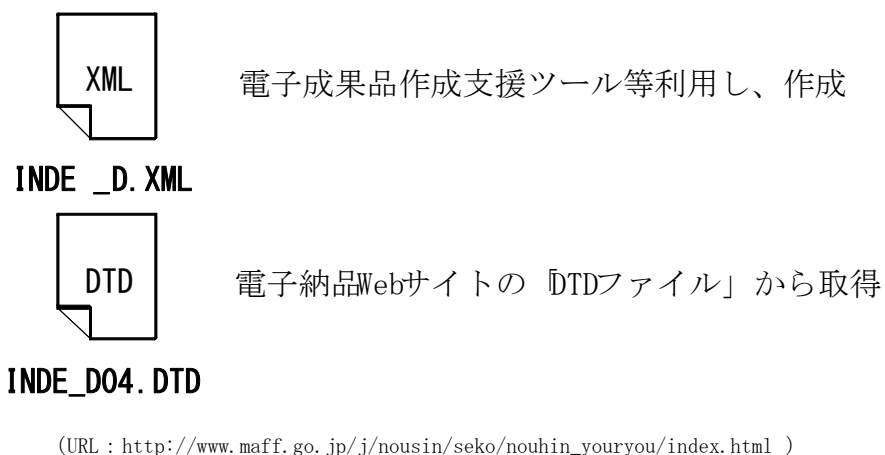


図 7-23 業務管理ファイル及び DTD

業務管理ファイル作成に当たっての留意点は次のとおりです。

- (1) AGRIS と共通する項目の記入について
業務管理ファイルのAGRISに関する項目の記入については、AGRISのマニュアルを参照し記入します。
- (2) 受注者コードの取り扱い
業務管理項目の「受注者コード」には、AGRIS から通知されたコードを記入します。
- (3) 境界座標の記入について
「境界座標」の測地系は、世界測地系（JGD2011）とします。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイト以下のサービスを利用する方法があります。
「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」

7 電子成果品の作成

7.11 管理ファイル作成

ホームページ <http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html> を利用して、境界座標を取得する方法は次のとおりです。

手順に沿って対象地域を選択

測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

最初に関く地図は、以下のいずれかの方法を使って指定できます。

- 1. 県名・市町村名から検索する
- 2. 地図を使って検索する

緯度経度	
東端:	140° 05' 27"
西端:	140° 04' 54"
北端:	36° 06' 26"
南端:	36° 06' 07"

指定した区域の数値を
管理項目に記入



図 7-24 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

業務管理ファイルにおける境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しています。

業務対象が離れた地点に数箇所点在する場合又は広域の場合は、受発注者間で協議し、[場所情報]を業務範囲全体とするか代表地点とするか決定します。一般的には、業務範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましいです。

7.11.3 測量情報管理ファイルの作成

測量情報管理ファイル（SURVEY.XML）を作成する際には、SURVEY03.DTD を電子納品 Web サイトから取得します。なお、測量情報管理ファイルは、市販の電子成果品作成支援ツールを利用することによって、容易に作成できます。

測量情報管理ファイル作成に当たっての留意点は次のとおりです。

(1) 適用要領基準

測量要領（案）に従い、農業土木分野において、測量の電子成果品を作成した場合は、「農村振興土木 201904-01」を記入します。^{※19}

業務管理ファイルにおける（1）適用要領基準は、適用した業務要領（案）の規定内容に従います。

(2) 助言番号（承認番号）

測量法第 36 条に規定する公共測量実施計画の届出を行い、国土地理院地方測量部等からの文書番号「助言番号」若しくは「承認番号」を記入します。ただし、該当しない場合は「99999999(8 桁)」を記入します。

（例 1）：助言番号(承認番号)

→ 「H30D0003」、「H30C0052」等

文書番号から（2）助言番号(承認番号)への記入方法は次のとおりです。

（例 2）：国地道公第 226 号

平成 30 年 ○ 月 ○ 日

平成 30 年度の北海道地方測量部の助言番号

→ H30A0226

^{※19}適用要領基準には、電子成果品の作成で適用した要領の版を記入します。「農村振興土木 201904-01」は、分野：農村振興土木、西暦年：2019、月：04、版：01 を表します。

表 7-25 略称記号と助言番号(承認番号)の対象表

略称 記号	文書番号	名 称	略称 記号	文書番号	名 称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖 縄 支 所
E	国地部公	中部地方測量部	K	国地企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

(3) 作業規程名

当該測量作業の基となった作業規程名を記入します。
農林水産省農村振興局測量作業規程(平成 28 年 5 月 25 日)

(4) 製品仕様書

ア 製品仕様書名

当該測量作業の基となった製品仕様書名を記入します。

(例 1) : 製品仕様書名

→ 地図情報レベル 2500 データ作成の製品仕様書(案) 国土地理院技術
資料 A・1-No. 295-1

イ 品仕様書ファイル名

ドキュメントフォルダに格納した製品仕様書ファイル名を拡張子を含めて記入します。

(5) 第三者機関成果検定の有無

当該測量作業の第三者機関による成果検定の実施の有無を、次より選択して記入します。

- 第三者機関検定を実施しない場合 : 0
- 第三者機関検定を実施する場合 : 1

(6) 測量区域番号・測量区域名称

測量区域が複数にわたる場合、実際に測量を行った区域ごとに区域番号を割り当てます。区域番号は「1」より開始します。

割り当てられた測量区域ごとに、測量区域番号・測量区域名称及び「区域情報」を記入します。なお、測量区域名称には、地名(行政名:市町村名、地区名

等、測量区域を特定できるもの)を記入します。

(7) 区域情報

区域情報は、「境界座標」、「平面直角座標」のいずれかを必ず記入します。業務内容によって、場所情報を記入できない場合は記入の必要はありません。区域情報は、上記2項目のうち「平面直角座標」による記入が最も望ましいです。

(例1)：西側境界座標経度が「138度37分30秒」の場合
→1383730

(8) 測量区分

測量区分の名称は、表7-26より選択して記入します。測量作業規程に規定する測量区分の分類とは異なるので注意を要します。

表 7-26 測量区分とサブフォルダ名の対応表

測量区分名称	測量サブフォルダ名
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量及び写真測量	CHIKAI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI
その他の応用測量	OTHRISOYO

(9) 測量細区分

測量細区分の名称は、下記の名称に細区分を示す英数字を付した名称を記入します。測量作業規程に規定する測量分類とは異なるので注意を要します。

測量細区分は、測量区域及び等級・精度で区分するもので、末尾の英数字はA～Z, 1～9の順に使用し、該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させます。

(例1)：基準点測量で単独の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合
「基準点測量」と記入します。

(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A)

(例2)：基準点測量で複数の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合
「基準点測量A」、「基準点測量B」と記入します。

(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A、KTN_B)

(例3)：複数区域(A、B、C)及び複数等級・精度(1、2級)が混在する場合、地区を優先します。

基準点測量A A地区の1級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A)

基準点測量 B A 地区の 2 級（測量細区分サブフォルダ名：KTN_B）

基準点測量 C B 地区の 1 級（測量細区分サブフォルダ名：KTN_C）

基準点測量 D B 地区の 2 級（測量細区分サブフォルダ名：KTN_D）

基準点測量 E C 地区の 1 級（測量細区分サブフォルダ名：KTN_E）

基準点測量 F C 地区の 2 級（測量細区分サブフォルダ名：KTN_F）

- (10) 測量記録フォルダパス名・測量成果フォルダパス名・その他フォルダパス名
測量成果を格納する測量記録フォルダ、測量成果フォルダ、その他データフォルダ以下のフォルダのパス名を記入します。当該測量の成果が中間報告であって成果フォルダに格納されていない場合には記入の必要はありません。

記入方法は次のとおりです。

- フォルダ階層表示は「/」で区切ります。
- パスの書出しは「SURVEY」とします。
- 成果区分のサブフォルダのパス名は「WORK」、「DATA」、「OTHR」 とします。

(例 1) : 水準測量の場合

→SURVEY/SUIJUN/WORK/SJN_A

(例 2) : 地形測量及び写真測量の一連の測量作業によって最終的に数値地形図データファイルを作成し測量成果サブフォルダに格納した場合

→SURVEY/CHIKAI/DATA

(例 3) : 河川測量の縦断測量を行い、縦断面図データファイルを測量成果サブフォルダに格納した場合

→SURVEY/KASEN/DATA/WZYUO_A

(例 4) : 用地測量で測量機器検定証明書をその他の各種証明書、説明書等サブフォルダに格納した場合

→SURVEY/YOUCHI/OTHR

(11) 等級精度

等級精度については、「等級」又は「地図情報レベル」のどちらか一方を必ず記入します。「等級」及び「地図情報レベル」のどちらも未確定である場合は、いずれかに「99」を記入します。

(ア) 「等級」

基準点測量、水準測量において表される等級は、表 7-27より数値(2桁)を選択し、記入します。目的別に設置された基準点の場合、相当する等級を確認の上、そのコードを記入します。

表 7-27 記入数値一覧表

基準点測量				水準測量			
測量レベル (基本測量※20)	記入 数値	測量レベル (公共測量※21)	記入 数値	測量レベル (基本測量※20)	記入 数値	測量レベル (公共測量※21)	記入 数値
電子基準点	10	—	—	1等水準	11	1級水準	21
一等三角点	11	1級基準点	21	2等水準	12	2級水準	22
二等三角点	12	2級基準点	22	3等水準	13	3級水準	23
三等三角点	13	3級基準点	23	—	—	4級水準	24
四等三角点	14	4級基準点	24	—	—	簡易水準	25

(イ)「地図情報レベル」

測量成果の地図情報レベルを記入します。

(例1)：地図情報レベル 500 の数値地形図の場合、「500」と記入します。

(例2)：地図情報レベル 1000 の数値地形図の場合、「1000」と記入します。

(例3)：地図情報レベルが混在（レベル 500、1000）の場合、「測量情報」の単位で管理項目を2回繰り返し、「地図情報レベル」に「500」及び「1000」をそれぞれ別々に記入します。

(例4)：「等級」、「地図情報レベル」のどちらも未確定である場合、「等級」又は「地図情報レベル」のいずれかに「99」を記入します。

(12) 画像種別

空中写真撮影について、白黒、カラーの別を下記の数字(半角)で記入します。

白黒	1	カラー	2
----	---	-----	---

(13) 解像度

写真地図の地上画素寸法、数値地形モデルのグリッド間隔に相当する値等、測量成果の地上画素寸法を記入します。

写真地図 25 cm は 0.25 (m 単位で記入)

DEM 25 m は 25 (m 単位で記入)

(14) 新規修正区分

対象測量について、新規測量、修正測量の区分を下記の記号(半角)で記入します。

※20 基本測量：基本測量とは、すべての測量の基礎となる測量で、国土地理院の行うものをいいます。

※21 公共測量：公共測量とは、基本測量以外の測量のうち、小道路若しくは建物のため等の局地的測量又は高度の精度を必要としない測量で、政令で定めるものを除き、測量に要する費用の全部若しくは一部を国又は公共団体が負担し、若しくは補助して実施するものをいいます。

新規測量	1	修正測量	2
------	---	------	---

(例 1) : 測量作業規程における「修正測量」の場合は、「2」を記入します。

(15) 面積

現地測量、撮影、図化について、対象となった範囲の概略面積(実施数量)を記入します。単位は km^2 とします。

(16) 距離

水準測量について、測量延長距離の概数を記入します。単位は km とします。

(17) 点数

基準点測量について、当該基準点の点数を記入します(与点の数は除く)。

(18) モデル数

空中写真測量におけるモデルの数を記入します。

(19) 測量成果検定証明書等のファイル名

測量成果検定証明書等のファイル名を、パス及び拡張子を含めて記入します。

(例 1) : 基準点測量の測量成果検定証明書等

→ SURVEY/KITEN/OTHR/KOTJ2nnn. PDF

7.11.4 測量成果管理ファイルの作成

測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML、SURV_OYO.XML)を作成する際には、SURV_D03.DTDを電子納品Webサイトから取得します。

なお、測量成果管理ファイルは、市販の電子成果品作成支援ツールを利用することによって、容易に作成できます。

測量成果管理ファイル作成に当たっての留意点は次のとおりです。

(1) 測量区分フォルダ名

「測量区分」のフォルダ名を表 7-28より選択して記入します。

表 7-28 測量区分フォルダ名称一覧表

測量区分	フォルダ名称
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量及び写真測量	CHIKEI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI
その他の応用測量	OTHRISOYO

(2) 測量成果区分フォルダ名

測量作業の途中段階である測量記録(精度管理表、標定点配置図等)、最終的な測量成果(成果表、数値地形図データファイル等)、その他データ(各種証明書、説明書等)に分類して格納するためのサブフォルダ名を記入します。

- 測量記録……………「WORK」
- 測量成果……………「DATA」
- その他データ……………「OTHR」

(3) 測量細区分フォルダ名

測量細区分フォルダ名は、基準点測量又は水準測量における成果等の等級分け、地形測量及び写真測量における測量記録の種類分け(作業工程別)などにより分割格納を行った場合、測量地域または測量の等級・地図情報レベルに応じて、A～Z、1～9の記号によって補助的に区分した測量細区分サブフォルダ名を記入します。

(4) 測量成果名称

表 7-6、表 7-7、表 7-8、表 7-9、表 7-10、表 7-11、表 7-12に従い、測量成果等の名称を記入します。

(例)精度管理表、観測手簿、点の記等

(5) 測量成果ファイル形式・測量成果レコードフォーマット

測量成果等のファイル形式を記入します。また、測量成果レコードフォーマットの名称又は準拠した仕様等の説明を記入します。

- 『測量成果ファイル形式』:「PDF」「TXT」「DM」「XML」「JPG」「DOC」等、通常はファイルの拡張子を記入します。
- 『測量成果レコードフォーマット』:特に説明を要するものについては、必ず記入します。なお、(例 1) ～ (例 4) に示すような、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略します。

(例 1) : 測量作業規程

(例 2) : JPGIS 準拠の XML 形式

(例 3) : カンマ区切りの TXT 形式

(例 4) : ワールドファイル仕様の TXT 形式

(6) 測量成果ファイル名

ファイル命名規則に従い命名を行った測量成果等のファイル名を記入します(拡張子含む)。

(7) 測量成果ファイル名副題

個々の測量成果等について利用上副題をつけて管理することが望ましいものは、成果の内容がわかるように記述を行います。具体的内容は受発注者間協議により決定します。

(例 1) : 点の記 : 標識番号を付したファイル名

→ 4930-64-7201. PDF

(例 2) : 精度管理表 : 地区名を付したファイル名

→ ○○地区精度管理表. PDF

(例 3) : 標準図式データファイル : 国土基本図図郭番号に準じたファイル名

→ 12MD3546. DM

(例 4) : XML スキーマ : 製品仕様書に基づくファイル名

→ KsjAppSchema-N02-v1_1. xsd

(例 5) : コードリスト : 製品仕様書に基づくファイル名

→ InstitutionTypeCd. xml, RailwayClassCd. xml

(例 6) : メタデータ : 製品仕様書に基づくファイル名

→ KS-META-N02-07.XML

7.11.5 ドキュメント管理ファイルの作成

ドキュメント管理ファイル (SURV_DOC.XML) を作成する際には、SDOC_D01.DTD を電子納品 Web サイトから取得します。

ドキュメント管理ファイル作成に当たっての留意点は次のとおりです。

(1) ドキュメント名称

ドキュメントの名称を記入します。

(例 1) : 製品仕様書、打合せ簿等

(2) ドキュメントファイル形式

ドキュメントのファイル形式を記入します。

(例 1) : 「XML」「XSD」「PDF」「JPG」「DOC」等

(3) ドキュメントファイル名

ファイル命名規則に従い命名を行ったドキュメントのファイル名を記入します(拡張子含む)。

(4) ドキュメントファイル名副題

個々のドキュメントファイルについて利用上副題をつけて管理することが望ましいものは、ドキュメントの内容がわかるように記述を行います。具体的内容は受発注者間協議により決定します。

7.11.6 管理ファイル作成に当たっての留意事項

次の項目について、事前協議により記入内容を決定します。

- (ア) ファイル名副題の記述内容（測量成果ファイル名副題、ドキュメントファイル名副題）
- (イ) 業務分野コード、業務キーワード

(1) ファイル名副題の記述内容

次に示す場合については、受発注者間協議により、「測量成果ファイル名副題（測量成果管理項目）」、「ドキュメントファイル名副題（ドキュメント管理項目）」の記述内容を決定しておくことが望ましいです。

- (ア) ファイル名だけではファイルの内容把握が困難であり、内容が把握できないため、データ利用に支障を来すことが予想される場合、ファイル内容の説明等を含むファイル名を記述します。
- (イ) 従前とは異なる命名規則が適用されている場合で、それが欠落することによりデータ利用に支障を来すことが予想される場合（国土基本図図郭番号、図面名称によるファイル名、メタデータなどのロングファイル名等）、オリジナルのファイル名を記述します。

（測量成果ファイル名副題の記述内容の例）

- 点の記：標識番号を付したファイル名
- 標準図式データファイル：国土基本図図郭番号に準じたファイル名
（12MD3546.DM）
- メタデータ：製品仕様書に基づくファイル名
（KS-META-N02-07.XML）
- XML スキーマ：製品仕様書に基づくファイル名
（KsjAppSchema-N02-v1_1.xsd）
- コードリスト：製品仕様書に基づくファイル名
（InstitutionTypeCd.xml, RailwayClassCd.xml）

(2) 業務分野コード、業務キーワード

業務分野コード及び業務キーワードは複数記入することが可能です。これらの管理項目は電子成果の体系的な整理や情報検索を行う上でキーとなるものです。このことから、受発注者間で登録するコード、キーワードを確認しておくことが望ましいです。

7.12 電子媒体作成

7.12.1 一般事項

発注者へ提出する電子媒体作成に関する留意事項を次に示します。

- (ア) ハードディスク上で、電子媒体への格納イメージどおりに電子成果品が整理されていることを確認します。
- (イ) 管理ファイル（XML データ）を電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）または市販の電子成果品作成支援ツール等で表示し、目視により内容を確認します。
- (ウ) 数値地形図データファイルをビューア等で表示し、目視により内容を確認します。
- (エ) PDF データを Acrobat Reader 等で表示し、目視により内容を確認します。
- (オ) TXT データをエディタ等で表示し、目視により内容を確認します。
- (カ) オリジナルファイルを作成したソフト等で表示し、目視により内容を確認します。
- (キ) CAD データを SXF ビューア等で表示し、目視により内容を確認します。
- (ク) 電子媒体への書き込み前の電子成果品及び書き込み後の電子媒体についてウイルスチェックを行います。
- (ケ) 電子媒体への書き込み前の電子成果品及び書き込み後の電子媒体について電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）を用いてチェックしエラーがないことを確認します。
- (コ) 電子媒体への書き込みを追記ができない形式（ディスクアットワンス）で行います。

7.12.2 電子成果品のチェック

- (1) 電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）を用いた電子成果品のチェック

受注者は、作成した電子成果品を電子媒体へ格納する前に、電子納品要領（案）等に沿って作成されていることを、最新の「電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）」を利用してチェックします。

電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）は、各電子納品要領（案）の改定に伴うバージョンアップの他にも、機能改良によるバージョンアップも適宜実施されています。

なお、チェック項目は次のとおりです。チェック結果について確認してください。

ア 共通事項

- (ア) ファイル名
- (イ) 管理項目
- (ウ) 管理ファイル (XML)
- (エ) PDF に関する事項 (セキュリティー、フォント、しおり)

イ CAD に関する事項

- (ア) 図面の大きさ
- (イ) 図面の余白
- (ウ) レイヤ名
- (エ) ファイル形式
- (オ) 線色
- (カ) 線種
- (キ) 線の太さ
- (ク) 文字のサイズ
- (ケ) 使用禁止文字

(2) 電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）による管理ファイルのチェック

受注者は、電子成果品の作成後、「電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）」のビューアを用いて、すべての管理ファイルに業務件名等の基本的な情報が正しく記入されているか、目視により確認します。

ア 業務管理ファイル（業務要領（案）に従った内容確認）

- 業務件名等の業務の基本的な情報の確認

イ 測量情報管理ファイル、測量成果管理ファイル（測量要領（案）に従った内容確認）

- 測量区域番号、測量成果番号等の基本的な情報の確認

(3) ビューア等による数値地形図データファイルのチェック

受注者は、電子成果品の作成後、すべての数値地形図データファイルについて対応の CAD ソフトまたはビューア等で表示し、管理ファイルに記入している成果内容とファイル内容に相違がないか確認を行います。

(4) 目視等による CAD データのチェック

受注者は、すべての図面について図面要領（案）及び測量要領（案）に適合しているか確認します。なお、CAD データのチェック内容の詳細については図面ガイドライン（案）を参照してください。

- (ア) 作図されている内容（データ欠落・文字化け等）
- (イ) 適切なレイヤに作図（レイヤの内容確認）
- (ウ) 紙図面との整合（印刷時の見え方とデータとの同一性確認）
- (エ) 図面の大きさ（設定確認）
- (オ) 図面の正位（設定確認）
- (カ) 輪郭線の余白（設定確認）
- (キ) 表題欄（記載内容確認）
- (ク) 尺度（記載内容確認）
- (ケ) 色
- (コ) 線
- (サ) 文字

(5) 電子成果品のウイルスチェック

ハードディスク上にある電子成果品を整理した段階で、ウイルスチェックを行います。

ウイルスチェックソフトは特に指定はしませんが、最新のウイルスも検出できるように常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用します。

7.12.3 電子媒体への格納

受注者は、電子成果品をチェックした結果、エラーが無いことを確認した後、電子媒体に格納します。使用する電子媒体は、基本的に CD-R または DVD-R とします。

CD-R の容量に関する規定は特にありませんが、通常流通している媒体 (650MB、700MB の媒体) 以外を使用する場合は、使用の是非を受発注者間の協議により決定してください。

写真地図などのファイル容量の極めて大きい測量成果を電子納品する場合、複数枚の電子媒体にファイル格納することにより、データの有効性の妨げになる可能性があります。この場合、受発注者間協議により、CD-R または DVD-R 以外の電子媒体を別途使用してもかまいません。また、受発注者間協議により BD-R を使用することも可能です。

電子媒体への格納は、書き込みソフト等を利用し、データを追記できない方式で書き込みます。

なお、CD-R のフォーマットの形式は Joliet とし、DVD-R のフォーマットの形式は UDF (UDF Bridge)、BD-R のフォーマットの形式は UDF2.6 とします。

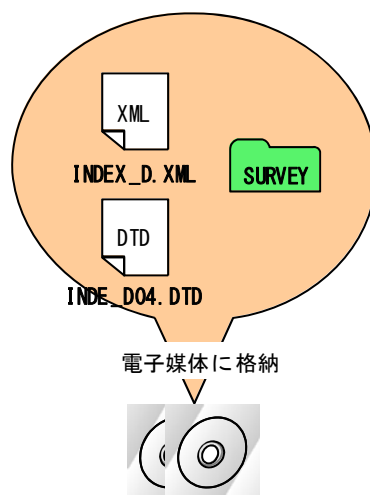


図 7-25 電子媒体へ格納されるファイル・フォルダのイメージ

7.12.4 電子媒体のウイルスチェック

受注者は、電子媒体に対しウイルスチェックを行います。

ウイルスチェックソフトは特に指定はしませんが、最新のウイルスも検出できるように常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用します。

7.12.5 電子媒体等の表記

(1) 電子媒体のラベル面の表記

ア 電子媒体のラベル面に記載する項目を次に示します。

- (ア) 「案件番号」 発注者が定める案件番号を記載
- (イ) 「助言番号(承認番号)」 助言番号(承認番号)がない場合は「99999999」(8桁)を記載
- (ウ) 「業務名称」 契約書に記載されている正式名称を記載
- (エ) 「作成年月」 業務完了時の年月を記載
- (オ) 「発注者名」 発注者の正式名称を記載
- (カ) 「受注者名」 受注者の正式名称を記載
- (キ) 「何枚目／全体枚数」 全体枚数の何枚目であることを記載
- (ク) 「ウイルスチェックに関する情報」
 - i. ウイルスチェックソフト名
 - ii. ウイルス定義年月日又はパターンファイル名
 - iii. ウイルスチェックソフトによるチェックを行った年月日
- (ケ) 「フォーマット形式」 CD-R の場合は、フォーマット形式・Joliet、DVD-R の場合は、UDF (UDF Bridge) 、BD-R の場合は UDF2.6 を明記を明記。
- (コ) 「発注者署名欄」 総括監督員が署名^{※22}
- (サ) 「受注者署名欄」 管理技術者が署名^{※22}

^{※22}発注者署名欄は「総括監督員」、受注者署名欄には「管理技術者」が署名してください。これによりがたい場合は、発注者と受注者で協議し、取り扱いを決定してください。

7 電子成果品の作成

7.12 電子媒体作成

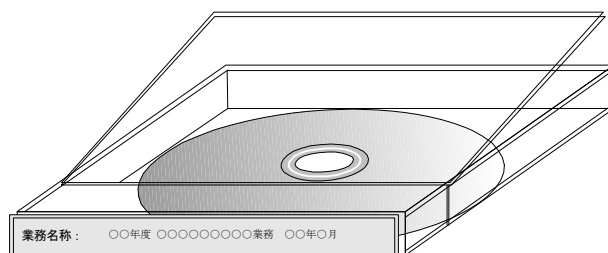
(2) 電子媒体への表記例

ラベル面には、必要項目を表面に直接印刷、又は油性フェルトペンで表記し、表面に損傷を与えないように留意します。電子媒体のラベル面へ印刷したシールを貼り付ける方法は、シール剥がれ等による電子媒体や使用機器への悪影響を鑑みて、禁止しています。



図 7-26 電子媒体への表記例

(3) 電子媒体のケースの表記



電子媒体を収納するケースの背表紙には、「業務名称」、「作成年月」を横書きで表記します。

プラスチックケースのラベルの背表紙には、次のように記載します。業務名が長く書ききれない場合は先頭から書けるところまで記載します。

例: ○○年度○○○○業務
○○年○月

図 7-27 電子媒体ケースへの表記例

7.12.6 電子媒体が複数枚に渡る場合の処置

成果品を電子媒体で納品する場合、1枚の媒体に格納することを原則とします。ただし、データ容量が大きい場合1枚の媒体に納まらず、複数枚の媒体に分割して格納する場合は、次に従ってください。

(ア) 各媒体に付けるラベルに何枚目/全体枚数を明記します。

(イ) 何枚目の媒体であっても、媒体内のルートからのフォルダ構成は同一とします。

分割された全ての媒体内に全てのフォルダが含まれている必要はありません。分割された総枚数の中で必要なフォルダが含まれているようにします。

(ウ) 何枚目の媒体であっても、業務管理ファイル(INDEX_D.XML)を各媒体のルート直下に格納します。ただし、各業務管理項目のメディア番号は、ラベルに明記してある「何枚目」/全体枚数と整合を図ります。

電子媒体のルート直下に格納される「業務管理ファイル(INDEX_D.XML)」には、成果品データが分割された場合を想定して記入する管理項目「メディア番号」が含まれています。これらを正しく記入した後、分割された全ての媒体に業務管理ファイルを正しく格納します。

また、測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)は、「SURVEY」フォルダが分割された場合、全ての媒体内に含まれる「SURVEY」フォルダ直下に格納します。

なお、各測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML、SURV_OYO.XML)、ドキュメント管理ファイル(SURV_DOC.XML)は、該当するフォルダ内に格納する成果が含まれない場合は、格納しなくてもかまいません。

(エ) 分割された各媒体に含まれる測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)、測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML、SURV_OYO.XML)、ドキュメント管理ファイル(SURV_DOC.XML)は、全て同一のものを格納します。

成果品を複数枚の媒体に分割して格納する場合の例を次に示します。

(例1)：基準点測量と地形測量及び写真測量で分割した場合（「SURVEY」内で分割）

⇒「図 7-28 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(1)」参照

(例2)：基準点測量内で分割した場合（「KITEN」内で分割）

⇒「図 7-29 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(2)」参照

例1の場合のファイルの格納イメージは、図 7-30のとおりです。

7 電子成果品の作成

7.12 電子媒体作成

【「SURVEY」内で分割した場合】

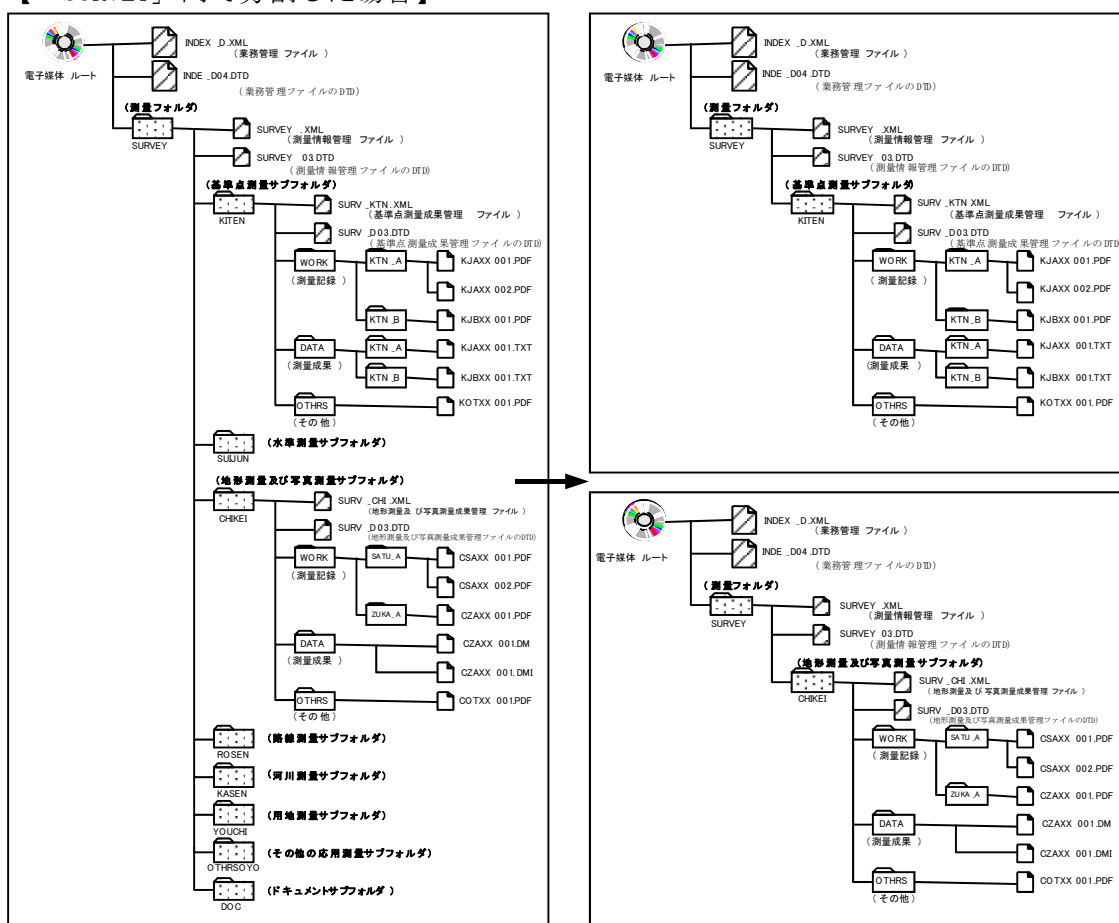


図 7-28 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(1)

※各媒体内の「SURVEY.XML」は同一のものを格納します。

7 電子成果品の作成

7.12 電子媒体作成

【サブフォルダ「KITEN」内で分割した場合】

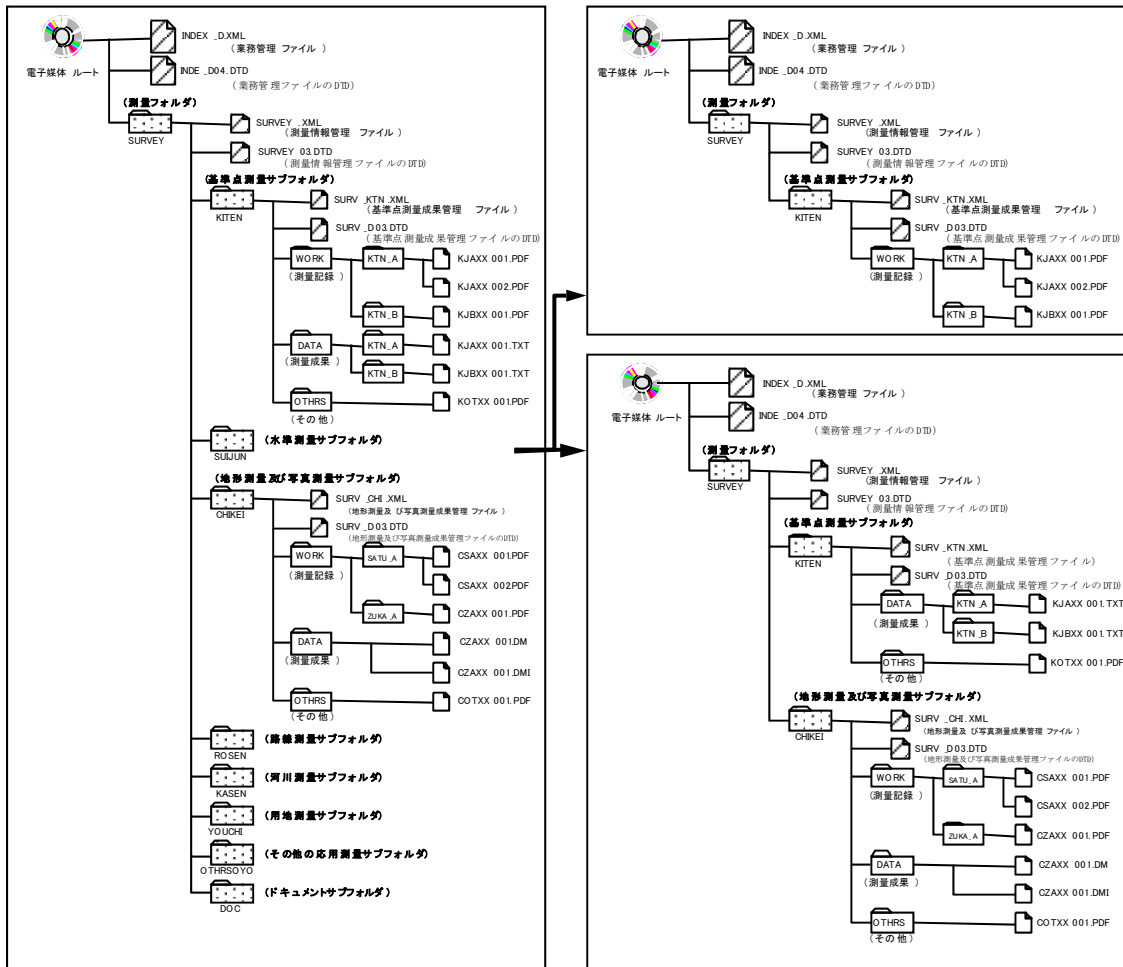


図 7-29 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(2)

※各媒体内の「SURVEY.XML」、「SURV_KTN.XML」は同一のものを格納します。

7 電子成果品の作成

7.12 電子媒体作成

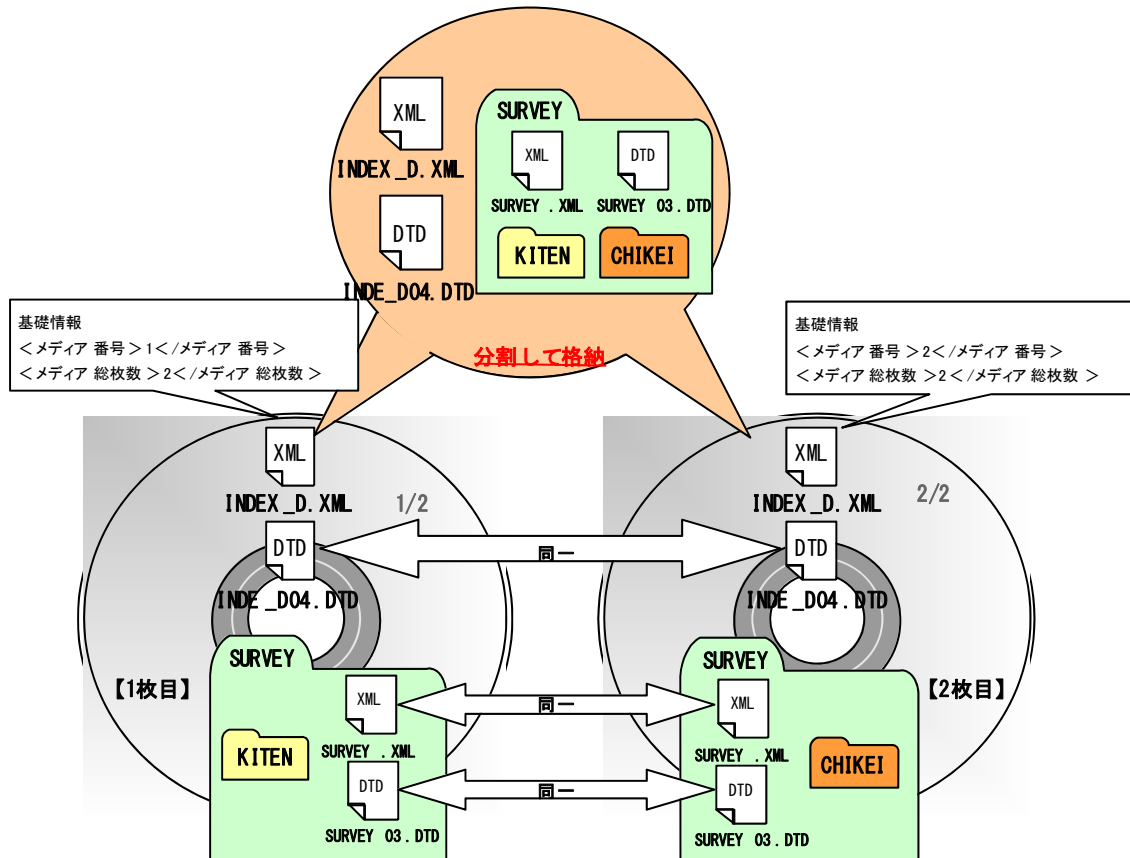


図 7-30 電子媒体が 2 枚に渡る場合のファイルの格納イメージ

7.12.7 電子媒体納品書

受注者は、電子媒体納品書に署名・押印の上、電子媒体と共に提出します。電子媒体納品書様式を表 7-29 に示します。

表 7-29 電子媒体納品書の例

様 式 電子媒体納品書 総括監督員 殿 受 注 者 (住所) ○○県○○市○○町○○番地 (氏名) ○○設計 管理技術者 (氏名) (自署) 印 下記のとおり電子媒体を納品します。なお、電子媒体に保存されている電子データは、 原本と相違ないことを証明します。 記					
業務名	○○○○○○業務			案件番号	○○○○○○○○○○○○○○
電子媒体の種類	規格	単位	数量	納品年月	備考
CD-R(000MB)	Joliet	枚	2	○○年○月	2 枚一式
備考 1/2:REPORT、DRAWING、PHOTO を格納 2/2:SURVEY、BORING を格納 電子納品チェックシステムによるチェック 電子納品チェックシステムのバージョン：○.○.○ チェック年月日：○○年○月○日					

※総括監督員の記載は、総括監督員を配置しない場合は、主任監督員とする。

7.13 検符及び押印の取り扱い

(1) 電子納品する測量成果等

電子納品する測量成果等については、当面の間は検符及び押印を要さないものとします。

測量作業規程では、受注者が作業工程の中で観測値、計算結果等の確認に必要な点検を行うこと、更に精度管理表等で確認者の押印をする様式が定められています。これまで紙媒体で納品されてきた測量成果等では、当該の測量成果等に直接、検符や押印がなされ点検作業の証拠とされてきました。

この紙媒体の測量成果等に直接検符、押印を行う方法を電子的に置き換えるものとしては電子的な検符や電子署名の方法がありますが、未だ十分には確立した技術になっていない状況です。

このため、当面の間、電子納品する測量成果等については検符及び押印を要さないものとし、別途、検符及び押印した測量成果等を受発注者間協議により紙で納品します。

(2) 受注者での点検作業

受注者での点検作業は、電子納品を行う測量成果等から点検用に印刷出力を行い、この上で点検を行い、検符及び押印を行うものとします。この際、電子納品を行う測量成果等との原本性を保証するものでなければなりません。

検符及び押印に関する留意事項は次のとおりです。

(ア) 電子的に作成した測量成果品の検符及び押印は、その行為を行った証拠として「電子署名」を行いますが、この技術が確立するまでは暫定処置として原本性確保のため、電子媒体は CD-R または DVD-R（書き込みが 1 度しかできないもの）を利用します。

(イ) 検符前の測量成果の形態の違いによる検符・補正は次のとおり対応します。

- 検符前の測量成果が紙面の場合、そのまま検符等を行い、その結果をスキャナでイメージ化（電子化）します。
 - 検符で問題がない場合、検符した成果（紙）をイメージ化し、電子納品します。
 - 検符で不具合がある場合、成果（紙）を補正し、再度、検符を行います。
- 検符前の測量成果が電子データの場合、印刷出力したものに対して検符等を行います。
 - 検符で問題がない場合、当該電子データを測量要領（案）に従って作成します。検符等した印刷物については、受発注者間協議により、別途納品します。
 - 検符で不具合がある場合、成果（電子データ）を補正し、印刷出力

7 電子成果品の作成

7.13 検符及び押印の取扱い

を行なった後、再度、検符を行います。

7.14 第三者機関検定の実施

(1) 第三者機関検定の実施の流れ

電子納品を行う測量成果等を第三者機関が検定する場合、第三者機関は受注者から提出される測量成果等のファイルを直接、又は検査用に紙出力を行い、この上で必要な検査を行います。受注者は、第三者機関から発行される検定証明書等のファイルを電子媒体に格納し、納品します。

測量作業規程では、作業機関は、基盤地図情報に該当する測量成果等の高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で計画機関が指定するものについては、納品前に、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならないとしています。

これまでは、納品する成果品に直接検符を打つことで点検した証拠としていましたが、電子化した測量成果品には、点検した証拠である検符を直接打つことが出来ません。

電子納品する測量成果等を第三者機関が検定する場合には、測量成果等のファイルを直接、又は検定用に紙出力を行い、これに直接検符を行うことによって点検を行います。

第三者機関は、受注者が提出する測量成果等のファイルの検定が終了した段階で、測量成果検定証明書等のファイルを発行し、受注者に引き渡します。

受注者は測量成果検定証明書等のファイルを格納した電子媒体を作成し、再度、第三者機関へ提出します。第三者機関は、電子媒体に格納されている成果品と検定を実施した成果品のファイルの同一性を確認した上で、紙面による測量成果検定証明書等を発行します。測量成果検定証明書等には、点検済み電子データの有効性を証明（作成途中の成果でないことの証明）するための資料としてファイル名とその保存された日時を明記した記録を添付します。

検符を付した点検用の出力紙は、受発注者間協議により保存期間を設定して、受注者が保管します。

なお、第三者機関検定を行う場合、「7.13 検符及び押印の取り扱い」に示す受注者が自社内で行った点検作業の証拠書類の納品については、一定期間を定めて受注者側で保管する等、受発注者間で協議します。

(2) 第三者機関検定に関する留意事項

ア 検定用の紙出力について

第三者機関が行う検定は、納品用の電子媒体から検定用に紙出力して行うため、出力用の装置は、第三者機関で準備する必要があります。しかし、すべてのデータを出力するための装置を第三者機関で準備することは出力ソフトの種類及び出力量の面から困難であるため、第三者機関は、受注者に出力を依頼することができます。この場合、受注者は、出力紙の原本性を保証するため、出

7 電子成果品の作成

7.14 第三者機関検定の実施

力紙の余白にファイル名等の印字を行うものとします。

イ 検定済みの証明

第三者機関は、電子媒体の適合性を確認した後に、図 7-31 及び図 7-32 の検定証明書を発行すると共に電子媒体のラベル面には、図 7-33 及び図 7-34 に示すとおり「検定済」の印を印刷するものとします。

検 定 証 明 書

第〇〇〇〇号
〇〇年〇〇月〇〇日

別紙1

〇〇〇〇 株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇殿

検定機関 (住所)
(氏名)

印

下記の測量成果及び記録(資料)は、測量成果検定要領に基づいて机上検定した結果、別紙検定記録書に記載のとおり適合していることを証明します。

記

測 量 作 業 名 〇〇業務

地 区 名 〇〇市

測 量 種 別 〇〇測量

作 業 量 〇〇 km

測量作業規程等名 〇〇測量作業規程

検定済みファイル数 18 個 708,990 バイトのファイルが有効(別紙1 参照)

図 7-31 検定証明書の例

検定の結果、以下に示すファイルが有効であることを証明します。

データ格納フォルダ名		¥SURVEY¥KIJUNTE¥KITE¥KITEI	
ファイル名	容量(バイト)※	作成年月日	作成時間
KJA02007.csv	229	2001/10/22	23:49
KJA01002.pdf	456,373	2001/11/8	20:38
KJA02001.csv	269	2001/10/22	23:42
KJA02002.csv	268	2001/10/22	23:43
KJA02003.csv	268	2001/10/22	23:45
KJA02004.csv	269	2001/10/22	23:46
KJA02005.csv	230	2001/10/22	23:47
KJA02006.csv	233	2001/10/22	23:48
KJA01001.pdf	248,570	2001/11/8	20:27
KJA02008.csv	225	2001/10/22	23:49
KJA02009.csv	303	2001/10/22	23:50
KJA02010.csv	303	2001/10/22	23:51
KJA02011.csv	267	2001/10/22	23:52
KJA02012.csv	342	2001/10/22	23:53
KJA02013.csv	268	2001/10/22	23:54
KJA02014.csv	304	2001/10/22	23:55
KJA02015.csv	269	2001/10/22	23:56
18個 708,990バイトのファイルが有効です。			

※容量はエクスプローラ等の表示ではなくプロパティ表示による。

図 7-32 検定証明書(別紙)の例



図 7-33 「検定済」印を印刷した例

【検定済】

検定機関名 〇〇〇〇

検定年月日：
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

図 7-34 「検定済」印

7.15 電子成果品の確認

7.15.1 電子媒体の外観確認

発注者は、電子媒体に破損のないこと、ラベルが正しく作成されていることを目視で確認します。

7.15.2 ウイルスチェック

発注者は、電子媒体に対しウイルスチェックを行います。

ウイルスチェックソフトは特に指定はしませんが、最新のウイルスも検出できるようにウイルスチェックソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用します。

7.15.3 電子成果品の基本構成の確認

発注者は、電子成果品が電子納品要領（案）等に適合していることを、電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）により確認します。

電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）のチェック結果の画面を用いた確認事項を次に示します。

- (ア) 構成（画面上での確認）の確認
- (イ) 業務管理ファイルについて、業務件名等の業務の基本的な情報の確認
- (ウ) 電子成果品の作成で適用した各電子納品要領の版、各測量成果のファイル数量の確認

7.15.4 電子成果品の内容の確認

発注者は、事前協議の結果、電子納品の対象とした成果品が納められているか、電子成果品の各フォルダを確認します。

(1) 管理ファイルの確認

発注者は、受け取った管理ファイルを電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）のビューアを用いて表示し、記入されている業務件名、測量区域番号、測量成果番号等の基本的な情報について確認を行います。チェック方法は、「7.12.2 (2) 電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）による管理ファイルのチェック」を参照してください。

(2) 数値地形図データファイルの確認

発注者は、受け取った数値地形図データファイルについて、抜き取りにより確認します。数値地形図データファイル（JPGIS 準拠、標準図式データファイルなど）を対応の CAD ソフトまたはビューア等で表示し、データ欠落や表現の相違がないか目視により確認を行います。

(3) PDF ファイルの確認

発注者は、受け取った PDF ファイルについて、抜き取りにより確認します。PDF データファイルを Acrobat Reader 等で表示し、データ欠落や表現の相違がないか目視により確認を行います。

(4) CAD データの確認

納品、発注等に際しては、CAD データを SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式に変換して授受します。現時点では、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式に変換する際のデータ欠落や CAD ソフトによる SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式の表現の違いがあるおそれがあり、同一の CAD データを利用しても、CAD ソフトによって表示が異なる可能性があります。

そのため、当面は、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式の CAD データを授受する際に、受発注者とも、SXF ブラウザ等を利用して目視確認を行ってください。

また、電子成果品作成時には、SXF (P21) 形式若しくは SXF (P2Z) 形式の CAD データが図面要領（案）に基づいて作成されているか確認する場合は、電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）によるデータチェックを行ってください。

なお、CAD データに作図されている内容については、図面要領（案）並びに図面ガイドライン（案）を参照してください。

(5) その他

成果品全般について、打合せ事項と電子成果品の内容との比較等を行い、内容に相違がないか確認します。

8 成果品の検査

受発注者は、成果品の検査に先立ち、電子成果品に係る検査方法等を確認するために協議を行ってください。

業務中の情報の交換・共有の方法は、メール等で情報交換を行いながらも最終的に書面で決裁する従来の方法と、電子的に交換・共有した情報を電子成果品として蓄積していく CALS/EC の取り組みに沿った方法とがあります。

受発注者間の協議で合意すれば電子データのみで検査を行うことも可能です。ただし、受発注者のスキルや、情報技術を扱う環境等によっては、すべてを電子的に扱うことが困難な場合も想定されます。ここでは、従来の紙の決裁の中で、情報を電子化する取り組みの一例を図 8-1 に示します。電子的な交換・共有については、工事ガイドライン（案）の【発展編】「9. 電子的な交換・共有」を参照してください。

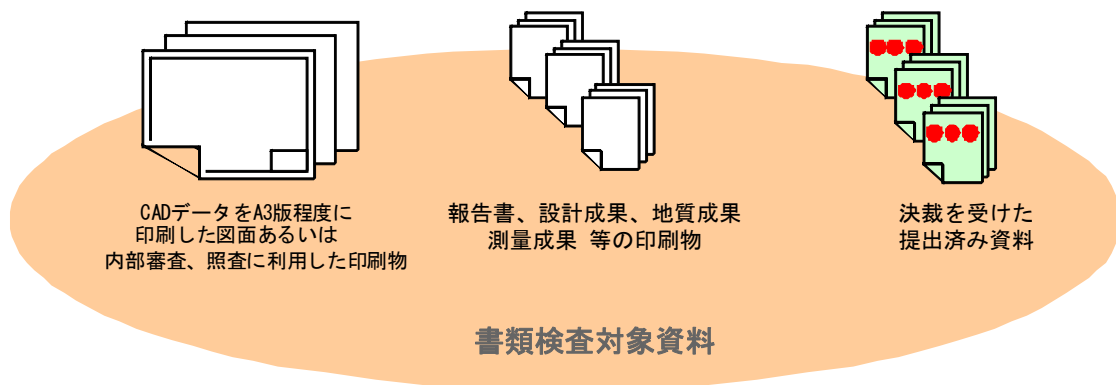


図 8-1 書類検査対象資料例

(1) 業務成果品

設計成果図、測量図面等の CAD データを検査する際には、受注者が A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検します。

打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検します。

(2) 検査で使用する機器・ソフトウェア等

電子的な書類検査を行う場合、使用する機器、ソフトウェア等について、発注者、受注者のどちらが準備を行うか、協議により決定してください。使用する機器、ソフトウェア等の例を次に示します。

- ア 検査用コンピュータ
- イ プリンタ
- ウ プロジェクタ及びスクリーン

- エ チェックプログラム
- オ SXF ブラウザ等
- カ PDF 表示ソフト
- キ 写真表示ソフト等

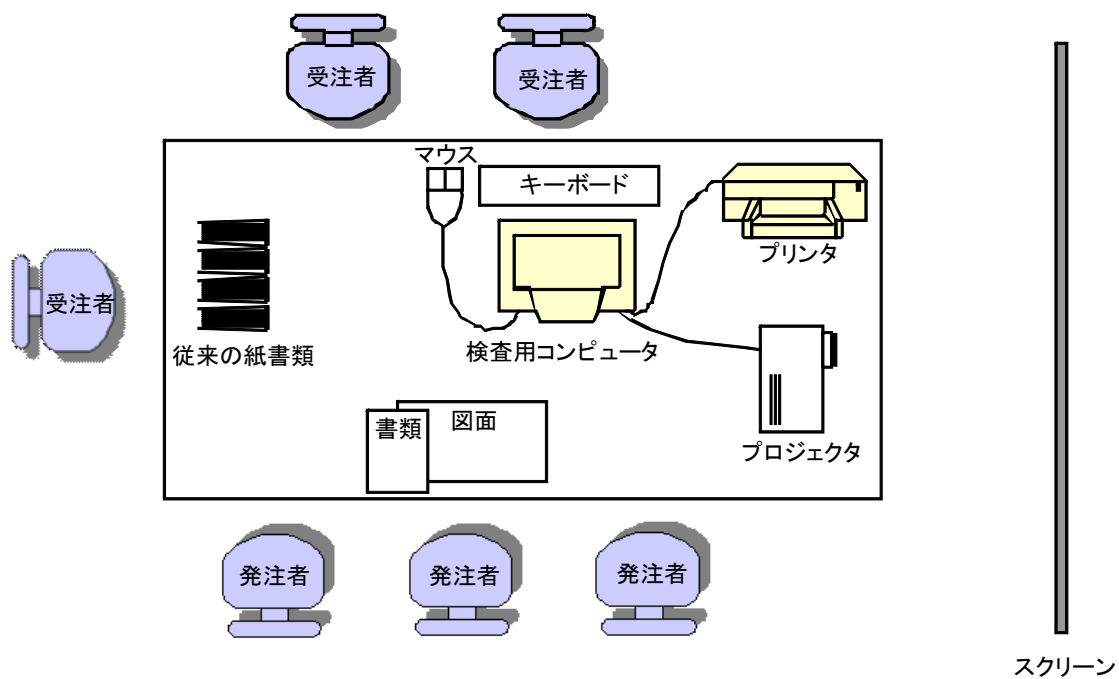


図 8-2 電子的な書類検査で用いる機器の配置（例）

9 保管管理

発注者は、業務完了検査の後、受領した電子媒体を、「電子納品物保管管理規定」及び「同運用について」（以下、「保管管理規定等」といいます。）に従い保管管理します。

また、保管管理規定等に基づき必要な電子成果品を電子納品物保管管理システムへ登録します。電子納品物保管管理システムの利用イメージを図 9-1 に示します。

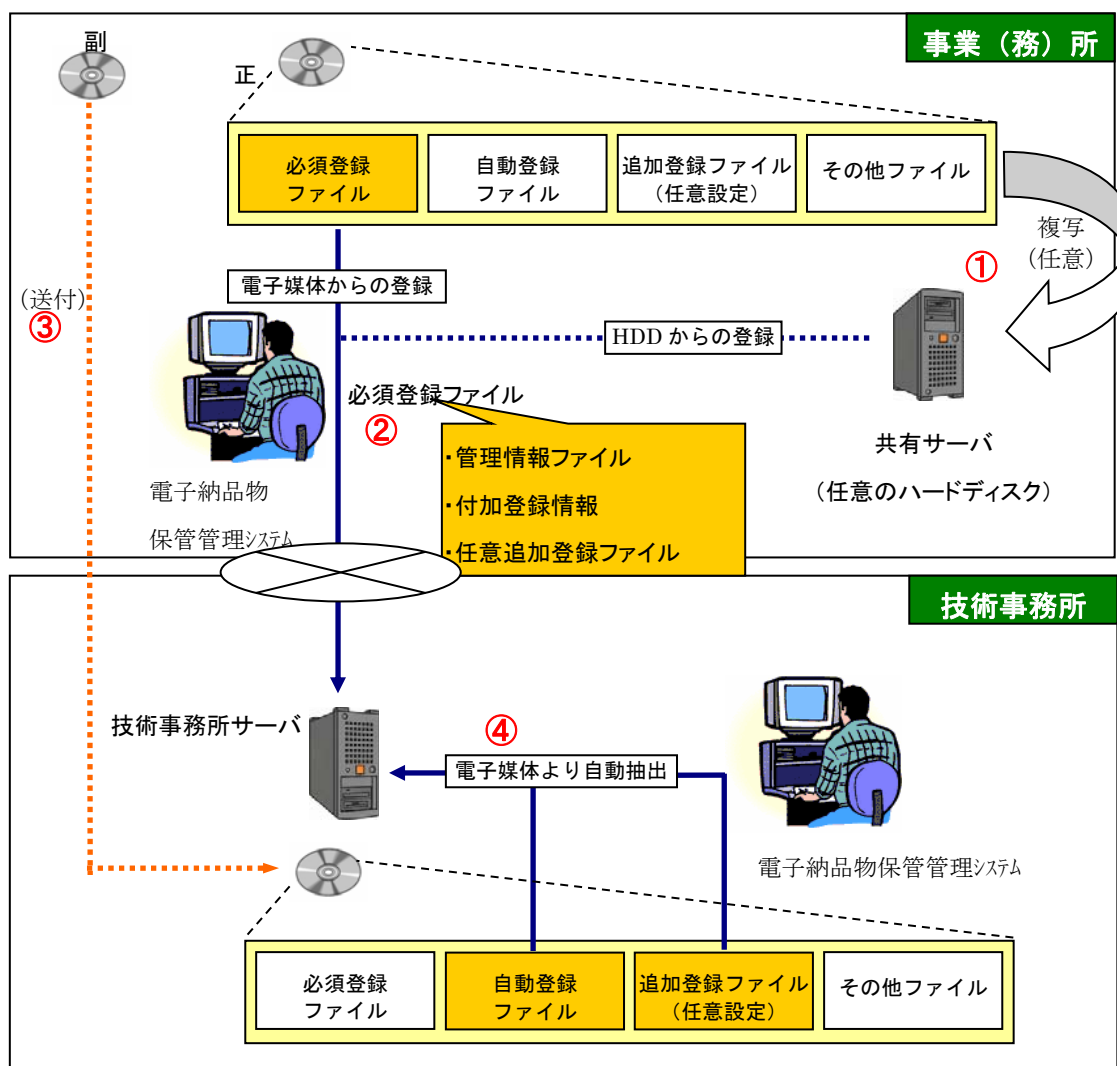


図 9-1 電子納品物保管管理システムの利用イメージ

【登録手順】

	作 業 内 容
①	・受領した電子成果品のデータを所内で共有するためハードディスクに保存する。（任意）
②	・「電子納品物保管管理システム」を使用して、「必須登録ファイル」（管理情報ファイル＋登録に必要な付加情報＋任意追加登録ファイル）を技術事務所サーバに登録する。 ・電子成果品の「正」を事業（務）所内で一括管理する。
③	・電子成果品の「副」を土地改良技術事務所に送付する。
④	・②の登録情報を基に、土地改良技術事務所にて「電子納品物保管管理システム」を使用して、「自動登録ファイル」及び「追加登録ファイル」を登録する。 ・電子成果品の「副」を土地改良技術事務所で管内分一括管理する。

* 事業（務）所から、直接必須ファイル等の登録を行う事も可能ですが、登録に係る通信時間が長くなる事が予想されるため当面は上記の登録方法により運用することとします。

10 參考資料

10.1 スタイルシート (XSL ファイル) の活用

ここでは、測量情報管理ファイル（SURVEY.XML）にスタイルシート（XSL ファイル）を適用した表示の一例を示します。

スタイルシート (XSL ファイル) による表示イメージ

利用情報		測量情報															等級精度	
測量区域番号	測量区域名	区域情報								測量緯度分	測量経度分	測量記録フォルダパス名	測量成果フォルダパス名	その他データフォルダパス名	測量区域No	等級	精度情報 レベル	
		西側境界座標値	北側境界座標値	東側境界座標値	南側境界座標値	平面座標値	西側境界座標値	東側境界座標値	北側境界座標値									南側境界座標値
1	○○○○地区			9							基準点測量 △	SURVEY\KITEN\WORK\KTN_A	SURVEY\KITEN\DATA\KTN_A	SURVEY\KITEN\OTHERS	1	22		
											水準測量	SURVEY\SUIJIN\WORK\SIN_A	SURVEY\SUIJIN\DATA\SIN_A	SURVEY\SUIJIN\OTHERS	1	22		
											基準点測量 □	SURVEY\KITEN\WORK\KTN_B	SURVEY\KITEN\DATA\KTN_B	SURVEY\KITEN\OTHERS	2	23		
											地形測量	SURVEY\CHIKI\WORK\SATU_A		SURVEY\CHIKI\OTHERS	2	24		

図 10-1 スタイルシート (XSL ファイル) を利用した表示例

10.2 事前チェックシート（業務用）

10.2 事前協議チェックシート（業務用）

別紙 1. 事前協議チェックシート（業務用） 1/3

事前協議チェックシート（業務用）（例）

(1) 協議参加者

実施日：〇〇 年 月 日

業務名			
工期	〇〇 年 月 日 ~ 〇〇 年 月 日		
案件番号			
発注者	事業（務）所名		
	役職名		
	担当者名		
	連絡先（e-mail）		
受注者	会社名		
	役職名	（管理技術者）	
	担当者名		
	連絡先（e-mail）		

(2) 適用要領類

設計業務等の電子納品要領（案）	☐ H31. 03、 ☐ （ ）	電子納品運用ガイドライン（案）【業務編】	☐ H31. 03、 ☐ （ ）
電子化図面データの作成要領（案）	☐ H31. 03、 ☐ （ ）	電子化図面データ作成運用ガイドライン（案）	☐ H31. 03、 ☐ （ ）
電子化写真データの作成要領（案）	☐ H31. 03、 ☐ （ ）		
測量成果電子納品要領（案）	☐ H31. 04、 ☐ （ ）	電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】	☐ H31. 04、 ☐ （ ）
地質・土質調査成果電子納品要領（案）	☐ H31. 03、 ☐ （ ）	電子納品運用ガイドライン（案）【地質・土質調査編】	☐ H31. 03、 ☐ （ ）
備考			

(3) インターネットアクセス環境、利用ソフト等

発注者	電子メール添付ファイルの容量制限	☐ 7Mbyte未満、 ☐ （ ） Mbyte未満
受注者	電子メール添付ファイルの容量制限	☐ 制限なし、 ☐ （ ） Mbyte未満

基本ソフト	ソフト名若しくはファイル形式	発注者利用ソフト （バージョンを含めて記載）	受注者利用ソフト （バージョンを含めて記載）
文書作成等	一太郎		
	Word		
	Excel		
	その他		
CAD図面	SXF（P21）形式		
写真	JPEG又はTIFF形式		
その他			

10.2 事前チェックシート（業務用）

別紙1. 事前協議チェックシート（業務用） 2/3

(4) 電子納品対象項目

フォルダ	サブ フォルダ	確認欄 ○：電子 ×：不要	納品データ名	作成者		協議時の合意内容
				発注者	受注者	
<root>			INDEX_D.XML、INDE_D04.DTD	○	○	
REPORT			REPORT.XML、REPORT04.DTD	—	○	
			報告書	—	○	
	ORG		報告書オリジナルファイル	—	○	
DRAWING※1			DRAWING.XML、DRAW04.DTD	—	○	
			図面	—	○	
PHOTO			PHOTO.XML、PHOTO05.DTD	—	○	
	PIC		写真	—	○	
	DRA		参考図	—	○	
SURVEY			SURVEY.XML、SURVEY03.DTD	—	○	
	KITEN		基準点測量成果	—	○	
	SUIJUN		水準測量成果	—	○	
	CHIKEI		地形測量及び写真測量成果	—	○	
	ROSEN		路線測量成果	—	○	
	KASEN		河川測量成果	—	○	
	YOUCHI		用地測量成果	—	○	
	OTHRISOYO		その他応用測量成果	—	○	
	DOC		ドキュメント	—	○	
BORING			BORING.XML、BRG0200.DTD	—	○	
	DATA		ボーリング交換用データ	—	○	
	LOG		電子柱状図	—	○	
	DRA		電子簡略柱状図	—	○	
	PIC		コア写真	—	○	
	TEST		土質試験及び地盤調査	—	○	
	OTHS		その他の地質・土質調査成果	—	○	
NNICT			NNICTのデータ	—	○	

※1：発注者から、発注図CADデータの提供がされない場合は、電子納品の対象とするか協議する。

10.2 事前チェックシート（業務用）

別紙1．事前協議チェックシート（業務用） 3/3

(5) 電子化しない書類

資料名	作成者		電子化しない範囲		
	発注者	受注者	全体	一部	一部の場合、その内容
	☐	☐	☐	☐	
	☐	☐	☐	☐	
	☐	☐	☐	☐	
	☐	☐	☐	☐	
	☐	☐	☐	☐	
	☐	☐	☐	☐	

(6) 検査方法等

機器の準備	☐ 発注者（ ） ☐ 受注者（ ）			
検査方法等 対象電子情報	☐ 電子媒体を利用、 ☐ 紙・電子媒体の併用、 ☐ 紙 ☐ スタイルシート ☐ 報告書 ☐ 図面 ☐ 写真 ☐ その他（ ）			
検査時に紙で用意する 書類	書類名称	手配実施者		備 考
		発注者	受注者	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	

10.3 用語解説

[A]

ASP (エーエスピー、Application Service Provider)

インターネット上で利用できるアプリケーションソフトのレンタル等の有償サービス事業者をいいます。

ASP で提供されるサービスは、電子掲示板、ファイル保管管理等の機能を持つ情報共有ソフト等があります。ASP は、各種業務用ソフト等のアプリケーションソフトをデータセンター等において運用し、ソフト等をインターネット経由でユーザ（企業）に提供しています。

AGRIS (アグリス、Agricultural and Rural Development Technical Consulting Records Information Service)

「農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス」の略称です。

農業農村整備事業の測量調査設計業務では、公募型入札制度が拡大すること等により、公共発注機関において受注者の業務実績、技術者の資格、経験等を常に最新のものとして把握しておくことが重要となったことから、業務実績情報等を提供することを目的として AGRIS の運用が開始されました。

公共発注機関では業務発注時において、業務カルテに基づいて AGRIS に登録された業務実績データを、入札・契約手続きの透明性、より公正で客観的な企業選定（各事業の地域性、特殊性、企業の技術的適正を総合的かつ公正に評価・判断）を行うために活用しています。

[C]

CAD (キャド、Computer Aided Design)

設計者がコンピュータの支援を得ながら設計を行うシステムのことをいいます。図形処理技術を基本としており、平面図形の処理を製図用途に応用にしたものを 2 次元 CAD、3 次元図形処理を製品形状の定義に利用したものを 3 次元 CAD といいます。デザイン、製図、解析など設計の様々な場面で活用されます。

CALS/EC (キャルスイーシー、

Continuous Acquisition and Life-cycle Support/Electronic Commerce)

従来は紙で交換されていた情報を電子化するとともに、ネットワークを活用して各業務プロセスをまたぐ情報の共有・有効活用を図ることにより、公共事業の生産性向上やコスト縮減を実現するための取組みです。

CALS とは、企業間や組織間において、事業や製品等の計画、設計、製造、運用、

保守に至るライフサイクルの各段階間や関係者間で発生する各種情報を電子化し、その伝達、共有、連携、再利用を効率的に行いコストの削減や生産性の向上を図ろうとする活動であり、概念です。

EC とは、電子化された商取引を意味します。農林水産省では公共事業の調達（入札、契約）行為をインターネットで行っています。

CD-R（シーディーアール、Compact Disc Recordable）

データの記録専用の CD です。

記録する方式により一度だけ書き込める方式と追記が可能な方式があります。ただし、書き込まれたデータは消去できません（論理的に認識できないようにすることはできます）。

容量は、現在では 700MB 程度までが主流であり、さらに拡張したものもあります。

標準的な論理フォーマットは、ISO 9660 等があります。

CORINS（コリンズ、Construction Records Information Service）

「工事実績情報サービス」の略称です。

CORINS は、公共事業の入札・契約において、透明性・客観性・競争性を確保することを目的に、公共事業発注機関が共同で利用できる公共実績情報サービスです。（財）日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、建設企業からの工事カルテの登録を基に工事実績情報のデータベースを構築し、各公共工事発注機関へ情報提供を行っています。

CORINS からの情報提供により、発注者は、建設企業の工事実績の把握及び技術力の適正な評価を行うことができます。また、受注者にとっても、自社の工事実績情報が公共工事発注機関に届きますので、営業支援の役割を果たします。

[D]

DTD（ディーティーディー、Document Type Definition）

XML 等で文書を記述する際、タグを利用して、データの要素・属性、構造（見出し、段落等）を定義するものです。（※XML⇒「XML」の項、参照。）

DVD-R（ディーブイディーアール、Digital Versatile Disk Recordable）

DVD-R は記録型 DVD の規格の一つであり、1 度だけ書き込みが行える追記型 DVD のことです。DVD-ROM や DVD-RAM など他の DVD 規格とも互換性があります。

[G]

GIS（ジーアイエス、Geographical Information System）

デジタル化された地図（地形）データと、統計データや位置の持つ属性情報などの位置に関連したデータとを、統合的に扱う情報システムです。

地図データと他のデータを相互に関連づけたデータベースと、それらの情報の検索や解析、表示などを行なうソフトウェアから構成されています。データは地図上に表示されるので、解析対象の分布や密度、配置などを視覚的に把握することができます。

[I]

ISO9660 フォーマット

ISO で規定される電子媒体での標準的なフォーマットの一つです。

特定の OS（オペレーティングシステム）、ハードウェアに依存しないため、このフォーマットの CD-R は、ほとんどの PC の OS 上で読み込むことができます。

ISO9660 フォーマットにはレベル 1 からレベル 3 までの段階があり、電子納品に関する要領（案）では、長期的な保存という観点から、ISO9660 フォーマットの中でも OS 間での互換性が最も高い「レベル 1」を標準としていました。ただし、レベル 1 の場合、ファイル名等の規則は厳しく、「名前+拡張子」の 8.3 形式のファイル名で、使える文字は半角アルファベットと 0～9 の数字、「_」（アンダースコア）に限られ、ディレクトリ名は 8 文字までの制限があり、ワープロソフト等で一般的になった 4 文字の拡張子に対応できないため、Joliet に移行しました。

[J]

Joliet（ジョリエット）

マイクロソフト社が設計した、ISO9660 の拡張規格であり、1 文字 2 バイトで表現する Unicode を採用し、128 バイト（64 文字）までの長いファイル名に対応しています。流通しているほとんどの OS が対応しており、Joliet を利用できないシステムでも ISO 9660 レベル 1 として読み込めるようになっていることから、ワープロソフト等で一般的になった 4 文字の拡張子に対応するため、電子納品に関する要領・基準での標準として採用しました。

JPEG（ジェーペグ、Joint Photographic Experts Group）

静止画像データの圧縮方式の一つです。ISO により設置された専門家組織の名称がそのまま使われています。圧縮の際に、若干の画質劣化を許容する（一部のデータを切り捨てる）方式と、まったく劣化のない方式を選ぶことができ、許容する場合はどの程度劣化させるかを指定することができます。方式によりばらつきはありますが、圧縮率はおおむね 1/10～1/100 程度です。

JPGIS (Japan Profile for Geographic Information Standards)

「地理情報標準プロファイル」の略語です。地理情報の分野におけるさまざまな標準規格のうち測量・地図作成において、データの作成や使用の際に最低限守るべきルールを抽出し整理した国内の実用標準です。

〔O〕

OCF 検定

OCF 検定は、(一社)オープン CAD フォーマット協議会が実施する、CAD ソフトウェアやビューアの SXF 仕様への準拠性を検定するものです。この検定に合格した CAD ソフトウェアやビューアは、SXF データの互換について一定の基準が満たされていることから、目視確認等において、OCF 検定合格のビューア等を使用することとしています。検定内容の詳細については(一社)オープン CAD フォーマット協議会のホームページを参照してください。

<http://www.ocf.or.jp/>

〔P〕

PDF (ピーディーエフ、Portable Document Format)

PDF は、Adobe 社が 1993 年に公開した電子文書のためのフォーマットです。

OS の違いに関わらず文書の作成、閲覧や印刷が行えるため、文書のやり取りをする際の形式として広く一般に普及しています。また、2008 年には「Portable Document Format (PDF) 1.7」として ISO 標準 (ISO32000-1) として認定されています。

〔S〕

SAF (エスエーエフ)

図形にレイヤや線種等の情報の他に、特定の意味を持たせる情報を保存するファイルです。SXF Ver. 3.0 レベル 2 以上に対応した CAD で属性付加機構を利用したときに生成されるファイルであり、拡張子が SAF となります。1 つの CAD データに SAF ファイルは 1 ファイルのみ生成されます。

SXF (エスエックスエフ、Scadec data eXchange Format)

異なる CAD ソフト間でデータの交換ができる共通ルール (中間ファイルフォーマット: 交換標準) です。「CAD データ交換標準開発コンソーシアム」において開発されました。

この交換標準はコンソーシアムの英語名称である SCADEC (Standard for the CAD data Exchange format in the Japanese Construction field) にちなみ、SXF 標準と呼ばれています。

SXF のファイル形式は、国際規格である STEP/AP202 に準拠し、電子納品で採用されている、拡張子「.P21」の STEP ファイル（以下、「P21 ファイル」といいます。）と、国内でしか利用できないファイル形式である SFC ファイル（Scadec Feature Comment file の略、以下、「SFC ファイル」といいます。）があります。

P21 ファイルは国際規格である ISO10303/202 に則った形式であるため、自由なデータ交換が可能となるように、描画要素に特化したフィーチャから構成されるデータ構造を持っています。SFC ファイルはフィーチャコメントと呼ばれる国内だけで利用できるローカルなデータ構造を持っています。データ構造の違いから P21 ファイルは SFC ファイルに比べデータ容量が大きくなります。

SXF ビューア等

SXF ビューア等は、SXF 表示機能及び確認機能要件書(案)（平成 21 年 3 月）に従って開発され、OCF 検定に合格した SXF 形式（P21、SFC）の図面データが閲覧可能な閲覧ソフト及び CAD ソフトです。オープン CAD フォーマット評議会の Web サイトにある OCF 検定認証ソフト一覧（以下の URL）で市販の SXF ビューア等が紹介されています。

http://www.ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran.shtml

SXF ブラウザが 2014 年 4 月 9 日をもって提供を終了したことから、今後、SXF データの表示や印刷等は、SXF ビューア等をご利用下さい。

[T]

TIFF (ティフ、Tagged Image File Format)

画像データのフォーマットです。1 枚の画像データを、解像度や色数、符号化方式の異なるいろいろな形式で一つのファイルにまとめて格納できるため、アプリケーションソフトに依存しない画像フォーマットとなっています。

なお、G4 規格は、電気通信の規格の一つで、TIFF ファイルの画像の転送、記録方式の一つとして採用されています。G3 規格より高い圧縮率が得られます。

[U]

UDF Bridge(UDF ブリッジ)

Universal Disk Format(ユニバーサルディスクフォーマット、UDF)

UDF はファイルシステムの一つで ISO 等によって標準化され、OS に依存しないのが特徴です。また、CD-ROM の普及によって標準化している「ISO9660」のアクセス手段でも読み出しが可能なフォーマット形式です。

UDF 2.6

2.6 は UDF のリビジョンです。BD-R で採用されます。

[X]

XML (エックスエムエル、eXtensible Markup Language)

文書、データの意味及び構造を記述するためのデータ記述言語の一種です。

ユーザが任意でデータの要素・属性や論理構造を定義できます。1998 年 2 月に W3C (WWW コンソーシアム) において策定されています。

XSL (エックスエスエル、eXtensible Stylesheet Language)

XML 文書の書式 (体裁) を指定するスタイルシートを提供する仕様です。XSL を使用すると、XML 文書を表形式などで見ることが出来ます。1999 年 11 月に W3C (WWW コンソーシアム) において策定されています。

[あ]

ウイルス

電子ファイル、電子メール等を介して次々と他のコンピュータに自己の複製プログラムを潜伏させていき、その中のデータやソフトウェアを破壊するなどの害を及ぼすコンピュータプログラムのことです。

ウイルスチェック

ウイルスチェックソフトを用いてコンピュータウイルスを検出・除去する処置のことをいいます。

[か]

拡張 DM-SXF 変換仕様 (案)

平成 20 年 4 月の公共測量作業規程の準則の改正以前「拡張デジタルマッピング実装規約」によって作成されるデジタルマッピングデータファイル形式の数値地図 (拡張 DM データ) を主に設計段階等で有効に活用するために、CAD データ交換標準フォーマットである SXF Ver. 2.0 形式、及び Ver. 3.0 形式のデータに変換するための標準的な変換方法を定めたものです。一般財団法人日本建設情報総合センターにおいて公開されています。

(<http://www.jacic.or.jp/hyojun/dm-cad.htm>)

管理ファイル

電子成果品の電子データを管理するためのファイルです。データ記述言語として XML を採用しています。

電子納品では、電子成果品の再利用時に内容を識別するため、工事、業務に関する管理情報や報告書・図面等の管理情報 (管理ファイルと DTD) を電子成果品の一部として納品することになっています。

(※XML⇒「XML」の項、参照。)

(※DTD⇒「DTD」の項、参照。)

基盤地図情報

地理空間情報活用推進基本法（平成 19 年法律第 63 号）第 2 条第 3 項に定義されている用語で、地理空間情報のうち、電子地図上における地理空間情報の位置を定めるための基準となる測量の基準点、海岸線、公共施設の境界線、行政区画その他の位置情報であって電磁的方式により記録されたものをいいます。

国土地理院において、公共測量標準図式数値地形図データから基盤地図情報（JPGIS Ver. 2.0 付属書 8（参考）XML に基づく符号化規則）への変換ツールとして「公共測量ビューア・コンバータ」を下記の Web サイトで公開していますので、必要に応じてご利用ください。

<http://psgs.v.gsi.go.jp/koukyou/public/sien/pindex.html>

〔さ〕

サーバ

ネットワーク上でサービスや情報を提供するコンピュータのことです。

インターネットでは Web サーバ、DNS サーバ（ドメインネームサーバ）、mail サーバ（SMTP/POP サーバ）等があり、ネットワークで発生する様々な業務を内容に応じて分担し集中的に処理します。

- ・ Web サーバ：ホームページ等のコンテンツを収め情報提供を行うもの
- ・ DNS サーバ：IP アドレスとドメイン名の変換を行うもの
- ・ mail サーバ：電子メールの送受信を行うもの

事前協議

工事・業務の開始時に、受発注者間で行われる協議のことをいいます。協議において、電子納品に関する取り決めをしておくことが、電子納品の円滑な実施の重要なポイントになります。

情報リテラシー

インターネット等の情報通信やパソコン等の情報通信機器を利用して、情報やデータを活用するための能力・知識のことです。

数値地形図データ-SXF 作成仕様（案）

「公共測量標準図式 数値地形図データファイル仕様」に従い作成され数値地形図（標準図式データファイル）を主に設計段階等で有効に活用するために、CAD

データ交換標準フォーマットである SXF Ver. 3.0 または Ver. 3.1 のデータに変換するための標準的な方法を定めたものです。(財) 日本建設情報総合センターにおいて公開されています。

(http://www.jacic.or.jp/hyojun/dmsxf_spec.html)

スタイルシート

HTML や XML などの文書の書式（体裁）を指定することです。スタイルシートの標準として、CSS (Cascading Style Sheet)、XSL (Extensible Stylesheet Language) などがあり、測量要領（案）では、XSL を採用しています。

製品仕様書

計画機関が得ようとする測量成果の種類、内容、構造、品質等を示す仕様書のことで、「地理情報標準プロファイル (JPGIS)」に準拠して計画機関が定めるものです。測量成果は製品仕様書に基づき作成されます。

国土地理院等において参考となる製品仕様書（工事にかかる製品仕様書は、応用測量の製品仕様書等）を下記の Web サイトで公開していますので、ご参照下さい。

http://psgs.v.gsi.go.jp/koukyou/public/seihinsiyousei/seihinsiyousei_index.html

世界測地系

世界測地系とは、世界で共通に利用できる位置の基準をいいます。

測量の分野では、地球上での位置を経度・緯度で表わすための基準となる座標系及び地球の形状を表わす楕円体を総称して測地基準系といいます。つまり、世界測地系は、世界共通となる測地基準系のことをいいます。

これまで、各国の測地基準系が測量技術の制約等から歴史的に主に自国のみを対象として構築されたものであるのに対し、世界測地系は世界各国で共通に利用できることを目的に構築されたものです。世界測地系は、GPS 等の高精度な宇宙測地技術により構築維持されています。

・日本測地系

日本測地系は、明治時代に全国の正確な 1/50,000 地形図を作成するために整備され、改正測量法の施行日まで使用されていた日本の測地基準系を指す固有名詞です。

・日本測地系から世界測地系への移行

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」が、平成 13 年 6 月 20 日に公布され、平成 14 年 4 月 1 日から施行されました。この改正により、基本測量及び公共測量が従うべき測量の基準のうち、経緯度の測定は、これまでの日本測地系

に代えて世界測地系に従って行わなければならないこととなっています。

- ・世界測地系（JGD2000）と世界測地系（JGD2011）

世界測地系（JGD2000）とは、世界測地系のうち我が国が構築した部分の名称をいいます。命名に当たっては、我が国の測地基準系であること、二千年紀の初頭に構築されたことを意識しています。世界測地系に移行した 2002 年 4 月から 2011 年 10 月までの日本の公式測地系でした。

世界測地系（JGD2011）とは、東北地方太平洋沖地震による地殻変動で、測量法施行令が 2011 年 10 月に改正されたことに伴って命名された測地基準系の名称です。

〔た〕

ダウンロード

ネットワーク上の他のコンピュータにあるデータ等を、自分のコンピュータへ転送し保存することをいいます。ダウンロードの反対語は、アップロードといえます。

電子署名

デジタル文書の正当性を保証するために付けられる署名情報です。文字や記号、マークなどを電子的に表現して署名行為を行うこと全般を指します。現実の世界で行われる署名を電子的手段で代替したものです。特に、公開鍵暗号方式を応用して、文書の作成者を証明し、かつその文書が改ざんされていないことを保証する署名方式のことをデジタル署名といえます。

電子成果品作成支援ツール

各電子納品要領（案）に従った電子納品の作成を支援（管理ファイルの作成やファイル命名規則に従ったファイル名に変換など）することを目的としたソフトウェアをいいます。

電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）

電子納品物のフォルダ構成、管理項目、ファイル名、レイヤ名などの電子納品要領（案）等への整合性をチェックするプログラムです。

「農業農村整備事業の電子納品要領等」の Web サイトで公開されています。

- ・http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/index.html

電子納品物保管管理システム

電子納品物保管管理システムは、農林水産省が電子成果品を保管・管理するために開発したシステムで、登録された電子成果品の検索・閲覧が可能になります。

電子媒体（メディア、記憶メディア、記憶媒体）

CD、DVD 等、データを記録しておくための記録媒体を指します。

CD では、書き込み専用のメディアである CD-R、読み専用の CD-ROM、データの消去ができない CD-R に対してデータの消去を可能にし、書き換えができる CD-RW 等があります。

〔は〕

標準図式データファイル

測量作業規程の準則 付録 7「公共測量標準図式 数値地形図データファイル仕様」に従い作成される数値地形図データファイル。拡張デジタルマッピングデータファイル仕様と仕様上の差異はなく、インデックスデータファイル、データファイル、ファイル説明書のデータセットから構成されます。

フォント

コンピュータを使って文字を表示したり印刷したりする際の文字の形です。また、文字の形をデータとして表したものをフォントと呼ぶ場合もあります。

- ・等幅フォントとプロポーションアルフォント

すべての文字を同じ幅で表現するフォントを等幅フォント、文字ごとに最適な幅が設定されたフォントをプロポーションアルフォントと呼びます。

- ・ビットマップフォントとアウトラインフォント

文字の形を小さな正方形の点（ドット）の集まりとして表現するフォントをビットマップフォント、基準となる点の座標と輪郭線の集まりとして表現するフォントをアウトラインフォントと言います。ビットマップフォントは高速処理が可能な反面、拡大・縮小すると文字の形が崩れてしまうという欠点があります。アウトラインフォントは表示や印刷に時間がかかりますが、いくら拡大・縮小しても美しい出力が可能です。コンピュータやプリンタの性能の向上に伴って、次第にアウトラインフォントが使われるようになっていきます。

- ・主なフォント

TrueType フォント

TrueType フォントは、アウトラインとして格納されており、デバイスに依存しないフォントです。任意の高さにサイズを変更でき、画面に表示されるとおりに正確に印刷できます。Apple 社と Microsoft 社が開発し Macintosh、Windows に標準で採用しています。大きなサイズでもギザギザのない美しい文字で画面表示や印刷ができます。

ベクタ フォント

数学的な原型を基にレンダリングされるフォントです。個々の文字が、点と点

の間を結ぶ線の集合として定義されています。サイズおよび縦横比を変えても見栄えが悪くなることはありません。

ベクタフォントがサポートされているのは、現在でも多くのプログラムで利用されているためです。

ラスタ フォント

ビットマップ イメージとしてファイルに保存され、画面や紙に一連のドットを表示することにより作成されます。ラスタ フォントは、特定のプリンタのために特定のサイズと解像度で作成されており、拡大・縮小または回転することはできません。ラスタ フォントをサポートしないプリンタではラスタ フォントは印刷できません。ラスタ フォントがサポートされているのは、現在も多くのプログラムで利用されているためです。

プロッタ フォント

点と点を線分でつなぐ方法で作成されるフォントです。プロッタ フォントは、任意の大きさに拡大・縮小でき、主にプロッタによる印刷に使われます。

[ま]

メタデータ

データについての情報を記述したデータである。膨大なデータの中から目的のデータを探し出す手助けとするために作成される。

特に、画像データ等はそのままでは単純なキーワード検索を行うこともできない事からメタデータの恩恵を大きく受けるとされています。

[や]

有効画素数

デジタルカメラなどに内蔵された受光素子のうち、実際に撮影に使用される素子の数を指します。総画素数より若干少ない値となります。

[ら]

レイヤ

レイヤは、CAD 図面を作成する際に、作図要素を描画する仮想的なシートを意味します。一般的に、1 枚の図面は複数のレイヤで構成され、各レイヤを表示・非表示することが可能です。図面要領（案）では、電子納品された CAD 図面の作図・修正及び再利用を効率的に行うことを目的に、工種毎に作図要素を描画するレイヤを定めています。